

令和4年度版

ひらつか子育て応援プラン
(第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画)

取組状況評価

～基本事業（市の取組）～

留意事項

計画を推進していくために、進行管理を着実にを行います。また、利用者の視点に立って事業を評価し、PDCAサイクル（計画－実施－評価－改善）を通して、計画の実効性を高めることを目指します。

1 事業評価 総括表

(1) 点数

評価がAの事業を5点、評価がBの事業を3点、評価がCの事業を1点とし、施策ごとの平均点を記載しています。

(2) 評価

各事業の検証結果を記載しています。

A：成果があがった、B：おおむね成果があがった、C：十分に成果をあげることができなかった
—：評価なし

(3) 今後の事業展開

①現状の規模で継続、②拡大して継続、③縮小して継続、④廃止、
⑤その他（休止、終了、他事業と統合等）

(4) 評価状況（192事業）

A 154事業、B 35事業、C 2事業、評価なし 1事業

2 事業評価シート

(1) 主な取組等

計画期間の取組状況が分かるようになっています。

(2) 前年度の課題等に対する取組状況

前年度からの課題に対する取組や新しい取組を記載しています。

(3) 評価

各事業をA、B、Cの3段階で評価しました。

A：成果があがった（事業の成果が期待どおり又はそれ以上だった）

B：おおむね成果があがった（事業の成果が期待を若干下回ったものの概ね満足できる）

C：十分に成果をあげることができなかった（事業の成果が期待を下回り、満足できない）

評価なし：事業の廃止等によって、評価ができなかった

(4) 今後の事業展開

前記1（3）のとおりとしています。

(5) 翌年度に向けた課題と取組

該当年度の取組状況を踏まえて、次年度以降の課題を記載しています。

(6) ひらつか子育て応援プラン(第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画)開始にあたって事務移管のあった事業及び第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画から名称を変更した事業、他の事業と統合等をした事業については、備考（その他）欄にその旨を記載しています。

基本目標	施策	点数	番号	事業	評価	今後の事業展開	担当課	通し番号
1 子どもの豊かなこころをはぐくむ環境づくり	1(1)子どもの権利の尊重	5.0	1(1)1	子どものための相談機能の充実	A	①	青少年課	1
			1(1)2	保護を必要とする子どもへの対策	A	①	こども家庭課	2
			1(1)3	児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	3
			1(1)4	養育支援訪問事業	A	①	健康課	4
	1(2)育ち環境の整備	4.7	1(2)1	地域の身近な人との交流	A	①	保育課、教育指導課	5
			1(2)2	自然体験等活動	A	①	保育課、教育指導課、青少年課	6
			1(2)3	こども環境教室事業	A	①	環境政策課	7
			1(2)4	水辺の楽校プロジェクト推進事業	A	①	みどり公園・水辺課	8
			1(2)5	児童・生徒地域参加事業の推進	A	①	中央公民館	9
			1(2)6	自然観察等事業	A	①	博物館	10
			1(2)7	プラネタリウム投影事業	A	①	博物館	11
			1(2)8	芸術文化子ども体験事業	B	②	社会教育課	12
	1(3)家庭や地域の教育力の向上	3.7	1(3)1	育児講座	C	①	保育課	13
			1(3)2	家庭教育支援の充実	A	①	中央図書館、中央公民館	14
			1(3)3	学習の場の充実	A	①	中央公民館	15
			1(3)4	子育て支援地域派遣事業	B	①	保育課、健康課	16
			1(3)5	地域福祉推進事業	A	①	福祉総務課	17
			1(3)6	保育所のボランティアの受入れ	B	①	保育課	18
			1(3)7	非行防止活動の推進	A	①	青少年課	19
			1(3)8	こころと命のサポート事業	A	①	福祉総務課	20
			1(3)9	子ども学習支援委託事業	A	②	生活福祉課	21
2 安心して子育てができる環境づくり	2(1)様々な子育て支援サービスの提供	4.3	2(1)1	一時預かり事業	A	①	保育課	22
			2(1)2	ファミリー・サポート事業	B	①	保育課	23
			2(1)3	延長保育・休日保育事業	A	①	保育課	24
			2(1)4	私立幼稚園の預かり保育の推進	A	①	保育課	25
			2(1)5	病児・病後児保育	A	②	保育課	26
			2(1)6	放課後児童クラブの充実・推進	A	①	青少年課	27
			2(1)7	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	B	①	社会教育課	28
			2(1)8	新・放課後子ども総合プランの推進	B	①	青少年課、教育総務課、社会教育課	29
			2(1)9	民間保育所施設整備支援事業	A	①	保育課	30
			2(1)10	民間保育所保育士確保支援事業	A	②	保育課	31
			2(1)11	公立保育所施設整備事業	A	①	保育課	32
			2(1)12	私設保育施設への支援	A	①	保育課	33
			2(1)13	幼保一元化のモデルケース事業	B	①	保育課、教育総務課	34
			2(1)14	公立園の在り方の検討	B	①	保育課、教育総務課	35
	2(2)親・子の交流の場づくり	4.4	2(2)1	子育て支援センター事業	B	①	保育課	36
			2(2)2	つどいの広場事業	B	①	保育課	37
			2(2)3	開放保育事業	A	①	保育課	38
			2(2)4	赤ちゃん広場事業	A	①	保育課	39
			2(2)5	親子ふれあい体験事業	A	①	保育課	40
			2(2)6	ブックスタート事業	A	①	中央図書館、健康課、保育課	41
			2(2)7	活動場所の確保	A	①	青少年課、中央公民館	42
	2(3)情報提供・相談体制の充実	4.8	2(3)1	情報提供の推進	A	①	保育課、こども家庭課	43
			2(3)2	子ども及び子育て家庭に係る総合支援	A	①	こども家庭課	44
			2(3)3	保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	A	①	保育課、教育指導課	45
			2(3)4	女性のための相談事業	B	①	人権・男女共同参画課	46
			2(3)5	生活困窮者自立支援事業	A	①	福祉総務課	47
			2(3)6	生活困窮世帯の子ども支援事業	A	①	生活福祉課	48
			2(3)7	民生委員運営事業	A	①	福祉総務課	49
			2(3)8	民間団体との連携	A	①	こども家庭課	50
			2(3)9	児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	51
	2(4)職場環境の改善	4.3	2(4)1	労働セミナー事業	B	①	産業振興課	52
			2(4)2	就労支援制度の普及・啓発	A	①	産業振興課	53
			2(4)3	事業所の実践する働き方改革への支援	A	①	人権・男女共同参画課	54
	2(5)母子・父子家庭の自立支援	5.0	2(5)1	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	55
			2(5)2	母子・父子自立支援事業	A	①	こども家庭課	56
2(6)経済的支援の充実	4.8	2(6)1	小児医療費の助成	A	①	こども家庭課	57	
		2(6)2	ひとり親家庭等医療費助成事業	A	①	こども家庭課	58	
		2(6)3	保育所保育料の軽減	A	①	保育課	59	
		2(6)4	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	A	①	保育課	60	
		2(6)5	児童生徒就学援助事業	A	①	学務課	61	
		2(6)6	特別支援教育就学奨励援助事業	A	①	学務課	62	
		2(6)7	高等学校等修学支援事業	B	③	学務課	63	
		2(6)8	生業扶助・教育扶助	A	①	生活福祉課	64	
		2(6)9	児童扶養手当	A	①	こども家庭課	65	
		2(6)10	特別児童扶養手当	A	①	こども家庭課	66	
		2(6)11	児童手当	A	①	こども家庭課	67	
		2(6)12	養育医療費給付	A	①	こども家庭課	68	

基本目標	施策	点数	番号	事業	評価	今後の事業展開	担当課	通し番号
3 子どもに寄り添った教育環境づくり	3(1)学校(園)教育の充実	5.0	3(1)1	幼児教育指導法の工夫・改善	A	①	教育指導課	69
			3(1)2	幼・保・小・中連携の推進事業	A	①	教育指導課、教育研究所	70
			3(1)3	幼児教育の支援	A	①	教育指導課	71
			3(1)4	生きる力を育む学校づくり推進事業	A	①	教育指導課、学校給食課	72
			3(1)5	外国人英語指導者の学校訪問事業	A	①	教育指導課	73
			3(1)6	人権教育の推進	A	①	教育指導課	74
			3(1)7	日本語指導協力者派遣事業	A	①	教育指導課	75
			3(1)8	サポートチームシステム推進事業	-	⑤	教育指導課	76
			3(1)9	中学校部活動指導者派遣事業	A	①	教育指導課	77
			3(1)10	学校支援ボランティアの活用	A	①	教育指導課	78
			3(1)11	教材・教具等の充実	A	①	教育総務課	79
			3(1)12	研修・研究推進事業	A	①	子ども教育相談センター	80
			3(1)13	放課後自主学習教室事業	A	①	教育指導課	81
3(2)相談活動の推進	5.0	3(2)1	教育相談事業	A	①	子ども教育相談センター	82	
		3(2)2	スクールカウンセラー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	83	
		3(2)3	スクールソーシャルワーカー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	84	
4 子育てしやすい安心・安全なまちづくり	4(1)道路交通安全の向上	4.3	4(1)1	交通安全啓発推進事業	B	①	交通政策課	85
			4(1)2	歩道設置事業	A	①	道路整備課	86
			4(1)3	通学路合同点検事業	A	①	教育指導課	87
	4(2)防犯の強化	4.5	4(2)1	地域安全運動の推進	A	①	危機管理課	88
			4(2)2	地域安全施設整備事業	A	①	危機管理課	89
			4(2)3	通学路安全対策事業	A	①	教育指導課	90
			4(2)4	子どもの安全対策の推進	B	①	社会教育課	91
	4(3)遊びの場づくり	4.0	4(3)1	安全対策の推進	A	①	みどり公園・水辺課、総合公園課、青少年課	92
			4(3)2	公園整備事業	B	①	みどり公園・水辺課	93
	4(4)まちのバリアフリー化	4.0	4(4)1	歩道のバリアフリー化事業	A	①	道路整備課	94
			4(4)2	公共交通のバリアフリー化事業	B	①	交通政策課	95
	4(5)有害環境の改善	4.0	4(5)1	環境実態調査	A	①	青少年課	96
4(5)2			違反屋外広告物除去事業	B	①	まちづくり政策課	97	
5 子どもと親の健康づくり(平塚市母子保健計画)	5(1)切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策 基盤課題A	4.7	5(1)①1	妊婦健康診査	B	①	健康課	98
			5(1)①2	妊産婦の相談の充実	A	①	健康課	99
			5(1)①3	妊産婦への教育の充実	A	①	健康課	100
			5(1)①4	産後デイサービス「産後ルームママはぐ」	A	①	健康課	101
			5(1)①5	産前・産後ヘルパー派遣事業	A	①	健康課	102
			5(1)①6	産後メンタルヘルス相談	B	①	健康課	103
			5(1)②1	乳幼児健康診査	A	①	健康課	104
			5(1)②2	乳幼児期の相談の充実	A	①	健康課	105
			5(1)②3	訪問事業	A	①	健康課	106
			5(1)②4	学習の場の提供	B	①	健康課	107
			5(1)②5	感染症対策の推進	A	①	健康課	108
			5(1)②6	5歳児健康診査	A	①	こども家庭課	109
			5(1)②7	保育所における食育の推進	A	①	保育課	110
	5(2)学童期・思春期から成人期に向けた保健対策 基盤課題B	4.2	5(2)①1	生活習慣病予防・歯の健康に関する知識の普及	B	①	学務課、健康課	111
			5(2)①2	健康に関する教育の実施	B	①	教育指導課	112
			5(2)①3	学校保健の充実	A	①	学務課	113
			5(2)①4	スクールカウンセラー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	114
			5(2)②1	思春期の教育の充実	A	①	健康課	115
	5(3)子どもが健やかに育つための地域づくり 基盤課題C	4.0	5(3)①	一時的預かり事業	A	①	福祉総務課	116
			5(3)2	ファミリー・サポート事業	A	①	保育課	117
			5(3)3	子育て支援センター事業	B	①	保育課	118
			5(3)4	つどいの広場事業	B	①	保育課	119
			5(3)5	開放保育事業	A	①	保育課	120
			5(3)6	赤ちゃん広場事業	A	①	保育課	121
	5(4)育てにくさを感じる親への支援 重点課題①	5.0	5(4)①1	育てにくさを感じる親に寄り添う支援	A	①	健康課	123
			5(4)①2	子育て講座	A	①	こども家庭課	124
			5(4)①3	ペアレントトレーニング	A	①	こども家庭課	125
			5(4)②1	こども発達支援室の療育相談	A	①	こども家庭課	126
			5(4)②2	発達支援コーディネーターの育成・配置	A	①	保育課、こども家庭課	127
			5(4)③1	地域療育システム事業	A	①	こども家庭課	128
			5(4)③2	福祉サービス費の支給	A	①	こども家庭課	129
			5(4)③3	障がい児保育	A	①	保育課、こども家庭課、学務課	130
	5(5)児童虐待の防止対策 重点課題②	5.0	5(5)①1	ハイリスク者への支援の充実	A	①	子ども教育相談センター	131
5(5)②1			児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	133	

基本目標	施策	点数	番号	事業	評価	今後の事業展開	担当課	通し番号
6 将来を子ども自ら が選択できる環境 づくり（平塚市 子どもの貧困対策 計画）	6 (1) 教育の支援	4.5	6 (1) 1	子ども学習支援委託事業	A	②	生活福祉課	134
			6 (1) 2	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	B	①	社会教育課	135
			6 (1) 3	新・放課後子ども総合プランの推進	B	①	青少年課、教育総務課、社会教育課	136
			6 (1) 4	生活困窮世帯の子ども支援事業	A	①	生活福祉課	137
			6 (1) 5	民間団体との連携	A	①	こども家庭課	138
			6 (1) 6	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	139
			6 (1) 7	児童生徒就学援助事業	A	①	学務課	140
			6 (1) 8	特別支援教育就学奨励援助事業	A	①	学務課	141
			6 (1) 9	高等学校等修学支援事業	B	③	学務課	142
			6 (1) 10	生業扶助・教育扶助	A	①	生活福祉課	143
			6 (1) 11	放課後自主学習教室事業	A	①	教育指導課	144
			6 (1) 12	スクールカウンセラー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	145
			6 (1) 13	スクールソーシャルワーカー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	146
	6 (2) 生活の支援	4.6	6 (2) 1	子どものための相談機能の充実	A	①	青少年課	147
			6 (2) 2	保護を必要とする子どもへの対策	A	①	こども家庭課	148
			6 (2) 3	児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	149
			6 (2) 4	養育支援訪問事業	A	①	健康課	150
			6 (2) 5	育児講座	C	①	保育課	151
			6 (2) 6	子育て支援地域派遣事業	B	①	保育課、健康課	152
			6 (2) 7	地域福祉推進事業	A	①	福祉総務課	153
			6 (2) 8	非行防止活動の推進	A	①	青少年課	154
			6 (2) 9	こころと命のサポート事業	A	①	福祉総務課	155
			6 (2) 10	一時預かり事業	A	①	保育課	156
			6 (2) 11	ファミリー・サポート事業	B	①	保育課	157
			6 (2) 12	延長保育・休日保育事業	A	①	保育課	158
			6 (2) 13	私立幼稚園の預かり保育の推進	A	①	保育課	159
			6 (2) 14	病児・病後児保育	A	②	保育課	160
			6 (2) 15	放課後児童クラブの充実・推進	A	①	青少年課	161
			6 (2) 16	子育て支援センター事業	B	①	保育課	162
			6 (2) 17	つどいの広場事業	B	①	保育課	163
			6 (2) 18	赤ちゃん広場事業	A	①	保育課	164
			6 (2) 19	子ども及び子育て家庭に係る総合支援	A	①	こども家庭課	165
			6 (2) 20	保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	A	①	保育課、教育指導課	166
			6 (2) 21	女性のための相談事業	B	①	人権・男女共同参画課	167
			6 (2) 22	生活困窮者自立支援事業	A	①	福祉総務課	168
			6 (2) 23	民生委員運営事業	A	①	福祉総務課	169
			6 (2) 24	民間団体との連携	A	①	こども家庭課	170
			6 (2) 25	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	171
			6 (2) 26	小児医療費の助成	A	①	こども家庭課	172
			6 (2) 27	ひとり親家庭等医療費助成事業	A	①	こども家庭課	173
			6 (2) 28	保育所保育料の軽減	A	①	保育課	174
			6 (2) 29	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	A	①	保育課	175
			6 (2) 30	妊産婦の相談の充実	A	①	健康課	176
6 (2) 31			乳幼児期の相談の充実	A	①	健康課	177	
6 (2) 32			訪問事業	A	①	健康課	178	
6 (2) 33			学校保健の充実	A	①	学務課	179	
6 (2) 34			こども発達支援室の療育相談	A	①	こども家庭課	180	
6 (2) 35			ハイリスク者への支援の充実	A	①	健康課	181	
6 (3) 保護者に対する就 労の支援	4.3	6 (3) 1	就労支援事業	B	①	産業振興課	182	
		6 (3) 2	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	183	
		6 (3) 3	母子・父子自立支援事業	A	①	こども家庭課	184	
6 (4) 経済的支援	5.0	6 (4) 1	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	185	
		6 (4) 2	小児医療費の助成	A	①	こども家庭課	186	
		6 (4) 3	ひとり親家庭等医療費助成事業	A	①	こども家庭課	187	
		6 (4) 4	生業扶助・教育扶助	A	①	生活福祉課	188	
		6 (4) 5	児童扶養手当	A	①	こども家庭課	189	
		6 (4) 6	特別児童扶養手当	A	①	こども家庭課	190	
		6 (4) 7	児童手当	A	①	こども家庭課	191	
		6 (4) 8	養育医療費給付	A	①	こども家庭課	192	

1 (1) 1	子どものための相談機能の充実	担当課	青少年課
---------	----------------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子ども自身や保護者が相談できる電話・来室相談等、子どものための相談体制を充実します。	子ども自身や保護者の悩みを早期に解決するために相談機能の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 180件、ヤングテレホン相談 (火～土) 116件、ヤングメール相談4件 相談室の啓発チラシを4月、9月、1月の3回 (各回28,750部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設に加え、平塚市近隣の高校へ合計29,110部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (6月、12月、1月)、ひきこもりを考える家族セミナー (9月)、児童思春期精神科セミナー (10月)、神奈川県社会福祉協議会母子福祉研修会 (1月)、全国青少年相談員研究会 (オンライン配信・1月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>子どものためのセーフティーネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図る。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 102件、ヤングテレホン相談 (火～土) 124件、ヤングメール相談15件、LINE相談 (試行実施) 33件 相談室の啓発チラシを4月、9月、2月の3回 (各回30,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設に加え、平塚市近隣の高校へ合計31,200部送付した。 LINE相談の啓発カードを8月に、市内小学校5、6年生児童並びに市内中学校、市内・大磯・二宮の高等学校及び中等教育学校在学の生徒宛てに合計21,120部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (6月、12月、2月)、全国青少年相談員研究会 (オンライン配信・1月)、青少年行政関係職員等研修 (2月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するため、LINE相談を試行実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>子どものためのセーフティーネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図る。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 187件 ヤングテレホン相談 (火～土) 131件 ヤングメール相談55件 相談室の啓発チラシを4月、9月、2月の3回 (各回30,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設への配布と併せて、近隣の鶴嶺高校、茅ヶ崎高校、茅ヶ崎西浜高校、寒川高校、秦野高校、秦野曾屋高校、秦野総合高校、伊志田高校、伊勢原高校、向上高校、自修館中等教育学校へ保健室配布分として各20部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (12月)、全国青少年研究会 (オンライン配信・1月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するとともに、様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>子どものためのセーフティーネットの一つとしての機能を高めるため、現在の相談体制に加え、LINEを活用した相談を実施するなど、相談機能の充実を図る。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	②拡大して継続					
		翌年度に向けた課題と取組						

備考 (その他)	

1 (1) 2	保護を必要とする子どもへの対策	担当課	こども家庭課
---------	-----------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<ul style="list-style-type: none"> こども総合相談担当と児童相談所との連携を密にし、保護を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 里親制度の啓発・普及に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童相談所や関係機関と連携し、支援を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 すべての子どもの権利を擁護するために子ども家庭総合支援拠点の設置に取り組みます。 里親制度紹介講座及び里親相談（児童相談所主催）を実施し、制度の啓発・普及に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図りました。 児童虐待防止普及活動の「子ども虐待防止オレンジリボンたすきりレー」が10月に開催され、市役所を中継点とした。その際に、里親制度啓発のため、のぼり旗の設置及び啓発用物品を配布しました。 	前年度の課題等に対する取組状況 ネットワーク内での共通認識を増やし、連携強化に取り組みました。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
保健センター等との連携強化を目指します。（子ども家庭センターの設置）						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 里親制度について、関係機関へのチラシを配布し、里親制度の啓発・普及に努めた。なお、8月に平塚児童相談所主催、本市共催で開催予定であった里親講座は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、中止している。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 里親制度について、関係機関へのチラシの配布や児童虐待防止啓発活動における平塚駅前での啓発グッズの配布などを行い、里親制度の啓発・普及に努めた。 	前年度の課題等に対する取組状況 児童相談所との進行管理会議の実施方法を変更した。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

1 (1) 3	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
---------	------------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしていますが、必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。	平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回（うち3回はオンラインを併用）、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議80回 	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえ、実務者会議ではオンラインを併用したハイブリッド方式で実施しました。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
今後児童虐待防止等ネットワーク協議会の周知・理解をより深めるため、会議の内容、回数を検討します。								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回（書面開催）、実務者会議4回（うち書面開催3回）、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議74回 	前年度の課題等に対する取組状況						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議3回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議91回 （新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、実務者会議を1回中止している） 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

1 (1) 4	養育支援訪問事業	担当課	健康課
---------	----------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保護者の疾病等の理由により、児童を養育することに支障が生じた家庭に対して、安定した児童の養育が可能となるように訪問による支援を実施します。	適切な時期に支援が導入できるように関係機関と連携を図り、継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	件数：5件 実施内容： ①訪問38回（保健師訪問23回） ②電話相談79回（保健師電話57回） ③家事援助（ヘルパー）：30回 計 30.5時間 ④所内面接、同行受診等：22回（保健師11回）	前年度の課題等に対する取組状況						
		適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
次年度も必要な家庭に対して本事業につなげていく。								
令和3年度	件数：5件 実施内容： ①訪問33回（保健師訪問16回） ②電話相談39回（保健師電話24回） ③家事援助（ヘルパー）：69回 計 72時間 ④所内面接、同行受診等：6回（保健師5回）	前年度の課題等に対する取組状況						
		適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。								
令和2年度	件数：6件 実施内容： ①訪問37回（保健師訪問22回） ②電話相談39回（保健師電話29回） ③家事援助（ヘルパー）：65回 計97.5時間 ④所内面接、同行受診等：4回（保健師訪問3回）	前年度の課題等に対する取組状況						
		適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
翌年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていく。								

備考（その他）

1 (2) 1	地域の身近な人との交流	担当課	保育課 教育指導課
---------	-------------	-----	--------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保育所、幼稚園、認定こども園の園児と地域の子どもや小学生、高齢者といった地域の身近な人との交流を図り、子どもの社会性を養います。 [対象：就学前子ども、小学生及び高齢者]	園の行事や地域的行事、高齢者施設への訪問を通して、地域の子どもや小学生、高齢者と交流します。また、乳幼児が小学校を訪問したり、園に小学生や高齢者を招待して一緒に活動したりする等地域の身近な人とのふれあい交流を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	異年齢児交流事業： 保育課 ・小学校との相互訪問。実施園：19園 教育指導課 ・幼稚園児と小学校児童の交流、並びに、作物の収穫活動等様々な活動を通し交流を図った。実施園：2園 世代間交流事業： 保育課 ・勤労感謝の日に地域の工場、店舗、小学校、地域の交番、公民館、農家の方、高齢者施設などに行き感謝の気持ちを込めてプレゼントを渡した。実施園：17園 ・平塚中等教育学校の中学3年生がキャリア教育で4.5歳児と交流した。実施園：1園 ・障がい者施設の成人式で年長児が歌を披露した。実施園：1園 ・福祉村との交流。実施園：1園 教育指導課 ・敬老の日に特別養護老人ホームにプレゼントを届ける等、高齢者との世代間交流を図った。実施園：1園	前年度の課題等に対する取組状況 保育課：新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら可能な時期に交流を行った。またプレゼントの贈呈など非接触型の交流を実施した。 教育指導課：前年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、中止や延期の検討とともに、場合によっては、例年通りの活動に捉われない工夫した取組を行いました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 保育課：新型コロナウイルス感染症の動向を見据えながら、安全に配慮した交流を継続して実施していく。 教育指導課：今年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、中止や延期の検討とともに、場合によっては、例年通りの活動に捉われない工夫した取組が必要になるのではないかと考えます。
令和3年度	異年齢児交流事業： 保育課 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、小学校の間で実施していた相互訪問などの交流はできなかった。実施園：0園 教育指導課 ・幼稚園児と小学校児童の交流、並びに、作物の収穫活動等様々な活動を通し交流を図った。実施園：2園 世代間交流事業： 保育課 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、高齢者施設との相互訪問などの交流はできなかった。実施園：0園 教育指導課 ・敬老の日に特別養護老人ホームにプレゼントを届ける等、高齢者との世代間交流を図った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況 教育指導課：新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、中止や延期の検討とともに、場合によっては、適切な距離を取り見学したり、手紙のやり取りをしたりなど工夫して取り組みました。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 保育課：新型コロナウイルス感染症の収束の目的がたたなければ、当該事業の再開は難しいと考えます。 教育指導課：今年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、中止や延期の検討とともに、場合によっては、例年通りの活動に捉われない工夫した取組が必要になるのではないかと考えます。
令和2年度	異年齢児交流事業： 保育課 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、小学校の間で実施していた相互訪問などの交流はできなかった。実施園：0園 教育指導課 ・幼稚園児と小学校児童の交流、並びに、運動大会遊び等の行事を通し交流を図った。実施園：2園 世代間交流事業： 保育課 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、高齢者施設との相互訪問などの交流はできなかった。実施園：0園 教育指導課 ・幼稚園にボランティアの方々をお招きしたり、敬老の日に特別養護老人ホームに、ビデオレターを送ったりする等、高齢者との世代間交流を図った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 保育課 新型コロナウイルス感染症の収束の目的がたたなければ、当該事業の再開は難しいと考えます。 教育指導課 新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、中止や延期の検討とともに、場合によっては、例年通りの活動に捉われない工夫した取組が必要になるのではないかと考えます。

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画1 (3) 1「異年齢児交流事業」、1 (3) 2「世代間交流事業」を統合し、事業名称を変更した。

1 (2) 2	自然体験等活動	担当課	保育課 教育指導課 青少年課
---------	---------	-----	----------------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所、幼稚園、認定こども園の園児や地域の子どもの「生きる力」を培い、また社会性の育成を図るため、自然体験や社会体験活動を行います。 〔対象：就学前子ども〕 ・ 自然とふれあう体験活動の機会の充実を図ります。 〔対象：小学生等〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の自然を活用した自然体験活動や園外保育等において、園では味わえない自然体験や社会体験活動を実施します。 ・ 概ね月1回程度、自然のものを生かしたクラフトや野外炊事、作物の植付収穫等の体験を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	保育課 ・地域の自然を活用した自然体験活動、季節の野菜や花の栽培を通して自然とのふれあい体験活動等を実施した。実施園：37園 教育指導課 ・幼稚園各園の地域性を生かした植物・作物の栽培・収穫活動等の自然体験活動を行った。また、園外保育等の社会体験活動を行った。実施園：2園 青少年課 ・びわ青少年の家で、作物の植付や収穫等の農作業や収穫物の調理などの自然体験・創作活動等を行う「びわっ子クラブ」を開催した。会員数：32名、開催回数：9回、参加者数：502名（保護者等会員家族、ボランティアスタッフ含む） ・びわ青少年の家で、青少年を含む市内在住（同居）の家族を対象に、紅葉を見ながら野外バーベキューを楽しんでもらうイベント「びわでバーベキューしませんか」を企画し開催した。 開催日：11月12日、19日、26日、参加人数：20家族92名	前年度の課題等に対する取組状況 保育課：新型コロナウイルス感染症の影響により活動できる機会が減少傾向となった。 教育指導課：新型コロナウイルス感染症対策をすることで、計画通り実施できた。 青少年課：今年度は感染症対策を講じつつ、予定した開催回数を実施した。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 保育課：新型コロナウイルス感染症の動向を見据えながら、安全に配慮した形の活動を継続して実施する。 教育指導課：引き続き、十分な感染症対策を取った上で実施していく。 青少年課：引き続き感染症対策を踏まえた内容で実施をする。また、びわっ子クラブ以外にも、より多くの方が参加できる試験的な企画を検討する。
令和3年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、限られた保育環境の中、地域の自然を活用した自然体験活動、季節の野菜や花の栽培を通して自然とのふれあい体験活動等を実施した。実施園：44園 教育指導課 ・幼稚園各園の地域性を生かした植物・作物の栽培・収穫活動等の自然体験活動を行った。また、園外保育等の社会体験活動を行った。実施園：2園 青少年課 ・びわ青少年の家で、作物の植付から収穫までの一連の農作業や収穫物の加工などの自然体験・創作活動等を行う「びわっ子クラブ」を開催した。 会員数：32名、開催回数：11回（番外編活動含む）、参加者数：延べ419人（ボランティアスタッフ含む） ※6月「森の深緑祭」、12月「森の歳末祭」を含む。この2回に関しては会員家族も募集した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小又は中止した。	前年度の課題等に対する取組状況 青少年課：十分な感染症対策を講じた上で可能な限り開催した。また、一部活動の中止等があったが、任意参加の「番外編活動」を開催する等して、活動機会の確保に努めた。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 青少年課：感染症対策を踏まえた開催方法やプログラムの検討を要する。引き続き、十分な感染症対策を講じながら実施していく。
令和2年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、限られた保育環境の中、地域の自然を活用した自然体験活動、季節の野菜や花の栽培を通して自然とのふれあい体験活動等を実施した。実施園：42園 青少年課 ・びわ青少年の家で、作物の植付から収穫までの一連の農作業や収穫物の加工などの自然体験・創作活動等を行う「びわっ子クラブ」を開催した。 会員数：32名、開催回数：8回（年間活動計画に定める活動：6回、番外編活動：2回）、参加者数：延べ388人（ボランティアスタッフ含む） ※10月「森の収穫祭」、12月「森の歳末祭」を含む。この2回に関しては会員家族も募集した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止又は縮小して実施した。（中止：2回、縮小：宿泊キャンプを日帰りにする等） 教育指導課 ・幼稚園各園の地域性を生かした植物・作物の栽培・収穫活動等の自然体験活動を行った。また、園外保育等の社会体験活動を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況 青少年課 十分な感染症対策を講じた上で可能な限り開催した。また、一部活動の中止等があったが、一部の活動を通常時よりも延長して実施する、任意参加の「番外編活動」を開催する等して、活動機会の確保に努めた。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 青少年課 感染症対策を踏まえた開催方法やプログラムの検討を要する。引き続き、十分な感染症対策を講じながら実施していく。

備考（その他）

1 (2) 3	こども環境教室事業	担当課	環境政策課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
環境の保全や創造の重要性に気づき、考え、それぞれの立場に応じて自発的、積極的に行動できる人材の育成を目指すため、里山で自然にふれる体験をしたり、海岸で海浜植物や漂着物を観察したりします。	昆虫探しや自然を生かした遊具体験等を通じて里山の自然とふれあう体験学習と、浜辺の漂着物や海浜植物の観察等、浜辺の環境を考える体験学習を年間にそれぞれ1回ずつ実施することで、次世代を担う子どもたちの環境への関心を高めるように促します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<p>こども環境教室【里山編】及び【海岸編】を実施した。</p> <p>【里山編】 実施日時：令和4年7月30日（土）午前9時00分～11時00分 実施場所：平塚市土屋里山体験フィールド 参加人数：27人（小学生10人、未就学児3人、保護者14人） 実施内容：里山内の散策及び昆虫探し</p> <p>【海岸編】 実施日時：令和4年11月20日（日）午前9時30分～11時50分 実施場所：なでしこ公民館 参加人数：49人（小学生23人、未就学児5人、保護者21人） 実施内容：「マイクロプラスチックを学ぼう」をテーマに、採取体験や蜜蝋ラップの実演を交えて海岸ごみについて学んだ。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>今年度は両教室ともに新型コロナウイルス感染症対策のため、開催時間の短縮や密集を避けるようなプログラム構成とし、開催することができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>子どもたちの体験型学習の機会を確保できるよう、引き続き、感染症対策に配慮した開催方法やプログラムの検討が課題となる。</p>
令和3年度	<p>夏休みこども環境教室【里山編】【海岸編】は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>今年度の事業については、新型コロナウイルス感染症の流行により、子どもたちへの感染拡大が広がっていたことから、中止にせざるを得なかった。開催時期や実施方法については、社会情勢を考慮し、今後も柔軟に対応していきたい。</p>
		<p>検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>感染症対策を配慮した開催の在り方を検討する必要がある。</p>
令和2年度	<p>夏休みこども環境教室【里山編】は中止。海岸編は11月の祝日に実施。</p> <p>【里山編】 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。</p> <p>【海岸編】 新型コロナウイルス感染症の影響により、内容を一部変更して実施した。</p> <p>実施日時：令和2年11月3日（火・祝）午前10時00分～11時30分 実施場所：虹ヶ浜海岸（集合：なでしこ公園） 参加人数：19人（子ども12人、保護者7人） 実施内容：海岸の貝殻や木の実、人工物（ごみ）を拾い集めて観察した。また、小学生に分かりやすいように、マイクロプラスチックについても説明した。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>今年度の海岸編は、新型コロナウイルス感染防止対策として、海岸での実習を中心として計画したことにより、感染リスクを抑えて実施することができた。開催時期や実施方法については社会情勢を考慮し、今後も柔軟に対応していきたい。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>感染症対策を配慮した開催の在り方を検討する必要がある。</p>

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画1 (3) 4「夏休み環境教室事業」から事業名称を変更した。

1 (2) 4	水辺の楽校プロジェクト推進事業	担当課	みどり公園・水辺課
---------	-----------------	-----	-----------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもたちが、積極的に自然にふれあいながら「遊び」、「学び」、「冒険心」、「創造性」を育み、自然と接する「作法」や「感性」を養う場として活用します。	市民や子どもたちの遊びや自然体験の場として積極的に活用できるようにするために、水辺の楽校の維持管理を行うとともに、活動団体がイベント等を実施する際に、広報活動等の支援を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 散策路周辺の除草等の維持管理を行った。 広報ひらつかにイベントの告知をし、広報活動の支援を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況 広報ひらつかにイベントの告知をしたことで、より多くの人にイベント周知することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		散策路周辺の除草等の維持管理を行う。広報ひらつかにイベントの告知をし、広報活動の支援を行う。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 散策路周辺の除草等の維持管理を行った。 広報ひらつかにイベントの告知をし、広報活動の支援を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況 広報ひらつかにイベントの告知をしたことで、より多くの人にイベント周知することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 散策路周辺の除草を外部委託し、維持管理を行った。 広報ひらつかにイベントの告知をし、広報活動の支援を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況 問合せ先および申込先を主催者にしたことで、申込者の満足度が高まった。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

1 (2) 5	児童・生徒地域参加事業の推進	担当課	中央公民館
---------	----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
地区公民館の児童・生徒地域参加事業において、異年齢の交流活動や文化活動、野外活動を推進します。	地域資源や地域人材を活用して新たな事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、児童・生徒地域参加事業として卓球教室や陶芸教室、華道教室等を実施した。 学校の年間予定表の入手及び地域団体との情報交換を行い、他行事の日程等を考慮して事業を企画・実施した。 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「集まらない事業」を実施し、各家庭における体験学習を推進した。具体的には、公民館利用団体等と連携し、「カブトムシを育てよう」や「おうちでかんたん★夏休みこどもクッキング教室」等を実施した。 計96事業 延べ7,467人	前年度の課題等に対する取組状況 地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、児童・生徒地域参加事業として卓球教室や陶芸教室、華道教室等を実施した。 学校の年間予定表の入手及び地域団体との情報交換を行い、他行事の日程等を考慮して事業を企画・実施した。 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「集まらない事業」を実施し、各家庭における体験学習を推進した。具体的には、公民館利用団体等と連携し、「おうちでチャレンジ★夏休みクッキング教室」や「おたのしみ展示会「みんなが作った創作貯金箱展示会」」、「公民館で夏の課題図書を読もう！」等を実施した。 計59事業 延べ2,508人	前年度の課題等に対する取組状況 地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、感染症防止の観点からも、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、児童・生徒地域参加事業として卓球教室や陶芸教室、華道教室等を実施した。 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「集まらない事業」を実施し、各家庭における体験学習を推進した。具体的には、公民館利用団体や自治連合会と連携し、「カブトムシを育てよう」や「ぬり絵で手話にチャレンジ」、「お家で咲かせよう！チューリップ」等を実施した。 計32事業 延べ1,036人	前年度の課題等に対する取組状況 地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、感染症防止の観点からも、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。

備考（その他）	

1 (2) 6	自然観察等事業	担当課	博物館
---------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒が身近な自然に親しみ理解する機会となるように、生物分野では「自然教室」、地質分野では「自然観察入門講座」、天文分野では「星を見る会」をそれぞれ実施します。	アンケート等を活用して参加者の意見や保護者の意見を取り入れ、子どもの興味関心を惹きつけられるような事業展開を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和4年度	<p>新型コロナウイルス感染症対策で行事は全て事前申込み、または当日の整理券制とし、定員についても縮小して実施した。生物分野で「自然教室」「生き物ズームプロジェクト」、地質分野で「自然観察入門講座 相模川流域ジオツアー」、「サメの歯化石のレプリカを作ろう」、天文分野で「星を見る会」、体験学習「星座早見盤を作ろう」、「不思議な板で万華鏡を作ろう」、「流星投影機を作ろう」考古分野で、「昔の方法で火を起そう」等を実施した。</p> <p>【実施した行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然教室」 5回のうち4回実施54人 (うち子ども14人) ・「とり手羽先骨格標本を作ろう」2回実施28人 (うち子ども18人) ・「生き物ズームプロジェクト」12回のうち12回実施63人 (うち子ども10人) ・「星を見る会」10回予定のうち5回実施 (曇天中止5回) 223人 (うち子ども109人) ・「自然観察入門講座 相模川流域ジオツアー」3回実施53人 (うち子ども1人) ・「サメの歯化石のレプリカを作ろう」3回実施76人 (うち子ども31人) ・「不思議な板で万華鏡を作ろう」4回実施64人 (うち子ども40人) ・「星座早見盤を作ろう」3回実施80人 (うち子ども46人) ・「望遠鏡工作」2回実施 14人 (うち子ども8人) ・「昔の方法で火を起そう」1回実施69人 (うち子ども38人) 	前年度の課題等に対する取組状況	
		<p>新型コロナウイルス対策では昨年度と同様、事前申込制で人数の制限等感染症対策の基本的な対策を講じつつ、コロナ禍以前は自由参加としてきた行事は当日整理券制として一部再開。募集倍率が高い行事では参加できない状況に変わらない。</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組	<p>新型コロナウイルスへの対応方針に応じて人数や回数を増やすなどの対応を検討する。</p>
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症対策で行事は全て事前申込み、または当日の整理券制とし、“密”を減らすため定員についても削減して実施した。生物分野で「自然教室」「生き物ズームプロジェクト」、地質分野で「サメの歯化石のレプリカづくり」、天文分野で「星を見る会」、体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」「体験！宇宙飛行士選抜試験」、「望遠鏡工作」、「ISSで働くロボットをプログラミングしよう」を定員数を減らして実施した。</p> <p>【実施した行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然教室 5回のうち5回実施 69人 (うち子ども39人) ・体験学習 「とり手羽先骨格標本を作ろう」2回実施 33人 (うち子ども21人) ・「生き物ズームプロジェクト」12回のうち10回実施 31人 (うち子ども9人) ・星を見る会 10回予定のうち6回実施 (雨天・緊急事態中止4回) 226人 (うち子ども112人) ・体験学習「サメの歯化石のレプリカを作ろう」2回 (緊急事態のため、館での開催は中止) 実施 子ども23人 ・体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」4回実施48人 (うち子ども30人) ・「体験！宇宙飛行士選抜試験」1回実施16人 (うち子ども8人) ・「望遠鏡工作」4回実施 37人 (うち子ども23人) ・「ISSで働くロボットをプログラミングしよう」1回実施10人 (うち子ども8人) 	前年度の課題等に対する取組状況	
		<p>今年度も感染症対策を講じながらの実施となり、自由参加行事の実施は見合わせた。募集定員を削減しているとはいえ、応募倍率が非常に高く、企画によっては9倍超となる行事もあり、コロナ禍でも博物館の教育普及行事に対する高い期待を感じた。</p>	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組	<p>新型コロナ対策の基本的な部分では今年度と同様感染症対策を講じつつ、自由参加行事の実施は状況を見極めて判断する。高い募集倍率となった行事などでは、回数を増やすなどの対応を検討するが、事前申込制、参加人数の制限等は継続していく。</p>
令和2年度	<p>生物分野で「自然教室」「みんなで調べよう 平塚のカタツムリ」、地質分野で「恐竜ペーパークラフトづくり」、天文分野で「星を見る会」、体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」「体験！宇宙飛行士選抜試験」を当初企画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止、実施の場合も開催数及び定員数を減らして実施した。</p> <p>【実施した行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然教室 6回のうち2回実施 32人 (うち子ども17人) ・みんなで調べよう「平塚のカタツムリ」 自然教室と合同で1回開催 ・星を見る会 11回予定のうち3回実施 (雨天中止2回) 94人 (うち子ども47人) <p>【中止した行事】</p> <p>「恐竜ペーパークラフトづくり」、体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」、「体験！宇宙飛行士選抜試験」</p>	前年度の課題等に対する取組状況	
		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により多くの行事が中止となる中、従来自由参加制だった星を見る会を事前申込制とし、定員を10組に限定するなど、感染症対策を講じて実施した。</p>	<p>検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組	<p>来年度も感染症対策を講じながらの実施が予想されるため、不特定多数の参加が見込まれる行事の実施を見合わせ、引き続き事前申込制の上、参加人数を制限して実施していく。</p>

備考 (その他)

1 (2) 7	プラネタリウム投影事業	担当課	博物館
---------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
児童・生徒が宇宙や天文への関心と理解を深める機会となるように、投影を実施します。投影においては一般投影のほか、幼稚園及び小・中学校向けの投影プログラムを準備し団体見学を受け入れます。	幼稚園及び小・中学校向け投影については、各教員の意見を取り入れ、一般向け投影についてはアンケート結果を参考にしながら、プログラムを作成し、投影を行います。また、乳幼児向けの観覧環境を提供します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、幼児団体投影及び小学校の学習投影は引き続き市内の学校に限定して実施した。 一般投影は1日2回投影を維持した。幼児向け一般投影も毎土曜日の午前投影を継続した。 幼児・学校団体向け投影。 観覧者数 2,205人（うち子ども1,968人） 投影回数 76回 一般・一般団体向け投影。 観覧者数 5,888人（うち子ども2,080人） 投影回数 236回 	前年度の課題等に対する取組状況 幼児団体投影、小学校学習投影は対象を市内の園校のみ、1日の投影は1園校に限定し、投影日数を拡大し対応した。一般投影は定員縮小、整理券配布などの措置を継続したが投影回数を日に2回、定員も3月からはコロナ禍以前の70人に戻した。特別投影も一部再開した。夏休み等学校の休業時期には、平日にも投影日を追加した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナ以前の定員と投影回数へと戻し、観覧者数の増加を図る。幼児・学校向け団体投影は休止していた市外の団体の受入れを再開する。引き続き魅力あるプログラムの提供と広範なPRを行う。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、幼児団体投影及び小学校の学習投影は引き続き市内の学校に限定して実施した。 引き続き一般投影は12月まで1日1回の投影としたが、ドーム内の二酸化炭素濃度測定を検証した結果、1月からは1日2回投影へと変更した。昨年投影中止した幼児向け一般投影は8月の夏休みに期間限定で投影し、年明けからは毎土曜日の午前投影を再開した。 幼児・学校団体向け投影。 観覧者数 2,314人（うち子ども2,086人） 投影回数 85回 一般・一般団体向け投影。 観覧者数 3,262人（うち子ども1,174人） 投影回数 147回 	前年度の課題等に対する取組状況 感染症対策を講じながらの投影となり、幼児団体投影小学校学習投影は対象を市内の園校に限定し実施した。一般投影は投影回数減、人数制限、整理券配布などの措置を継続した。調査研究は継続的に進めたが、その成果を新番組で投影する機会が減った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 今年度と同様、各種感染対策を継続するが、幼児・学校団体向けの投影日数の拡大、夏休み等学校の休業時期にも、投影日数の追加を検討する。
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、幼児団体投影は中止、小学校の学習投影は市内の学校に限定して実施した。 同じく一般投影は8月から1月にかけて投影回数を1日2回から1回に減らして実施した。例年実施している幼児向け番組の投影は中止した。 幼児・学校団体向け投影。 観覧者数 690人（うち子ども627人） 投影回数 24回 一般・一般団体向け投影。 観覧者数 863人（うち子ども257人） 投影回数 48回 	前年度の課題等に対する取組状況 継続的な調査研究はある程度進められたが、その成果を新番組として投影できる機会が減った。プラネタリウムは、投影回数を減らすとともに収容人数の半数以下を定員とし、観覧券販売前に整理券を配布するなど感染症対策を講じて実施した。
		検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き感染症対策を講じながらの投影が求められるため、幼児団体投影は対象を市内の園に限定して実施する。一般投影は投影回数減、人数制限、整理券配布などの措置を当面継続する。

備考（その他）	

1 (2) 8	芸術文化子ども体験事業	担当課	社会教育課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもたちが、長い歴史と伝統の中から生まれ守り伝えられてきた貴重な財産である芸術文化を体験することで、歴史、伝統、芸術文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育む機会を提供します。	小・中学校、平塚市文化連盟、地域教育力ネットワーク協議会及び公民館等と連携し、体験事業の実施を充実します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>【各地区事業（通年開催）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神田地区（神田公民館、大神公民館と共催）「生け花」 ・ 横内地区「琴」 ・ 金目地区「生け花」 <p>【公民館事業（通年開催）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旭北公民館「奇術」 ・ 花水公民館「生け花」 ・ 崇善公民館「生け花」 ・ 大原公民館「生け花」 ・ 中原公民館「生け花」 ・ 岡崎公民館「生け花」 <p>【学校への講師派遣（通年開催）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なでしこ小学校「琴」 ・ 金田小学校「琴」 ・ 横内小学校「琴」 ・ 神田小学校「相模人形芝居」 ・ 大野小学校「相模人形芝居」 ・ みずほ小学校「相模人形芝居」 ・ 港小学校「相模人形芝居」 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響から事業の実施箇所が減少していたため、公民館主事会議や小学校へのメール等で事業活用を周知した結果、大幅に増加した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>未実施地区や学校での実施箇所を増やすため、引き続き関係会議等で周知を図り、活用する際の課題があれば、相談支援をしていく。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続
検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	②拡大して継続					
令和3年度	<p>【各地区事業（通年開催）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神田地区（神田公民館、大神公民館と共催）「生け花」 <p>【公民館事業（通年開催）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花水公民館「生け花」 <p>【学校への講師派遣（通年開催）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なでしこ小学校「琴」 ・ 金田小学校「琴」 <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送った箇所があった。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の実施及び周知の推進を課題としていたため、公民館主事会議等で事業周知を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍の中で、安心して参加できる事業とするため、実施方法や周知方法を検討し、実施箇所を拡大する。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続
検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	②拡大して継続					
令和2年度	<p>【公民館事業（通年開催）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花水公民館「生け花」 <p>【学校への講師派遣（通年開催）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なでしこ小学校「琴」 <p>※新型コロナウイルス感染症の影響で事業開始時期が遅れた。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>未実施の地区や学校及び公民館へ周知は行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響から、事業の実施回数が大幅に減ってしまった。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍の中で、安心して参加できる事業とするため、実施方法や周知方法を検討し、実施箇所を拡大する必要がある。 現在ボランティアで事業を実施していただいている文化連盟所属団体等の講師の負担軽減策を考えていく必要がある。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続
検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	②拡大して継続					

備考（その他）

1 (3) 1	育児講座	担当課	保育課
---------	------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子育て家庭の不安感、負担感を軽減できるように、乳幼児の健全な心身の発達、親・家庭の果たす役割及び親子の関係等について学び、親の育児力の向上を図るため、育児講座を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 親の育児不安の解消や育児力の向上を目的とした各種講座の開催や保護者との懇談会を実施します。 主任児童委員等の意見を伺い、地域のニーズに合う講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況		
		コロナ禍でも育児講座を開催できるように検討を行ったが、保育園を運営しながら育児講座を実施するスペースを確保することができなかった。		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
	翌年度に向けた課題と取組			
開催に向けて開催方法等を検討する必要がある。				
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
	翌年度に向けた課題と取組			
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
	翌年度に向けた課題と取組			

備考（その他）

1 (3) 2	家庭教育支援の充実	担当課	中央図書館 中央公民館
---------	-----------	-----	----------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
中央公民館の家庭教育講演会、地区公民館の家庭教育学級において、子育て世代に交流の場を提供し、家庭教育の重要性を発信します。 中央図書館で子どもの読書活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代のニーズを把握して事業を実施します。 平塚市子ども読書活動推進計画 (第4次) に基づいて、事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	中央図書館 ・新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら開催した。 「読書感想文の書き方講座・ビブリオバトルに挑戦しよう (2連続講座)」 令和4年8月2日・8月9日実施。参加者数：16人 「オリジナル絵本を作ってみよう！」 令和5年2月25日実施。参加組数：9組 (21名) 「星空の中のおはなし会」 (平塚市博物館共催) 令和5年3月25日実施。参加者数：18組 (55名) ・平塚市子ども読書活動推進計画 (第4次) の目標達成に向け、「家庭向け講演会の実施」及び「実践型イベントの実施」等の企画・実施を行い、啓発に務めた。 中央公民館 ・平塚市PTA連絡協議会との共催で、家庭教育講演会「子育てで深めよう！家族の絆～苦境に負けない”my sweet home”～」を実施した。講師として、木山裕策氏を迎えた。(参加者449人) ・各地区公民館では、家庭教育学級として「親子でかけっこ～オリンピックと一緒に走ろう～」や「冬の天体観測 家族で色んな惑星を見てみよう」等子育て世代のニーズに合わせた事業を実施した。 計101事業 延べ2,084人	前年度の課題等に対する取組状況 中央図書館：平塚市子ども読書活動推進計画 (第4次) の目標達成に向け、「実践型」「家庭向け」「体験型」と内容や対象者を変えての事業を企画、実施した。 中央公民館：前年度のアンケートから子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施した。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 中央図書館：引き続き、アンケート等からニーズを把握し、事業内容や実施時期、対象者等を検討し、読書活動の普及に繋がる事業を企画・実施する。 中央公民館：引き続き、子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施する。
令和3年度	中央図書館 ・新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら開催した。 「読書感想文の書き方講座・ビブリオバトルに挑戦しよう (2連続講座)」 令和3年8月11日・8月12日実施。参加者数：19人 「オリジナル絵本を作ってみよう！」 令和4年3月12日実施。参加組数：7組 (19名) ・平塚市子ども読書活動推進計画 (第4次) の目標達成に向け、「家庭向け講演会の実施」及び「実践型イベントの実施」の企画・実施を行い、啓発に務めた。 中央公民館 ・平塚市PTA連絡協議会との共催で、家庭教育講演会「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方～明るく、楽しく、あきらめない～」を実施した。講師として、辻井いつこ氏を迎えた。(参加者283人) ・各地区公民館では、公民館だよりにより自宅で作る和風スイーツなどのレシピを掲載した。また家庭教育学級として、「海辺の宝さがし」や「手作り望遠鏡で秋の星空観察」、「おうちdeトライ★サイエンスTube」など新型コロナウイルス感染症対策に考慮し、子育て世代のニーズに合わせた事業を実施した。 計67事業 延べ1,438人	前年度の課題等に対する取組状況 中央図書館：平塚市子ども読書活動推進計画 (第4次) の目標達成に向け、「家庭向け講演会の実施」及び「実践型イベントの実施」について企画及び実施の検討を行った。 中央公民館：前年度のアンケートから子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施した。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 中央図書館：新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した上で、事業内容や実施時期等を検討し、読書活動の普及に繋がる事業を企画・実施する。 中央公民館：引き続き、子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施する。
令和2年度	中央図書館 ・平塚市子ども読書活動推進プロジェクトを次のとおり実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。(全2回) 「オリジナル絵本をつくってみよう！」 申込者数：46組123人 ※定員10組/令和3年2月6日実施を予定し募集を行ったが、緊急事態宣言の発令により中止。 「読書感想文の作り方講座」 予定はしていたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により講師との調整がつかず実施に至らなかった。 中央公民館 ・平塚市PTA連絡協議会と共催し、家庭教育講演会として「名門野球部を支えた渡辺流食のキャッチボール」を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からケーブルテレビ放送及びインターネット配信とし、講師として横浜高等学校野球部合宿所の元寮母である渡辺元美氏を迎えた。(YouTube閲覧回数 1,456回) ・各地区公民館では、公民館だよりにより「家庭教育コンテンツ」や家庭教育講演会で紹介されたレシピを掲載した。また、家庭教育学級として感染症に関する学習や自宅でも楽しめる工作の紹介など、新型コロナウイルス子育て世代のニーズに合わせた事業を行った。(計31事業 延べ399人)	前年度の課題等に対する取組状況 中央図書館：今年度から平塚市子ども読書活動推進計画 (第4次) の目標達成に向け、「家庭向け講演会の実施」及び「実践型イベントの実施」について企画及び実施の検討を行った。 中央公民館：前年度のアンケートから子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施した。 検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 中央図書館：新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した上で、事業内容や実施時期等を検討する。 中央公民館：引き続き、子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施する。

備考 (その他)

1 (3) 3	学習の場の充実	担当課	中央公民館
---------	---------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
中央公民館の市民大学講座や市民アカデミー、地区公民館の自主事業等において、男性の子育て参加を推進します。	男性の料理教室や父の日事業のほか、家族のふれあいが生まれるよう親子や夫婦を対象とした事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から時期や実施方法を検討しつつ、家庭教育学級として「君ももっと速くなる！家族走り方講座」等を実施した。また「親子消防庁舎見学」や「模型飛行機づくり教室」等、男性が参加しやすい内容の事業を実施し、実施日は土日祝に設定した。 土日祝に開催した親子対象の事業 計61事業 延べ1,197人 男性が参加しやすい内容の教室 計45事業 延べ1,436人 	前年度の課題等に対する取組状況 男性保護者の参加を想定し、日時や内容を考慮して事業を企画・実施した。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
引き続き、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から時期や実施方法を検討しつつ、家庭教育学級として「父親を20倍楽しむ～いい父親でなく、笑っている父親になろう～」や「親子でハンモックづくり」等を実施した。また、「親子で凧作り教室」や「模型飛行機づくり教室」等の男性が参加しやすい内容の事業を実施した。なお、事業の実施日を土日祝に設定した。 土日祝に開催した親子対象の事業 計39事業 延べ1487人 男性が参加しやすい内容の教室 計17事業 延べ468人 	前年度の課題等に対する取組状況 男性保護者の参加を想定し、日時や内容を考慮して事業を企画・実施した。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
引き続き、感染症防止の観点からも、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から時期や実施方法を検討しつつ、家庭教育学級として「波の力で電気を作る？波力発電所で学ぶSTOP地球温暖化～」や「親子で工事現場見学～平塚文化芸術ホールはどうやってできるのか～」等を実施した。なお、事業の実施日を土日祝日に設定した。 計6事業 延べ152人 	前年度の課題等に対する取組状況 男性保護者の参加を想定し、日時や内容を考慮して事業を企画・実施した。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
引き続き、感染症防止の観点からも、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。								

備考 (その他)	

1 (3) 4	子育て支援地域派遣事業	担当課	保育課 健康課
---------	-------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
地域の子育て支援活動等に保育士や保健師等を派遣し、育児に関する相談・支援を行います。	子育てサークルなどでの育児情報の提供や育児相談、遊びの紹介等、子育て支援に継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや主任児童委員、福祉村が主催する子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 派遣回数：子育てサークル(コミュニティ)：5回 子育て支援活動(子育て広場)：100回 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。 健康課 ・新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、R2.10月より規模を縮小して実施した。 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回、歯科1回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師14回、栄養5回、歯科4回 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師1回、栄養1回、歯科2回 ・地区の要望に沿って対応している。	前年度の課題等に対する取組状況 保育課：派遣依頼・実施数は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、令和元年の75%程度に回復してきている。 健康課：R3.10月より事業を再開し、依頼件数が前年に比べて増え、感染拡大の防止に努めながら実施した。 検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 保育課：翌年度も現状の規模で継続していく。 健康課：R3.10月より事業を再開し、依頼件数が前年に比べて増えた。今後も、現状の規模で継続していく。		
	令和3年度	保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや、主任児童委員、福祉村が主催する子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 派遣回数：子育てサークル：0回 子育て支援活動：35回 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。 健康課 ・新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、R2.10月より規模を縮小して実施した。 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回、歯科0回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師0回(2件中止)、栄養2回、歯科1回(1件中止) 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師0回、栄養0回(中止1回)、歯科0回(中止1回) ・地区の要望に沿って対応している。	前年度の課題等に対する取組状況 健康課：R3.10月より事業を再開したため、派遣依頼・実施数はコロナ前と比べると減少したが、感染拡大の防止に努めながら実施した。 検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 健康課：R3.10月より事業を再開したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる依頼もあった。コロナ感染拡大の防止に努めながら、翌年度も①現状の規模で継続していく。	
		令和2年度	保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 子育てサークル派遣：1回、子育て支援活動：11回 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。 健康課 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止。 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回(中止1回)、歯科0回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師2回(8件中止)、栄養1回(3回)、歯科2回(4件中止) 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師0回(1件中止)、栄養0回(中止1回)、歯科0回(1件中止) ・地区の要望に沿って対応している。	前年度の課題等に対する取組状況 検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ③縮小して継続 翌年度に向けた課題と取組 新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため、健康課職員の派遣事業は縮小します。

備考 (その他)

1 (3) 5	地域福祉推進事業	担当課	福祉総務課
---------	----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
地域福祉を推進するため、市民と行政との協働により、地域の子どもから高齢者までがお互いに助け合い、支え合う仕組みとしての町内福祉村の新設及び既設福祉村等の環境整備を支援します。	既存福祉村について活動の支援を行うほか、福祉村未設置地区に出向き、本事業の説明やワークショップを実施することで、町内福祉村の意義や必要性を伝え、新設を促進します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>令和4年度は、福祉村の活動が活性化するように、新たな補助制度を創設し、活動の後押しをすることで、地域の輪が途切れることの無いよう促しました。また、福祉村会長会議で他の福祉村の好事例等について紹介等を行うとともに、コーディネーターの研修会を実施しました。</p> <p>さらに、多くの方に福祉村の活動について知っていただくために、ららぽーと湘南平塚でパネル展を実施したほか、平塚市公式LINEで各福祉村の活動を紹介しました。</p> <p>福祉村未開設地区に対しては、地域向けの説明会を複数回実施し、地域での機運が高まるよう、今後も継続的に協議を進めていきます。</p> <p>・ふれあい交流活動 7,847回開催、75,256人参加</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		活性化補助金の活用により、デジタル技術の活用など、新たな取組が広く展開されました。また、新たに、ららぽーと湘南平塚でパネル展を実施したことで福祉村活動の認知度向上を図りました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により福祉村活動を一部縮小し実施しました。感染症対策に配慮しながら、実施可能なサロン等については、開催人数や回数、会場等の変更を行いながら各地区で工夫し実施することができました。市からも、既設18地区の町内福祉村に対し、住民主体の身近な生活支援やふれあい交流活動を可能な範囲で実施する際の助言等を行うことで、地域の輪が途切れることの無いよう配慮を行いました。</p> <p>また、町内福祉村に対する運営支援については、感染症の状況を考慮しながら福祉村会長会議を書面で開催するなどの手段も活用し、他の福祉村の好事例等について紹介等を行うことで、今後の各福祉村活動が活性化するように努めました。</p> <p>町内福祉村未開設地区に対しては、書面等での地区へ情報提供を行うと共に、少人数で検討する機会を設けました。地区での機運が高まるよう、今後も継続的に協議を進めていくこととします。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		感染症対策に配慮した実施可能な範囲でのサロン等を行っていますが、参加ボランティアの拡大には繋がりませんでした。しかし、ボランティア間の繋がりが途切れないよう連絡を密にし、今後の活動に備えています。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉村活動を一部縮小し実施しました。既設18地区の町内福祉村に対し、市から住民主体の身近な生活支援やふれあい交流活動を可能な範囲で実施する際の助言等を行うことで、地域の輪が途切れることの無いよう配慮を行いました。</p> <p>また、町内福祉村に対する運営支援については、年4回の福祉村会長会議を書面で開催するなどの手段も活用しながら他の福祉村の好事例等を参考にしたり、各福祉村での共通の課題等を取り上げ情報共有することで、感染症の影響下においても、各福祉村の活動が活性化するように努めました。</p> <p>町内福祉村未開設地区に対しては、感染症の影響で地区へ情報を提供する機会が持てなかったため、今後も継続的に協議を進めていくこととします。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		福祉村の運営にかかる会計処理について、情報共有を行いました。また、感染症の影響で活動が一部縮小したため、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開などは、継続して検討する必要があります。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
備考（その他）						

1 (3) 6	保育所のボランティアの受入れ	担当課	保育課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
園児とのふれあいを通して、保育の基礎的な知識や技術を習得してもらい、地域への社会奉仕活動への参加を図るため、保育所での保育実習及び地域の保育ボランティアの受入れを行います。	小・中・高校生の社会（職業）体験学習や保育実習の場の提供、地域のボランティアや絵本の読み聞かせボランティア等の受入れをします。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	夏休みに高校生の保育実習を受け入れた。63人 39園で実施。実習後にアンケートを実施し、「保育士の仕事を間近で見る、体験することができていい経験になった」「実習に参加し、改めて保育士になると思った」など、保育実習に参加して良かったとの回答が多数寄せられた。	前年度の課題等に対する取組状況				
		各園、参加学生ともに新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて実施した。また、申込方法に電子申請を加え、事前説明会を動画配信に変更し、学生がより参加しやすい形式を取り入れた。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルス感染症の動向を確認し、園、学生の安全に配慮しながら実施していく。学生がより参加しやすいように、Webを利用したの申し込みや説明会等継続していく。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルス感染症の動向を確認し、園、学生の安全に配慮しながら実施していく。学生がより参加しやすいように、Webを利用したの申し込みや説明会等継続していく。			
翌年度に向けた課題と取組						
新型コロナウイルス感染症の動向を確認し、園、学生の安全に配慮しながら実施していく。学生がより参加しやすいように、Webを利用したの申し込みや説明会等継続していく。						
令和3年度	夏休みに高校生の保育実習を受け入れた。68人 36園で実施。	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症の防止対策をしながら実施した。昨年度の中止を受けてか参加者は、コロナ前より増加する。コロナの影響で取りやめや途中中止となる学生もいたが、90%以上が修了できた。感染症対策の一環として修了式を動画配信で行った。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルス感染症の防止対策の徹底をはかり実施していく。修了式の動画配信での実施を受け、来年度は説明会や申し込み等もwebを利用したの実施を検討していく。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルス感染症の防止対策の徹底をはかり実施していく。修了式の動画配信での実施を受け、来年度は説明会や申し込み等もwebを利用したの実施を検討していく。			
翌年度に向けた課題と取組						
新型コロナウイルス感染症の防止対策の徹底をはかり実施していく。修了式の動画配信での実施を受け、来年度は説明会や申し込み等もwebを利用したの実施を検討していく。						
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）	

1 (3) 7	非行防止活動の推進	担当課	青少年課
---------	-----------	-----	------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>心豊かで、規範意識・遵法精神・社会性が向上した青少年を一人でも多く育成するため、社会を明るくする運動を通して、講演会や街頭啓発キャンペーン等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛護指導活動、相談活動を行います。 ・ 青少年指導員による環境浄化活動を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くため、社会を明るくする運動の活動を支援します。 ・ 青少年の非行を防止するため、学校及び地域と協力し、パトロールを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和4年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を七夕まつり、花火大会及び年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち7校区で合計8回実施（指導件数817件） ・ 社会を明るくする運動を各地区において開催（16地区で合計16回実施、延べ4,518人参加） ・ 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場でのチラシ配布及び横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布（2,125部）を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>学校・地域関係団体と青少年の問題行動等について情報共有を図り、青少年の非行・問題行動等に対し協力して取り組んだ。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。 </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。										
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち1校区で2回、4校区で1回実施（指導件数363件） ・ 社会を明るくする運動を各地区において開催（9地区で実施、延べ1,959人参加） ・ 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場への横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布（2,147部）を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>学校・地域関係団体と情報共有を図り、青少年の非行・問題行動等に対し協力して取り組んだ。愛護指導活動については、新型コロナウイルス感染症の影響等により愛護指導実施回数が減少した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。 </td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。										
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち7校区で各1回実施（指導件数726件） ・ 社会を明るくする運動を各地区において開催（7地区で実施、延べ627人参加） ・ 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場への横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布（2,180部）を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。 </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。										

備考（その他）

1 (3) 8	こころと命のサポート事業	担当課	福祉総務課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
地域において実施しているおはなし会や読み聞かせ、読み語り等の中で、「命の大切さ、尊さ」をテーマに取り上げてもらうことで、命の大切さ、尊さを普及・啓発し、自殺対策を推進します。	地域で活動している団体等に、本事業について理解を深めてもらい、おはなし会、読み聞かせ、読み語りの中で、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストを活用してもらうよう働きかけ、命の大切さ、尊さの普及・啓発を推進します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 12地区 読み聞かせ回数 延べ 221回 読み聞かせ人数 延べ 5,343人	前年度の課題等に対する取組状況
		昨年度実施地区が少なかったことから、昨年度より呼びかけを強化し、実施を促すことで実施地区の向上に繋がった。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。 「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 8地区 読み聞かせ回数 延べ 157回 読み聞かせ人数 延べ 4,850人	前年度の課題等に対する取組状況
		公立・私立保育園、小・中学校の司書教諭及び学校司書に「いのちの尊さをつたえる本」ブックリストの活用と読み聞かせの実績報告を依頼した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。 「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 ①なでしこ小学校 16回延べ539人 ②黒部丘幼稚園 25回450人 ③花水さくら保育園 36回延べ1,053人 ④花水公民館 2回延べ15人 合計 1地区 実施回数 79回 延べ2,057人	前年度の課題等に対する取組状況
		保育園・幼稚園に「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用を依頼した。 子ども読書活動代表者会議で読み聞かせの実績報告を依頼。
		検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。

備考（その他）

1 (3) 9	子ども学習支援委託事業	担当課	生活福祉課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
将来の自立に向けた高等学校進学のため、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生に学習の支援をします。	生徒の参加状況を踏まえ実施場所の拡充などを検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	参加実績 中学1年生 10名 中学2年生 16名 中学3年生 12名 高校1年生 3名 高校2年生 1名 高校3年生 1名 実施場所 2か所 開催日数 166日	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組
		学習支援の範囲を本格的に高校生までに拡大するにあたって、参加者人員の確保。
令和3年度	参加実績 中学1年生 13名 中学2年生 12名 中学3年生 20名 実施場所 1か所 開催日数 83日	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。
令和2年度	参加実績 中学1年生 10名 中学2年生 21名 中学3年生 17名 実施場所 1か所 開催日数 107日（R3.3月末現在）	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。

備考（その他）

2 (1) 1	一時預かり事業	担当課	保育課
---------	---------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保護者の断続的な就労、病気や育児疲れの解消等の理由で、子どもの保育ができないときの緊急・一時的な保育を行います。 〔対象：就学前子ども〕	民間保育所のほか、民間認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園でも一時預かりを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所19園で実施（延べ利用児童数11,769人） ・保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		施設改修の影響により実施できなかった1園を除き、すべての園で実施をすることができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
ニーズに応じて実施する必要がある、現状の規模で継続して取組む。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所19園で実施（延べ利用児童数11,281人） ・保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所20園で実施（延べ利用児童数9,941人） ・認定こども園6園（民間・公立）及び民間幼稚園3園で実施（延べ利用児童数推計12,316人） 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
本年と同様の規模で継続したい。						

備考（その他）

2 (1) 2	ファミリー・サポート事業	担当課	保育課
---------	--------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と子育ての援助を行いたい方（支援会員）を組織化し、幼稚園・保育所等への送迎及びその前後の預かり等の育児の援助活動の橋渡しを行います。 〔依頼会員：0歳から小学校6年生までの児童の保護者〕	支援会員に対し、預かり中の子どもの安全対策に係る研修を実施するとともに、支援会員の声を聞きながら研修の充実を図っていきます。また、積極的なPR活動を行い、支援会員を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を1回開催。 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を2回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 会員数：支援会員276人、依頼会員933人、内両方会員31人 活動件数：2,280件 ※新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施 ※依頼会員の中に資格を喪失している会員（子どもが中学生以上の保護者）が含まれていたため整理して正しい会員数に修正	前年度の課題等に対する取組状況 支援会員講習会について、広報ひらつかや市公式LINEでの周知に加え、市民課及び障がい福祉課前に設置している広告放映ディスプレイへの掲載やスーパー等へのポスターの掲示を行った。		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		検証結果	B：おおむね成果があがった	
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続		
翌年度に向けた課題と取組 依頼会員のニーズに対応できるように、PRや支援会員講習会のカリキュラム見直しなど、支援会員増加に向けた取組を行う。				
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を2回開催。 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 支援会員サポートを1回開催。 会員数：支援会員300人、依頼会員1,544人、内両方会員29人 活動件数：1,734件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少	前年度の課題等に対する取組状況 ・支援会員の入会説明会及び講習会について、市公式LINEを使うなど、PRを強化した。 ・支援会員講習会のカリキュラムを見直し、講習内容の充実を図った。（救命講習：救命入門コース(90分)から普通救命講習(3時間)に変更等)		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		検証結果	B：おおむね成果があがった	
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続		
翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。				
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を2回開催。 支援会員の講習会を1回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 支援会員サポートを1回開催。 会員数：支援会員291人、依頼会員1,480人、内両方会員30人 活動件数：1,317件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少	前年度の課題等に対する取組状況 ・支援会員の処遇向上を目的に、依頼会員が支援会員に支払う報酬(基準)のうち、1時間あたり700円の時間帯を「午前6時～午後10時」から「午前7時～午後7時」に変更。 ・支援会員入会説明会の会場を利便性の高い会場に変更し、開催数を増加。(R1：12回 R2：30回)		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		検証結果	B：おおむね成果があがった	
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続		
翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、支援会員講習会のカリキュラム見直し、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。				

備考（その他）

2 (1) 3	延長保育・休日保育事業	担当課	保育課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保育所や認定こども園において、延長保育や休日保育を行います。〔対象：就学前子ども〕	引き続き、保護者の就労形態などに対応した延長保育や休日保育を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育（全園で実施） ・休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況				
		すべての園で実施をすることができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
延長保育は保育園の在園児が規定の利用時間を超えて保育園を利用するもの。休日保育についても同様であり、ニーズに応じて実施する必要があるため、現状の規模で継続して取組む。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育（全園で実施） ・休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育（全園で実施） ・障がい児保育（全園で受入れ可） ・休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）4「特別保育拡充事業」から内容を整理した。

2 (1) 4	私立幼稚園の預かり保育の推進	担当課	保育課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。 [対象：3歳から就学前子ども]	引き続き、県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の私立幼稚園（新制度移行・未移行）すべてで実施。 ・保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために預かり保育を利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度は健康課が実施。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		令和5年4月から神田幼稚園が認定こども園へ移行。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の私立幼稚園（新制度移行・未移行）すべてで実施。 ・保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために預かり保育を利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		各幼稚園に対して、利用者のニーズにあった事業展開を推進した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	新制度未移行の市内私立幼稚園全てで実施いただいた。	前年度の課題等に対する取組状況				
		子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）
令和3年度より学務課から保育課へ事務移管

2 (1) 5	病児・病後児保育	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもが病中、又は病気の回復期にあるときに、保護者が仕事や病気等により、自宅で看病できない場合に対応するため、病児・病後児保育を行います。	時期により定員を超える利用申込みがあることなどから、事業の拡充（病児保育の実施）に向け取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	市内2か所で実施 （病後児保育施設1か所、病児・病後児保育施設1か所） ・平塚保育園病後児保育室「なでしこ」 延べ利用児童数 101人 ・麦・もんもん病児保育室（令和3年4月開設） 延べ利用児童数 750人	前年度の課題等に対する取組状況
		令和4年2月から予約システムを導入し、職員の業務負担が軽減し、利用者の利便性も向上した。令和4年度から健康だよりによる情報発信を開始し、また、各施設の紹介動画をYouTubeにアップするなどして、病児・病後児保育の周知を図った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 令和6年度中の病児・病後児保育施設の新規開設に向けて、施設整備の支援を行う。
令和3年度	市内2か所で実施 （病後児保育施設1か所、病児・病後児保育施設1か所） ・平塚保育園病後児保育室「なでしこ」 延べ利用児童数 95人 ・麦・もんもん病児保育室（令和3年4月開設） 延べ利用児童数 536人	前年度の課題等に対する取組状況
		・令和3年4月から本市初の病児保育を開始し、広報や市HPなどの媒体で広報を行った。 ・令和4年2月から職員の業務負担の軽減、利用者の利便性向上のため、インターネットで事前登録、空き情報の確認、利用の予約・キャンセルが可能なシステムの導入を支援した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても、実施施設と連携し、子育てと仕事の両立支援の充実を図る。
令和2年度	市内1か所で病後児保育を実施。 延べ利用児童数 107人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数減少。	前年度の課題等に対する取組状況
		令和3年4月からの病児保育実施に向け、事業者と協議を進めた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 令和3年4月から開始する病児保育の広報を行うとともに、円滑に運営ができるように支援を行う。

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）6「病後児保育」から事業名称を変更した。

2 (1) 6	放課後児童クラブの充実・推進	担当課	青少年課
---------	----------------	-----	------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
放課後児童支援員等としての資質の向上を図るため、放課後児童支援員等を対象とした市主催の研修を推進します。また、近年、県等主催の研修が充実してきたため、より多くの研修機会が持てるように、情報提供し、参加を促進します。	県等主催の研修について情報提供するとともに、市主催の研修については、県等主催の研修内容を踏まえ、放課後児童支援員等として、必要な知識及び技術の習得のための研修を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>6月 普通救命講習 4回 参加者56人</p> <p>12月、1月 発達障がい児の理解等について 2回 参加者110人</p> <p>1月 保護者との連携 1回 参加者71人</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		市主催研修では、昨年度末のオンライン研修後のアンケートを踏まえ、分散開催で新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ、予定通り開催した。また、県等の他研修ではオンライン研修を実施し、多くの方が参加した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>6月～7月 普通救命講習 4回 参加者45人</p> <p>7月 災害時対応講習 1回 参加者35人</p> <p>12月 発達障がい児の理解等について 2回 参加者109人</p> <p>1月～2月 コンプライアンス研修 2回 参加者81人</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルスの影響はあったが、分散開催やオンラインを活用することで、概ね例年規模での研修を開催することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<p>放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>10月1日、16日 発達障がい児の理解等について 2日間 1日57人、16日65人</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で、10月のみの開催。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		検証結果 B：おおむね成果があがった				
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続				
		翌年度に向けた課題と取組				
		令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、開催回数が少なかったが、令和3年度以降は例年規模で継続し、放課後児童支援員等の資質の向上に努める。				

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）7「学童保育の充実・推進」から事業名称を変更した。

2 (1) 7	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	担当課	社会教育課
---------	--------------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
放課後や土曜日等に、地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、子どもたちが学習や文化活動、地域住民との交流活動などを継続的に体験できる取組を推進します。	放課後や土曜日等に、子どもたちが文化・スポーツ、自然体験など様々な活動をする機会を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 〈実施内容〉 絵手紙、コカリナ、南京玉すだれ ※夏休み期間(8/21)には3年ぶりに夕暮れコンサートを開催 港地区「港放課後子ども教室」 〈実施内容〉 自主学習、バドミントン、ストラックアウト、輪投げ、体育遊び（跳び箱、肋木、フラフープ、ボール投げ等）ニュースポーツ体験（ポッチャ、ラダーゲッター等） ・地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 〈実施内容〉 茶の湯、ジュニアバンド、和太鼓、陸上、卓球、剣道、野菜作り、フラワーアレンジメント、お琴、浴衣着付け教室、ドッジボール、横内ふるさとカルタ大会、バナナの木 <p>※各地区ともコロナ禍以前の活動に近づいている</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		手指消毒やマスクの着用など、基本的な感染防止対策の励行が定着し、コロナ禍以前の活動に戻していく試みが増えている。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模・期間を縮小して実施 港地区「港放課後子ども教室」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模・期間を縮小して実施 ・地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模（期間）を縮小して実施 	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症リスクの中で、安全な事業の実施に重点を置き、事業の継続を最優先とした。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により休止 港地区「港放課後子ども教室」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模（期間）を縮小して実施 ・地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模（期間）を縮小して実施 	前年度の課題等に対する取組状況				
		他地域への拡大に向け、新たに関係団体と話し合いの機会を設けたが、受け皿となる組織体制等の課題があるため、引き続き働きかけを行っている。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

2 (1) 8	新・放課後子ども総合プランの推進	担当課	青少年課 教育総務課 社会教育課
---------	------------------	-----	------------------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
「新・放課後子ども総合プラン」の趣旨に基づき、子どもたちが放課後等を安全、安心に過ごし、多様な体験、活動を行うことができるように、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的又は連携した取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後子ども教室の拡充に向けて、実施を希望する地域や学校の把握に努め、設置が可能な案件については、令和5年度までを目途にスケジュール調整を行います。 ・ 小学校の余裕教室等の利用状況を定期的に調査し、放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室への活用の可能性について、庁内で連携して検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的又は連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和5年3月23日に開催した。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止対策を優先しながら、既存の2地区における活動の継続及び活性化を図った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。また「子どもの居場所づくり」という視点から地域の様々な活動を捉え、庁内や関係団体との情報共有を進めていく必要がある。
令和3年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的又は連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和4年3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため、書面開催とした。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止対策を優先したため、教室実施地区の拡大や、学校の余裕教室の調整ができなかった。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。
令和2年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的または連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和3年3月24日に開催した。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止対策を優先したため、教室実施地区の拡大や、学校の余裕教室の調整ができなかった。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）9「放課後子ども総合プランの推進」から事業名称を変更した。

2 (1) 9	民間保育所施設整備支援事業	担当課	保育課
---------	---------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保育所待機児童の解消や保育サービスの充実を図るため、民間保育所に対して助成を行います。	入所児童の安全性や生活環境の改善を図るために、民間保育所の施設整備に対して必要な助成をします。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人立保育所5園の施設の小規模な修繕に対して助成 ・社会福祉法人立保育所1園の施設の増改築工事に対して助成 ・株式会社立保育所1園の施設の増改築工事に対して助成 ・学校法人立幼稚園1園の認定こども園化に伴う改築工事に対して助成 ・小規模保育事業所1か所の新規開設に伴う施設改修工事に対して助成 	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同様に、民間保育所の修繕及び新規開設や定員増に伴う工事に対しての助成を行い、待機児童解消のために施設を整備した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人立保育所5園の施設の小規模な修繕に対して助成 ・社会福祉法人立保育所2園の施設の増改築工事に対して助成 ・社会福祉法人立保育所1園の防犯対策工事に対して助成 ・社会福祉法人立保育所1園の防音壁工事に対して助成 ・学校法人立認定こども園1園の防犯対策工事に対して助成 ・小規模保育事業所1か所の新規開設に伴う施設改修工事に対して助成 	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同様に、民間保育所の修繕及び新規開設や定員増に伴う工事に対しての助成を行い、待機児童解消のために施設を整備した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人立保育所5園の施設の小規模な修繕に対して助成 ・社会福祉法人立保育所1園の施設の増改築工事に対して助成 ・社会福祉法人立保育所1園の防犯対策工事に対して助成 ・学校法人立幼稚園2園の認定こども園化に伴う改築工事に対して助成 ・小規模保育事業所1か所の新規開設に伴う施設改修工事に対して助成 	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同様に、民間保育所の修繕及び新規開設や定員増に伴う工事に対しての助成を行い、待機児童解消のために施設を整備した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

2 (1) 10	民間保育所保育士確保支援事業	担当課	保育課
----------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
高まる保育ニーズに対応するため、保育環境の充実に向け、民間保育所の保育士の確保や就労を支援します。	保育士養成校や民間保育所との情報交換や連携を密にすることで、市内民間保育所での就労を促進するとともに、他の自治体による保育士確保策を注視し、魅力的で実効性のある保育士確保支援事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>【民間保育所保育士確保支援の「3つの柱」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就職促進貸付金 R4新規支払者数：5人 継続利用者数：16人(R1継続1人、R2継続7人、R3継続8人) ○就労支援交付金 R4新規支払者数：33人 継続利用者数：64人(R2継続31人、R3継続33人) ○奨学金返済支援補助金 R4新規支払者数：5人 継続利用者数：2人(R3継続2人) ※R4から補助率1/2→2/3 <p>【その他の保育士確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民間保育所インターンシップ事業実施支援補助金 31人 ○民間保育士メンタルヘルスケア実施支援事業補助金) 8人 ○保育士就職応援フェア 4回開催(5月、8月、9月、10月) ○保育士確保特設サイト「ひらつか保育士ナビ」特設サイト、貸付金PR動画等を作成した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士確保特設サイトを開設し、貸付金PR動画を作成した。令和5年度からPRに活用していく。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	②拡大して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>【民間保育所保育士確保支援の「3つの柱」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就職促進貸付金 R3新規申込者数：9人 継続利用者数：14人 ○就労支援交付金 R3新規申込者数：41人 継続利用者数：77人(うち3年満了者:39人) ○奨学金返済支援補助金 R3新規申込者数：2人 <p>【その他の保育士確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民間保育所インターンシップ事業実施支援補助金 32人(うち重複利用者:1人(実人数:31人)) ○民間保育士メンタルヘルスケア実施支援事業補助金) 利用人数11人、利用回数13回) ○民間保育所ガイドブック作製 750部作製 ○保育士就職セミナー 4回開催(6月、8月、9月、11月) ○保育士養成校訪問 12校 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士確保支援の「3つの柱」を中心に、事業の充実度を上げることができた(特に貸付金)。 ・保育士確保とこの事業のPRを積極的に行うため、民間保育所の団体と連携し、保育士養成校への訪問回数を増やした他、保育士就職セミナーの開催増などを実施した。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<p>【民間保育所保育士確保支援の「3つの柱」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就職促進貸付金 R2新規申込者数：7人 継続利用者数：13人 ○就労支援交付金 R2新規申込者数：43人 継続利用者数：119人(うち3年満了者33人) ○奨学金返済支援補助金 R2新規申込者数：1人 <p>【その他の保育士確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民間保育所インターンシップ事業実施支援補助金 対象者を学生や保育士試験一部合格者に加え、令和2年度からブランクのある未就労中の有資格者(潜在保育士)にも拡大。(R2実績：27人(うち重複利用者2人(実人数25人)) ○民間保育士メンタルヘルスケア実施支援事業補助金) (R2実績：利用人数5人、利用回数9回) ○民間保育所ガイドブック作成 (R2実績：1,000部作製) ○1分動画「平塚で保育士になりませんか!」作成。各保育施設が、「平塚で保育士になりませんか!」をテーマに、先輩の保育士さんからのメッセージや施設の雰囲気、YouTubeを活用し、「1分動画」を作成し市HPにアップ。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
翌年度に向けた課題と取組						

備考 (その他)

2 (1) 11	公立保育所施設整備事業	担当課	保育課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
安心・安全・快適な保育環境の向上や地域への子育て支援の充実を図るため、老朽化した公立保育所の施設整備を行います。	公立保育所において計画的な修繕等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	公立保育所7園及び認定こども園1園について、施設・設備等の小規模な修繕を実施した。	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度に引き続き、施設・設備等の小規模な修繕を実施する。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
公立保育所及び認定こども園の施設の老朽化が進む中で、突発的な故障や破損による修繕が事業予算の多くを占めている。園児、職員等施設利用者の安全と安心を守るため必要な修繕を実施していく。						
令和3年度	公立保育所7園及び認定こども園1園について、施設・設備等の小規模な修繕を実施した。	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度に引き続き、施設・設備等の小規模な修繕を実施する。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
公立保育所及び認定こども園の施設の老朽化が進む中で、突発的な故障や破損による修繕が事業予算の多くを占めている。園児、職員等施設利用者の安全と安心を守るため必要な修繕を実施していく。						
令和2年度	公立保育所7園及び認定こども園1園について、施設・設備等の小規模な修繕を実施した。	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度に引き続き、施設・設備等の小規模な修繕を実施する。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
公立保育所及び認定こども園の施設の老朽化が進む中で、突発的な故障や破損による修繕が事業予算の多くを占めている。園児、職員等施設利用者の安全と安心を守るため必要な修繕を実施していく。						

備考（その他）

2 (1) 12	私設保育施設への支援	担当課	保育課
----------	------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
児童の健康診断、職員の保菌検査、施設賠償責任保険の諸経費に対して助成を行います。	子ども・子育て支援新制度の動向を見極めながら、補助等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	私設保育施設7施設に助成した。	前年度の課題等に対する取組状況
		新規施設からの補助金申請を受け、既存園と合わせて施設への支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		子ども・子育て支援新制度の動向に合わせて該当園の漏れが無いよう見極めて支援を実施していく。
令和3年度	私設保育施設5施設に助成した。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	私設保育施設5施設に助成した。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）	

2 (1) 13	幼保一元化のモデルケース事業	担当課	保育課 教育総務課
----------	----------------	-----	--------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
認定こども園の整備及び開園後の運営に係る課題について、継続して検討します。	港こども園を運営していく中で出てくる課題について検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	平成29年4月1日に幼保連携型認定こども園として供用開始した「港こども園」において、実際にこども園を運営していく中で出てくる課題について整理し、吉沢保育園と土屋幼稚園を統合し、民営化する(仮称)土沢認定こども園の事業者募集において、課題を反映した公募を実施した。 また、こうした課題に対し、引き続き検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図った。	前年度の課題等に対する取組状況				
		「港こども園」において、運営していく中で出てくる課題について整理し、民営化する(仮称)土沢認定こども園の事業者募集において、課題を反映した公募を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	平成29年4月1日に幼保連携型認定こども園として供用開始した「港こども園」において、実際にこども園を運営していく中で出てくる課題について整理した。 <ul style="list-style-type: none"> ・実践を通して構築すべき教育・保育内容（指導計画、カリキュラム等）について、職員同士の情報共有する時間の確保が困難であることから満足なカリキュラムが作成できていない。 ・保護者の行事や保護者会等への園との関わりなどについて、1号入園児と2号及び3号入園児に相違がある。 こうした課題に対し、検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図った。	前年度の課題等に対する取組状況				
		「港こども園」において、実際にこども園を運営していく中で出てくる課題について整理した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	平成29年4月1日に幼保連携型認定こども園として供用開始した「港こども園」において、実際にこども園を運営していく中で出てくる課題について検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図った。	前年度の課題等に対する取組状況				
		「港こども園」において、実際にこども園を運営していく中で出てくる課題について検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図った。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

2 (1) 14	公立園の在り方の検討	担当課	保育課 教育総務課
----------	------------	-----	--------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
公立の幼稚園及び保育所については、「平塚市幼保一元化に関する検討会」で取りまとめた在り方を踏まえ、協議を進めています。	幼稚園や保育所等の利用状況を見極めながら、多様な保育ニーズに対応する公立園の在り方を検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	幼保一元化のモデルケース事業の取組みを背景とした、幼保一元化に関する課題の発見、検討を行い、令和2年度に示されたひばり幼稚園の方向性に基づき、各所管課で運営状況や社会状況の変化等を踏まえた今後の在り方を検討した。	前年度の課題等に対する取組状況						
		継続的な就学前人口の減少及び待機児童等を背景とした保育需要の予測から、今後の公立園運営に係る課題や見直しの視点を洗い出し、方向性を検討した。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
取組みを継続し、今後の方向性を決定する。								
令和3年度	幼保一元化のモデルケース事業の取組みを背景とした、幼保一元化に関する課題の発見、検討を行い、令和2年度に示されたひばり幼稚園の方向性に基づき、各所管課で運営状況や社会状況の変化等を踏まえた今後の在り方を検討した。	前年度の課題等に対する取組状況						
		保育課：インクルーシブ教育に関する取組状況などの周知、共有を図った。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
社会状況を踏まえ課題等を整理し、今後の方向性を検討する。								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ひばり幼稚園の方向性は、当面は公設公営で存続し、港こども園の運営状況の研究や社会状況の変化、施設の状態及びインクルーシブ教育の取組状況などを総合的に見極め、5年後を目途に改めて検討することとした。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
港こども園の運営状況の研究や社会状況の変化、施設の状態及びインクルーシブ教育の取組状況などの整理。								

備考（その他）

2 (2) 1	子育て支援センター事業	担当課	保育課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>子育て家庭に対する育児不安等についての相談支援、各種子育てに係る情報提供、親子の気軽な交流の場としての子育てサロンの運営、子育てサークル等への支援を行います。 〔対象：就学前子ども及び保護者〕</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続き子育て支援センター事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,487人、子ども 4,389人、合計 7,876人 相談件数：面接 2,182件、電話 45件、その他 202件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながらイベントや育児講座を開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,379人、子ども 4,021人、合計 7,400人 相談件数：面接 2,246件、電話 15件、その他 188件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながら人形劇やコンサートなど一部のイベントを開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,254人、子ども 3,939人、合計 7,193人 相談件数：面接 2,043件、電話 28件、その他 181件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。 令和2年6月15日からは、利用は予約制で利用時間、利用人数等を制限して再開した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

2 (2) 2	つどいの広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで、精神的な安心感をもたらし、問題解決への糸口となる機会(場)を提供します。 〔対象：おおむね0～3歳児及び保護者〕	事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続きつどいの広場事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	・5か所で実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,494人、子ども1,643人、合計 3,137人、相談件数：242件	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。
	「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 4,743人、子ども 5,123人、合計 9,866人、相談件数：406件	検証結果 B：おおむね成果があがった
	「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,808人、子ども 2,248人、合計 4,056人、相談件数：178件	今後の事業展開 ①現状の規模で継続
	「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,518人、子ども 1,702人、合計 3,220人、相談件数：31件	翌年度に向けた課題と取組
	「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 810人、子ども 873人、合計 1,683人、相談件数：21件	利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。
令和3年度	・5か所で実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,671人、子ども1,756人、合計 3,427人、相談件数：292件	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。
	「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 3,899人、子ども 4,169人、合計 8,068人、相談件数：426件	検証結果 B：おおむね成果があがった
	「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,391人、子ども 1,654人、合計 3,045人、相談件数：183件	今後の事業展開 ①現状の規模で継続
	「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,321人、子ども 1,457人、合計 2,778人、相談件数：40件	翌年度に向けた課題と取組
	「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 802人、子ども 933人、合計 1,735人、相談件数：38件	コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。
令和2年度	・5か所で実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等は中止した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,546人、子ども1,634人、合計 3,180人、相談件数：248件	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。令和2年6月15日からは、利用時間、利用人数等を制限して順次再開した。
	「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 2,863人、子ども 3,101人、合計 5,964人、相談件数：392件	検証結果 B：おおむね成果があがった
	「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,397人、子ども 1,643人、合計 3,040人、相談件数：186件	今後の事業展開 ①現状の規模で継続
	「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,118人、子ども 1,281人、合計 2,399人、相談件数：27件	翌年度に向けた課題と取組
	「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 616人、子ども 663人、合計 1,279人、相談件数：44件	コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。

備考（その他）

2 (2) 3	開放保育事業	担当課	保育課
---------	--------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
地域の未就園児とその保護者に、保育所や認定こども園の園庭や施設を開放し、園児との交流や保護者同士の交流を図り、保育士による育児相談や情報提供を行います。 〔対象：就学前子ども及び保護者〕	保育所や認定こども園で概ね週1回程度、施設を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所29園、認定こども園4園、小規模保育事業所1園、計34園で実施。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育所等を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況	
		すべての園で実施をすることができた。	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
		園児との交流や保護者同士の交流を図るとともに、育児に悩む家庭のニーズ等に対応するため、現状の規模で継続して取組む。	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所28園、認定こども園5園、小規模保育事業所1園、計34園で実施。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育所等を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所33園で実施 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育園を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	

備考（その他）

2 (2) 4	赤ちゃん広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
公立保育所及び認定こども園において、1歳未満の乳児を育てる親を対象に、育児不安等についての相談、子育てに係る情報の提供、親子の気軽な交流の場の提供を行います。	事業の周知を図るとともに、育児不安等についての相談を受けたり、子育てに係る情報を提供したりできるように、引き続き事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	毎月1回保健センターで赤ちゃん広場を実施。各回の参加上限を4月から12月までは10組、1月から3月は15組として開催した。参加人数については、確定時に報告。	前年度の課題等に対する取組状況						
		赤ちゃん広場の申し込み状況を考慮し、後半の参加上限を変更した。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。								
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								

備考 (その他)

2 (2) 5	親子ふれあい体験事業	担当課	保育課
---------	------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子育て中の親子が楽しく遊び、共通の体験活動を通しながら親子のふれあいが実感できる場を提供します。	子育て中の親子が参加できるミニミニ運動会を市内公民館等で実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、人数制限し内容を一部変更して実施した。 6, 10, 11月の3回実施。28組の親子計58名が参加。 公立保育園及び認定こども園の保育士、保育教諭による「おうちでミニミニ運動会」の動画を継続配信している。 手あそび、エプロンシアター、ふれあい遊び、制作あそびなど、親子で体を動かし楽しめる動画を3本配信している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<p>新型コロナウイルス感染症防止対策をしながら、人数制限をし、内容も密にならない等工夫して実施した。</p>						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
<p>新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、人数制限を緩和し受け入れる親子の組数を増やしていく。合わせて内容を検討する。家庭でも楽しめる「おうちでミニミニ運動会」の動画配信は継続する。</p>								
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。 なお、昨年度作成した公立保育園及び認定こども園の保育士、保育教諭による「おうちでミニミニ運動会」の動画を継続配信している。 手あそび、エプロンシアター、ふれあい遊び、制作あそびなど、親子で体を動かし楽しめる動画を3本配信している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。 なお、感染拡大防止のため、外出を控えるなど自宅で過ごす時間が多くなる中、公立保育園及び認定こども園の保育士、保育教諭による「おうちでミニミニ運動会」を動画配信した。 手あそび、エプロンシアター、ふれあい遊び、制作あそびなど、親子で体を動かし楽しめる動画を3本配信している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

2 (2) 6	ブックスタート事業	担当課	中央図書館 健康課 保育課
---------	-----------	-----	---------------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
全ての乳児とその保護者が絵本を通して楽しい時間を過ごすとともに、豊かな子どもの心を育て、親子の絆を養ってもらえるように子育てを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフが丁寧に事業の趣旨を伝えることで、参加者の高い満足度を維持するとともに、対象者への周知や参加しやすい機会づくり等、関係機関と連携しながら参加率向上を図ります。 ・ 公立保育所において、地域のボランティアによる読み聞かせを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を一部変更して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数 会場開催42回（つどいの広場「きりんのおうち」0回）、個別対応69組 ・ 施設数 4か所 ・ 参加者数 1,541人（参加組数601組、乳児587人、保護者813人、兄弟姉妹等141人） ・ 市民ボランティア 34人（登録者数） ・ 配布絵本 601冊 内訳『じゃあじゃあびりびり』（偕成社）104冊、『びょーん』（ポプラ社）95冊、『もこもこもこ』（文研出版）107冊、『まねっこおやこ』（プロンズ新社）290冊、『おつきさまこんばんは』（福音館書店）2冊、『くだもの』（福音館書店）2冊、『いないいないばあ』（童心社）1冊 <p>公立保育所で感染症防止対策に配慮しながら地域ボランティアによる読み聞かせを実施した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施方法の見直しや感染防止対策を行いながら実施した。予約不要で参加できる個別ブックスタートを中央図書館で令和4年12月から開始した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		<p>引き続き参加者の高い満足度を維持するとともに、参加率の向上をはかる。対象年齢時にブックスタートに参加できなかった方へのフォロー体制を構築するとともに、対象者が参加しやすいよう関係各課との連携方法について協議していく。</p>
令和3年度	<p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を一部変更して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数 会場開催44回（健康課「7か月児相談」に合わせた実施6回、つどいの広場「きりんのおうち」0回）、個別対応6組 ・ 施設数 7か所 ・ 参加者数 1,495人（参加組数616組、乳児590人、保護者787人、兄弟姉妹等118人） ・ 市民ボランティア43人（登録者数） ・ 配布絵本 616冊 内訳『じゃあじゃあびりびり』（偕成社）199冊、『びょーん』（ポプラ社）224冊、『もこもこもこ』（文研出版）148冊、『おつきさまこんばんは』（福音館書店）18冊、『くだもの』（福音館書店）22冊、『いないいないばあ』（童心社）1冊、『がたんごとんがたんごとんがたんごとん』（福音館書店）0冊、『だっだぁー』（主婦の友社）4冊 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施方法の見直しや感染防止対策を行いながら実施した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		<p>引き続き参加者の高い満足度を維持するとともに、参加率の向上をはかる。令和4年度に予定している地区図書館の指定管理者制度への移行に伴い、事業の実施方法等について検討する。</p>
令和2年度	<p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を一部変更して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数 会場開催38回（健康課「7か月児相談」に合わせた実施16回、つどいの広場「きりんのおうち」0回）、個別対応13組 ・ 施設数 7か所 ・ 参加者数 1,722人（参加組数758組、乳児733人、保護者907人、兄弟姉妹等82人） ・ 市民ボランティア49人（登録者数） ・ 配布絵本 758冊 内訳『じゃあじゃあびりびり』（偕成社）258冊、『びょーん』（ポプラ社）277冊、『もこもこもこ』（文研出版）181冊、『おつきさまこんばんは』（福音館書店）17冊、『くだもの』（福音館書店）9冊、『いないいないばあ』（童心社）3冊、『がたんごとんがたんごとんがたんごとん』（福音館書店）3冊、『だっだぁー』（主婦の友社）10冊 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施方法の見直しや感染防止対策を行いながら実施した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		<p>引き続き参加者の高い満足度を維持するとともに、参加率の向上をはかる。実施方法の見直しやブックスタートを受けた効果のPRにつながるアンケートの実施について、関係機関と調整の上、検討を進める。</p>

備考（その他）

2 (2) 7	活動場所の確保	担当課	青少年課 中央公民館
---------	---------	-----	---------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子育て団体の活動場所として、子どもの家や青少年会館、公民館の利用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年団体、青少年育成団体が活動場所の確保が容易になるように、上記団体への優先的な施設予約を継続します。 ・ 仲間づくりの場、地域交流の場として公民館が活用されるように努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	青少年課 ・ 青少年会館では、子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を継続している。 中央公民館 ・ 授乳やおむつ替えの場所としてみんなのトイレや保育室を案内した。	前年度の課題等に対する取組状況				
		青少年課：青少年会館では、引き続き子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を維持していく。 中央公民館：案内表示等を活用して、みんなのトイレや保育室等の利用を促進した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
青少年課：青少年会館では、引き続き子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を維持していく。 中央公民館：引き続き、利用可能場所の周知を行い、子育て団体の活動場所としての公民館利用を促進する。						
令和3年度	青少年課 ・ 青少年会館では、子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を継続している。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部利用制限等を行った。 中央公民館 ・ 授乳やおむつ替えの場所としてみんなのトイレや保育室を案内した。	前年度の課題等に対する取組状況				
		青少年課：青少年会館では、引き続き子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を維持していく。 中央公民館：引き続き、利用可能場所の周知を行い、子育て団体の活動場所としての公民館利用を促進する。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
青少年課：青少年会館では、引き続き子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を維持していく。 中央公民館：引き続き、利用可能場所の周知を行い、子育て団体の活動場所としての公民館利用を促進する。						
令和2年度	青少年課 ・ 青少年会館では、子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を継続している。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部利用制限等を行った。 中央公民館 ・ 授乳やおむつ替えの場所としてみんなのトイレや保育室を案内した。	前年度の課題等に対する取組状況				
		青少年課：青少年会館では、引き続き子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を維持していく。 中央公民館：引き続き、利用可能場所の周知を行い、子育て団体の活動場所としての公民館利用を促進する。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
青少年課：青少年会館では、引き続き子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を維持していく。 中央公民館：引き続き、利用可能場所の周知を行い、子育て団体の活動場所としての公民館利用を促進する。						

備考（その他）

2 (3) 1	情報提供の推進	担当課	保育課 こども家庭課
---------	---------	-----	---------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子育て家庭向け、情報誌・市ウェブ等により子育てに関する情報を分かりやすく発信します。	広報紙やチラシ類でのPR、ひらつかわくわくマップ（子育てマップ）を始めとした市ウェブ等、様々な方法で子育てに関する情報をより広く、提供します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	保育課・こども家庭課 ・ホームページを利用して、各種手当、保育所・認定こども園、子育て支援事業、旬の情報等を発信。 保育課 ・子育てガイド「くすくす」を発行（5,500部）し、市内保育施設や子育て支援施設に配布。ホームページにも掲載し、電子媒体でも提供。 ・FM湘南ナバサでの保育所入所、公立保育所での園児の様子や行事、子どもとの関わり方や絵本の与え方等子育てに関する情報を提供。（毎月1回（6月・7月除く）：計10回） ・民間の子育て情報誌に子育て支援センターやつどいの広場、ファミリー・サポート・センター等の情報を掲載。 こども家庭課 ・子育て応援メールで乳幼児情報を発信。（発信回数12件）	前年度の課題等に対する取組状況
		保育課：より多くの人に最新の情報が届くように、子育てガイド「くすくす」の発行部数を増加し、子育て支援ブログの更新頻度を増やした。こども家庭課：子育て応援メールに加えて市公式LINEで周知を行うことで、より幅広い層の方に周知を行った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	保育課・こども家庭課 ・ホームページを利用して、各種手当、保育所・認定こども園、子育て支援事業、旬の情報等を発信。 保育課 ・子育てガイド「くすくす」を発行（5,200部）し、市内保育施設や子育て支援施設に配布。ホームページにも掲載し、電子媒体でも提供。 ・FM湘南ナバサでの保育所入所、公立保育所での園児の様子や行事、子どもとの関わり方や絵本の与え方等子育てに関する情報を提供。（毎月1回（6月除く）：計11回） ・民間の子育て情報誌に子育て支援センターやつどいの広場、ファミリー・サポート・センター等の情報を掲載。 こども家庭課 ・子育て応援メールで乳幼児情報を発信。（発信回数14件）	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		前年度の課題等に対する取組状況
令和2年度	保育課・こども家庭課 ・ホームページを利用して、各種手当、保育所・認定こども園、子育て支援事業、旬の情報等を発信。 保育課 ・子育てガイド「くすくす」を発行（4,300部）し、市内保育施設や子育て支援施設に配布。ホームページにも掲載し、電子媒体でも提供。 ・FM湘南ナバサでの保育所入所、公立保育所での園児の様子や行事、子どもとの関わり方や絵本の与え方等子育てに関する情報を提供。（毎月1回（6月除く）：計11回） ・民間の子育て情報誌に子育て支援センターやつどいの広場、ファミリー・サポート・センター等の情報を掲載。 こども家庭課 ・子育て応援メールで乳幼児情報を発信。（発信回数19件）	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		前年度の課題等に対する取組状況

備考（その他）

2 (3) 2	子ども及び子育て家庭に係る総合支援	担当課	こども家庭課
---------	-------------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
既存の社会資源を有効に活用するため、児童相談所や関係機関等と連携し、地域における多様な子育て支援サービス情報を一元的に把握して、ネットワーク化を図ります。	利用者への情報提供、ケースマネジメント及び利用援助等の支援を行うとともに、子育て家庭や保育所からの相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 家庭児童相談員を配置し、児童相談所等の関係機関と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,704件 ヤングケアラー等の支援ニーズが高い児童等を対象とした「支援対象児童等見守り強化事業（訪問型）」を実施（延べ61世帯293食）。 「支援対象児童等見守り強化事業（居場所型）」を実施（利用人数22名） 「子育て世帯訪問支援事業」を実施（利用者なし） 	前年度の課題等に対する取組状況 ヤングケアラー等の支援ニーズが高い児童等に対する支援の充実を図りました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 3つの事業の利用者拡大に向け、支援が必要な世帯への理解を促していきます。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 家庭児童相談員を配置し、児童相談所等の関係機関と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 2,045件 ヤングケアラーの早期発見に向けたネットワークづくりに取り組み、発見後の円滑な支援を推進するため、ヤングケアラー支援推進会議を設置。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 公共施設を活用し、相談対応・情報提供を実施。 市内子どもの家4か所にて、1か月に1回親子広場を開催（24回）。214人の親子が参加、58件の相談に対応。 なお、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、5・6月（8回）を休止した。 家庭児童相談員を配置し、県児童相談所等と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,799件 子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談体制の強化を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況 子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談体制の強化を図った。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（3）2「子育て支援総合コーディネート事業」から事業名称を変更した。

2 (3) 3	保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	担当課	保育課 教育指導課
---------	---------------------	-----	--------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保育所や認定こども園、幼稚園を利用している保護者や地域の子育て家庭を対象に、電話や面接により、子育てについての不安や悩みの相談に対応します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や認定こども園で実施し、相談の内容によっては関係機関と連携を図ります。 ・ 幼稚園の在園児の保護者や入園を希望する保護者に対し、電話や面接による子育てについての相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所、認定こども園で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況				
		保育課：保育所や保育課窓口で随時相談を受け付け関係機関との連携を図った。 教育指導課：各園で未就園児の体験保育に参加されていた保護者から相談を受け入園につながることや就学相談を継続的に行い、進学する小学校へ円滑につながる事ができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所、認定こども園で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況				
		保育課：保育所や保育課窓口では随時相談を受け付ける。現状の規模で要望に応じていく。 教育指導課：各園で在園児の保護者に対し、継続的に支援していくとともに、入園希望者の保護者に対し、育児相談についての周知に努める。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。 実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況				
		保育課：保育所や保育課窓口では随時相談を受け付ける。現状の規模で要望に応じていく。 教育指導課：各園で在園児の保護者に対し、継続的に支援していくとともに、入園希望者の保護者に対し、育児相談についての周知に努める。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（3）3「保育所・幼稚園の育児相談」から事業名称を変更した。

2 (3) 4	女性のための相談事業	担当課	人権・男女共同参画課
---------	------------	-----	------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
女性が日常生活の中で直面する様々な悩みの解消や配偶者等の暴力から女性とその子どもを守るため、女性のための相談窓口を設けます。	女性やその子どものための支援等について、相談体制や関係機関との連携を強化します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数664件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整32件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。				
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数780件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整38件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。				
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数794件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整46件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。				

備考（その他）

2 (3) 5	生活困窮者自立支援事業	担当課	福祉総務課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、住居確保給付金の支給その他包括的な支援を実施します。	自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業の実施及び住居確保給付金の支給を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。この他に、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で、関係機関との連携に苦慮することが多かったが、連携機関連絡会を3年ぶりに対面で実施するなど、比較的影響前に近いかたちで連携し、生活困窮者の支援を行うことができた。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。この他に、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>継続的な周知と他機関との連携を図り、新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮した方への支援を実施した。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。なお、昨年度から、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>継続的な周知と他機関との連携を図り、新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮した方への支援を実施した。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		<p>今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」につないで制度を活用できるようにする。また、令和3年3月より実施した「家計改善支援事業」、「就労準備支援事業」を活用して自立に向けた相談を充実させる。</p>				

備考（その他）

2 (3) 6	生活困窮世帯の子ども支援事業	担当課	生活福祉課
---------	----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行います。	関係機関と連携し保護者と生徒自身の両者に対して継続した支援を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価																																
令和4年度	<p>生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 85%;">日常生活支援</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">11件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>養育支援</td> <td style="text-align: right;">6件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>教育支援</td> <td style="text-align: right;">725件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>就業支援</td> <td style="text-align: right;">45件</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>その他支援</td> <td style="text-align: right;">136件</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>情報提供、収集、状況把握</td> <td style="text-align: right;">501件</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）</td> <td style="text-align: right;">19件</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>その他（関連業務）</td> <td style="text-align: right;">13件</td> </tr> </table>	1	日常生活支援	11件	2	養育支援	6件	3	教育支援	725件	4	就業支援	45件	5	その他支援	136件	6	情報提供、収集、状況把握	501件	7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	19件	8	その他（関連業務）	13件	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。	
		1	日常生活支援	11件																														
		2	養育支援	6件																														
		3	教育支援	725件																														
		4	就業支援	45件																														
		5	その他支援	136件																														
6	情報提供、収集、状況把握	501件																																
7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	19件																																
8	その他（関連業務）	13件																																
検証結果	A：成果があがった																																	
今後の事業展開	①現状の規模で継続																																	
翌年度に向けた課題と取組																																		
中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。																																		
令和3年度	<p>生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 85%;">日常生活支援</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">4件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>養育支援</td> <td style="text-align: right;">93件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>教育支援</td> <td style="text-align: right;">717件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>就業支援</td> <td style="text-align: right;">9件</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>その他支援</td> <td style="text-align: right;">84件</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>情報提供、収集、状況把握</td> <td style="text-align: right;">182件</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）</td> <td style="text-align: right;">14件</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>その他（関連業務）</td> <td style="text-align: right;">9件</td> </tr> </table>	1	日常生活支援	4件	2	養育支援	93件	3	教育支援	717件	4	就業支援	9件	5	その他支援	84件	6	情報提供、収集、状況把握	182件	7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	14件	8	その他（関連業務）	9件	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。	
		1	日常生活支援	4件																														
		2	養育支援	93件																														
		3	教育支援	717件																														
		4	就業支援	9件																														
		5	その他支援	84件																														
6	情報提供、収集、状況把握	182件																																
7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	14件																																
8	その他（関連業務）	9件																																
検証結果	A：成果があがった																																	
今後の事業展開	①現状の規模で継続																																	
翌年度に向けた課題と取組																																		
中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。																																		
令和2年度	<p>生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 85%;">日常生活支援</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">3件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>養育支援</td> <td style="text-align: right;">210件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>教育支援</td> <td style="text-align: right;">758件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>就業支援</td> <td style="text-align: right;">53件</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>その他支援</td> <td style="text-align: right;">64件</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>情報提供、収集、状況把握</td> <td style="text-align: right;">39件</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）</td> <td style="text-align: right;">10件</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>その他（関連業務）</td> <td style="text-align: right;">6件</td> </tr> </table>	1	日常生活支援	3件	2	養育支援	210件	3	教育支援	758件	4	就業支援	53件	5	その他支援	64件	6	情報提供、収集、状況把握	39件	7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	10件	8	その他（関連業務）	6件	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。	
		1	日常生活支援	3件																														
		2	養育支援	210件																														
		3	教育支援	758件																														
		4	就業支援	53件																														
		5	その他支援	64件																														
6	情報提供、収集、状況把握	39件																																
7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	10件																																
8	その他（関連業務）	6件																																
検証結果	A：成果があがった																																	
今後の事業展開	①現状の規模で継続																																	
翌年度に向けた課題と取組																																		
中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。																																		

備考（その他）

2 (3) 7	民生委員運営事業	担当課	福祉総務課
---------	----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
地域福祉の推進のため、地域と行政とのパイプ役としての役割を果たす民生委員児童委員を積極的に支援します。	定例の地区会長会議や全体研修、分野別研修などを通じ、民生委員児童委員の情報共有や資質向上を支援します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	令和4年度は、昨年度に引き続きオンライン研修も取り入れつつ、3年振りに集合での全体研修を開催し、民生委員児童委員の識見向上に努めました。また、12月の一斉改選で委嘱された約100名の新任委員の新任委員に対し、集合及びオンラインで研修を行うことで、新任委員が抱える不安の緩和に努めました。広報・啓発活動についても、広報誌の発行や街頭PR活動を実施し、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。毎月の定例会における行政からの情報提供も継続して行っています。	前年度の課題等に対する取組状況				
		新任委員のオンライン研修は、環境が整っていない委員に対して上映会を開催する等配慮し、対象者全員が受講できるよう努めました。また、新任委員向けの集合研修も企画し、不安の緩和と識見の向上に努めました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	昨年度と同様に、コロナ禍においても行政からの情報提供は継続して行うと共に、オンライン研修を取り入れることで民生委員の識見向上に努めました。また、パネル展の開催及び地域住民向けの広報誌を発行することで、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。	前年度の課題等に対する取組状況				
		人材育成の課題に対して予定していた集合研修は全て中止となりましたが、オンラインで受講できる講座を活用することで、研修機会を確保しました。また、オンライン環境の整っていない委員に対し、動画の上映会を開催しました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	コロナ禍においても、行政からの情報提供は継続して行うと共に、在宅で受講できる研修を取り入れることで民生委員の識見向上に努めました。また、パネル展の開催及び地域住民向けの広報誌を発行することで、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。	前年度の課題等に対する取組状況				
		人材育成の課題に対して予定していた集合研修は全て中止となりましたが、動画やテキストのみで受講できる講座を活用することで、研修機会を確保しました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
研修機会が十分に得られなかった民生委員児童委員へ機会を提供することが必要です。						

備考（その他）

2 (3) 8	民間団体との連携	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもの学習支援団体や子どもの居場所づくりに取り組む団体と意見交換や情報提供など連携を図っていきます。	民間学習支援団体等との情報共有、連携の場づくりに取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県、市からの通知を一斉送信し、情報提供に努めました。 ・ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク推進委員会及び同部会に参画し、ネットワークの構築に携わりました。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		市民の方に子ども食堂等をより知ってもらうため有効な周知方法を模索しました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。また、子ども食堂との打合せに参加し、情報共有を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにこども食堂及び学習支援活動団体の一覧を掲載した。 ・こども食堂及び学習支援活動団体の連絡先（メールアドレス）を把握することで、国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		団体との連携において、具体的に取り組むことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

2 (3) 9	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
---------	------------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p><1 (1) 3事業の再掲> 児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしています。必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。</p>	<p>平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回(うち3回はオンラインを併用)、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議80回 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえ、実務者会議ではオンラインを併用したハイブリッド方式で実施しました。</p>						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
今後児童虐待防止等ネットワーク協議会の周知・理解をより深めるため、会議の内容、回数を検討します。								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回(書面開催)、実務者会議4回(うち書面開催3回)、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議74回 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議3回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議91回 (新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、実務者会議を1回中止している) 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

2 (4) 1	労働セミナー事業	担当課	産業振興課
---------	----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
労働諸問題に対する理解と教養を深めるため、勤労者、事業主、一般市民を対象に労働セミナーを開催し、労働問題の自主的解決能力の向上を図るとともに、生活安定向上を目指します。	神奈川県かながわ労働センター湘南支所との共催により、事業主及び勤労者等を対象として、社会情勢を考慮したテーマで労働講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、社会情勢に合った講座内容を検討のうえ、企業の人事労務担当者及び勤労者等を対象としたセミナーを次のとおり開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月11日（金） 18：00～20：00（定員30人・受講料無料） 「ポストコロナにおける非正規雇用のルール」参加者数：19人 ・令和5年2月7日（火） 15：00～17：00（定員20人・受講料無料） 「育児・介護休業法 ～改正のポイントと助成金について～」参加者数：10人 ・令和5年2月10日（金） 15：00～17：00（定員20人・受講料無料） 「労働時間管理におけるトラブル事例と対応策」参加者数：14人 	前年度の課題等に対する取組状況				
		神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、社会情勢に合った講座を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度の実施結果を基に、労働者や雇用者のニーズ及び社会情勢に合った講座内容や実施方法を検討しつつ、効果的な事業周知を行うことが必要。						
令和3年度	<p>神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、社会情勢に合った講座内容を検討のうえ、企業の人事労務担当者及び勤労者等を対象としたセミナーを次のとおり開催した。（各定員30人・受講料無料）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月18日（月） 18：00～20：00 「職場のハラスメント対策の動向」参加者数：20人 ・令和4年1月19日（水） 15：00～17：00 「高齢者雇用について～シニア社員戦力化～」参加者数：6人 ・令和4年1月26日（水） 15：00～17：00 「育児・介護休業法について～基礎知識から改正ポイントまで～」参加者数：12人 ・令和4年2月2日（水） 15：00～17：00 「多様な働き方～テレワーク・業務委託・兼業副業～周りの基礎知識」参加者数：8人 	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症の影響による中止を避けるため、市予算分（3回）をオンラインで実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度の結果を基に、労働者や雇用者のニーズ及び社会情勢に合った講座内容や実施方法を検討しつつ、効果的な事業周知を行うことが必要。						
令和2年度	<p>労働セミナーは、共催しているかながわ労働センター湘南支所と協議の結果、コロナ禍の状況を鑑み中止した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
コロナの状況を考慮しながら開催方法について、かながわ労働センター湘南支所と協議していく。						

備考（その他）

2 (4) 2	就労支援制度の普及・啓発	担当課	産業振興課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>勤労ひらつか(毎月1回、市内の労働組合や企業、市の施設に配付)で支援制度の普及・啓発に努めるとともに、厚生労働省や都道府県労働局から送付されるリーフレットや冊子等により啓発に努めます。</p>	<p>ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に関する情報を広く発信します。また、国・県の関係機関等から送付されたリーフレットや冊子等を掲示・配架し、啓発を図ります。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>機関紙「勤労ひらつか」及び「ひらつか労働ニュース」にて、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る情報を発信した。なお、「勤労ひらつか」について、令和4年10月号発行をもって、市ウェブ上の定期更新ページ「ひらつか労働ニュース」へと移行した。</p> <p>【勤労ひらつか掲載】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年4月号 子育てサポート企業「くるみんマーク」について 令和4年6月号 男女共同参画週間のご案内 令和4年7月号 年次有給休暇取得促進、健康経営について 令和4年8月号 「産後パパ育休」創設・育休の分割取得のご案内、全国労働衛生週間 令和4年10月号 年次有給休暇取得促進 <p>【ひらつか労働ニュース配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年11月配信済 過労死等防止啓発月間、テレワーク月間 令和4年12月配信済 令和4年度平塚市イクボスプロジェクト、職場のハラスメント撲滅月間 令和5年2月配信済 平塚市労働セミナー <p>※国・県の関係機関等から送付されたリーフレット・冊子等を掲示・配架し、啓発に努めた。(掲示・配架場所：本庁舎・勤労会館等)</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>機関紙「勤労ひらつか」及び市ウェブ「ひらつか労働ニュース」ページにて、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る情報を発信した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る支援情報について、引き続き情報発信に努める。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>情報紙「勤労ひらつか」に、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る記事を掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年5月号 業務改善助成金 令和3年6月号 新たな働き方促進のための補助金 令和3年7月号 年次有給休暇取得促進、テレワークデイズ2021 令和3年8月号 テレワーク導入支援補助金、テレワークに関する情報・支援 令和3年9月号 県テレワーク導入促進事業、業務改善助成金 令和3年10月号 平塚市イクボスプロジェクト、年次有給休暇取得促進期間 令和3年11月号 過労死等防止啓発月間 令和3年12月号 改正育児・介護休業法に関する特別相談窓口、女性就業支援全国展開事業 令和4年1月号 年次有給休暇取得促進、くるみん助成金、両立支援等助成金 令和4年3月号 労働契約上の無期転換ルール、年次有給休暇制度 <p>※国・県の関係機関等から送付されたリーフレット・冊子等を掲示・配架し、啓発に努めた。(掲示・配架場所：本庁舎・勤労会館等)</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>市ウェブへの掲載の他、紙媒体でも発行してきたが、業務のスリム化、デジタル化を図るため、令和3年度から市ウェブへの掲載のみに切り替えた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<p>情報紙「勤労ひらつか」に、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る記事を計5回掲載し、市のホームページでも公開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年5月号 働き方・休み方改善ポータルサイト、コンサルタントについて 令和2年6月号 男女共同参画週間について 令和2年7月号 業務改善助成金、働き方改革推進支援助成金について 令和2年8月号 神奈川働き方改革推進支援センターについて 令和2年10月号 ハロートレーニング「無料職業訓練」、平塚イクボスプロジェクトについて <p>国・県の関係機関等から送付されたリーフレット・冊子等を掲示・配架し、啓発に努めた。(掲示・配架場所：本庁舎・勤労会館等)</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>市ウェブへの掲載の他、紙媒体でも発行してきたが、業務のスリム化、デジタル化を図るため、令和3年度から市ウェブへの掲載のみとする。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

2 (4) 3	事業所の実践する働き方改革への支援	担当課	人権・男女共同参画課
---------	-------------------	-----	------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
市内事業所へのイクボス宣言企業登録制度の普及を進め、従業員のだれもが仕事と家庭の両立がしやすい職場環境づくりを後押しします。 ※ひらつか男女共同参画プラン2017の終期令和5年度までの事業計画とします。	平塚市イクボス宣言登録企業を増やすため、事業所に向けた講演会等を開催します。 登録した企業をホームページなどでPRします。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和4年度	<p>「ひらつか男女共同参画プラン2017」（平成29年度から令和5年度までの7年間）に沿って実施。</p> <p>①「男女共同参画推進登録団体と協働で行う意識啓発（2件） 5月15日（日）、11月17日（木）</p> <p>②「事業所向けイクボス認定制度の創設」において、令和4年度平塚市イクボスプロジェクトを開催（動画公開サイトYouTubeに講演動画を期間限定配信） 配信期間：11月11日（金）～12月9日（金） 視聴回数：310回</p> <p>③ひらつか男女共同参画推進協議会（女性活躍推進協議会）の開催 第4回5月20日（金）、第5回7月25日（月）、第6回12月1日（木） 第7回令和5年3月8日（水）</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>アンケートを実施するなどして、意識改革が進んだか計ることに努めた。 イクボスに関する啓発等を実施し、イクボス登録企業は増えた。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次年度も講演会は動画配信での実施を前提に、多くの人に見てもらえるような動画内容、配信方法について検討する必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		次年度も講演会は動画配信での実施を前提に、多くの人に見てもらえるような動画内容、配信方法について検討する必要がある。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
次年度も講演会は動画配信での実施を前提に、多くの人に見てもらえるような動画内容、配信方法について検討する必要がある。										
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、①は開催数を減らし、②はオンラインによる動画配信、③は一部書面会議にて実施した。</p> <p>「ひらつか男女共同参画プラン2017」（平成29年度から令和5年度までの7年間）に沿って実施。</p> <p>①「男女共同参画推進登録団体と協働で行う意識啓発（1件） 5月23日（日）</p> <p>②「事業所向けイクボス認定制度の創設」において、令和3年度平塚市イクボスプロジェクトを開催（申込者限定で動画公開サイトYouTubeに講演動画を配信） 配信期間：11月12日（金）～12月10日（金） 申込者：80人</p> <p>③ひらつか男女共同参画推進協議会（女性活躍推進協議会）の開催 第8回5月27日（木）、第1回7月12日（月）、第2回11月22日（月） 第3回令和4年3月4日（金）書面会議</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>アンケートを実施するなどして、意識改革が進んだか計ることに努めた。 イクボスに関する啓発等を実施し、イクボス登録企業は増えた。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルスの感染拡大防止や柔軟な働き方の促進に資することから、次年度も講演会は動画配信での実施を検討するほか、より多くの人に見てもらえるような動画内容、配信方法について検討する必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルスの感染拡大防止や柔軟な働き方の促進に資することから、次年度も講演会は動画配信での実施を検討するほか、より多くの人に見てもらえるような動画内容、配信方法について検討する必要がある。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
新型コロナウイルスの感染拡大防止や柔軟な働き方の促進に資することから、次年度も講演会は動画配信での実施を検討するほか、より多くの人に見てもらえるような動画内容、配信方法について検討する必要がある。										
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、①は開催数を減らし、②は参加者数を減らし、③は一部書面会議にて実施した。</p> <p>「ひらつか男女共同参画プラン2017」（平成29年度から令和5年度までの7年間）に沿って実施。</p> <p>①「男女共同参画推進登録団体と協働で行う意識啓発（1件） 10月25日（日）</p> <p>②「事業所向けイクボス認定制度の創設」において、令和2年度平塚市イクボスプロジェクトを開催 11月13日（金）参加者数19人</p> <p>③ひらつか男女共同参画推進協議会（女性活躍推進協議会）の開催 第4回5月22日（金）、第5回7月10日（金）、第6回11月20日（金） 第7回令和3年3月30日（火）</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>アンケートを実施するなどして、意識改革が進んだか計ることに努めた。 イクボスに関する啓発等を実施し、イクボス登録企業は増えた。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講演会等の開催方法などについて検討する必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講演会等の開催方法などについて検討する必要がある。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講演会等の開催方法などについて検討する必要がある。										

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の2（4）1「男女共同参画意識改革事業」を統合した。 また、事業の名称を「就労環境の向上に向けた普及・啓発」から変更した。

2 (5) 1	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：675件（新規ケース） 相談回数：1,249件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		子どもの進学に係る貸付の申請については、申込みが遅れ、子が進学できない事態を防ぐため、貸付の相談を行っている旨の周知を行いました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
母子・父子相談を行っている旨を市のLINE等で周知を行うことで、相談しやすい環境をつくります。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：572件（新規ケース） 相談回数：1,006件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：589件（新規ケース） 相談回数：1,210件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

2 (5) 2	母子・父子自立支援事業	担当課	こども家庭課
---------	-------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
母子家庭の母又は父子家庭の父が自立するために、教育訓練講座や高等職業訓練促進への助成など自立支援給付事業を実施します。	母子・父子家庭への支援対策として、引き続き自立支援給付事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 6件 (225,048円) 高等職業訓練促進給付金等 6件 (5,759,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 ・母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ・ひとり親家庭就学支度資金貸付 4件 (1,640,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況
		補助対象期間や資格が拡大したことの周知を広めるため、FMナバサに出演し事業内容の説明を行うなど周知活動を行いました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		ひとり親家庭就学支度資金貸付事業については、申請可能枠を増やして対応出来る環境を整えたため、より多くの高校進学者の入学準備を円滑に進むようにサポートします。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 8件 (337,801円) 高等職業訓練促進給付金等 4件 (3,002,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 1件 (80,446円) ・母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ・ひとり親家庭就学支度資金貸付 9件 (3,690,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 7件 (270,317円) 高等職業訓練促進給付金等 6件 (6,994,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 ・母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ・ひとり親家庭就学支度資金貸付 2件 (820,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況
		市単事業として、ひとり親家庭就学支度資金貸付を実施し、ひとり親家庭の支援充実を図った。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

2 (6) 1	小児医療費の助成	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
小児医療費の助成を行います。 令和2年1月から所得制限撤廃 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで	中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	小児医療費の助成を行いました。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数 28,295人	前年度の課題等に対する取組状況
		中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行いました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを安心して産み育てることのできる環境の実現のため、小児医療費助成制度の対象年齢を18歳（高校生相当）まで引き上げることに取り組みます。
令和3年度	小児医療費の助成を行った。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数（令和4年3月31日時点） 28,815人	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	小児医療費の助成を行った。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数（令和3年3月31日時点） 29,403人	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

2 (6) 2	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	こども家庭課
---------	----------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するために医療費の一部を助成します。	ひとり親家庭等の生活と自立を図るため、母子家庭、父子家庭に対し、適正な医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。 医療証の発行数 1,687世帯 4,195人 助成費及び件数 医療費+手数料 151,260,451円 件数 52,559件	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度と同様の取組を行いました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		対象者に対し、医療証の発行を実施します。
令和3年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,760世帯 4,382人 助成費及び件数 医療費+手数料 155,503,462円 件数 53,371件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,817世帯 4,545人 助成費及び件数 医療費+手数料 149,118,767円 件数 51,364件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

2 (6) 3	保育所保育料の軽減	担当課	保育課
---------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもの数や世帯の所得に応じた保育所保育料の軽減を維持します。	「幼児教育・保育の無償化」を踏まえながら、低所得世帯や多子世帯に対する保育所保育料の軽減に取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	①「幼児教育・保育の無償化」 ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し保育料が無償。 ②現行の軽減措置の継続 ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。	前年度の課題等に対する取組状況
		物価や経済の動向などを考慮し、前年度と同じ規模で軽減を実施した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		保護者の負担を軽減を拡大することが望ましいが、経済の動向等や予算等を考慮し、適正な軽減を検討する。
令和3年度	①「幼児教育・保育の無償化」 ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し保育料が無償。 ②現行の軽減措置の継続 ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	①「幼児教育・保育の無償化」 ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し保育料が無償。 ②現行の軽減措置の継続 ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

2 (6) 4	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	担当課	保育課
---------	-------------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
低所得者の負担軽減を図るため、施設等利用給付認定保護者（子どもが従来制度の幼稚園を利用）に対する副食材料費に要する費用の一部を補助します。	対象者へ副食材料費に要する費用の一部を補助します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>幼児教育・保育の無償化制度の実施に伴い、子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を助成します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> 月4,500円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同じ規模で補助を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
低所得世帯については経済的な負担を軽減していく必要があることから、現状の規模で継続して補助を行う。						
令和3年度	<p>幼児教育・保育の無償化制度の実施に伴い、子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を助成します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> 月4,500円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同じ規模で補助を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
低所得世帯については経済的な負担を軽減していく必要があることから、現状の規模で継続して補助を行う。						
令和2年度	<p>子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を補助します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> 月4,500円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同じ規模で補助を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
低所得世帯については経済的な負担を軽減していく必要があることから、現状の規模で継続して補助を行う。						

備考（その他）
令和3年度より学務課から保育課へ事務移管

2 (6) 5	児童生徒就学援助事業	担当課	学務課
---------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。	引き続き、経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円(4月1日認定者)、 【通学用品費】2,270円(4月1日認定者) 【新入学用品費】小学生51,060円、中学年生60,000円、 【入学準備金】次年度小学1年生54,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】(日帰り)小学生1,600円、中学生2,310円(宿泊)小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費(60,910円以内) 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付(11,000円以内)	前年度の課題等に対する取組状況		
		前年度と同様、適正に援助費を執行できた。		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A:成果があがった
		検証結果	A:成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
	翌年度に向けた課題と取組			
今年度と同規模で実施する。				
令和3年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円(4月1日認定者)、 【通学用品費】2,270円(4月1日認定者) 【新入学用品費】小学生51,060円、中学生60,000円、 【入学準備金】次年度小学1年生51,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】(日帰り)小学生1,600円、中学生2,310円(宿泊)小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費(60,910円以内) 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付(11,000円以内)	前年度の課題等に対する取組状況		
		前年度と同様、適正に援助費を執行できた。		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A:成果があがった
		検証結果	A:成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
	翌年度に向けた課題と取組			
今年度と同規模で実施する。				
令和2年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円(4月1日認定者)、 【通学用品費】2,270円(4月1日認定者) 【新入学用品費】小学生50,600円、中学生57,400円、 【入学準備金】次年度小学1年生51,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】(日帰り)小学生1,600円、中学生2,310円(宿泊)小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費(60,910円以内) 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】学校徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付(11,000円以内)	前年度の課題等に対する取組状況		
		前年度と同様、適正に援助費を執行できた。		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A:成果があがった
		検証結果	A:成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
	翌年度に向けた課題と取組			
今年度と同規模で実施する。				

備考 (その他)

2 (6) 6	特別支援教育就学奨励援助事業	担当課	学務課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
特別支援教育を円滑に受けることができるようにするため、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。	引き続き、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】 実費の半額（上限額：小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円）</p> <p>【校外活動費】（日帰り）実費の半額（上限額：小学生2,500円、中学生3,500円）（宿泊）実費の半額（上限額：小学生4,000円、中学生3,500円）</p> <p>【修学旅行費】実費の半額（上限額：28,860円） 【通学費】実費 【交流及び共同学習交通費】実費 【給食費】学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		前年度と同様、適正に執行できた。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】について、実費の取扱いから定額の取扱いに変更するため検討する。								
令和3年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】 実費の半額（上限額：小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円）</p> <p>【校外活動費】（日帰り）実費の半額（上限額：小学生2,500円、中学生3,500円）（宿泊）実費の半額（上限額：小学生4,000円、中学生3,500円）</p> <p>【修学旅行費】実費の半額（上限額：28,860円） 【通学費】実費 【交流及び共同学習交通費】実費 【給食費】学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】 実費の半額（上限額：小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円）</p> <p>【校外活動費】（日帰り）実費の半額（上限額：小学生2,500円、中学生3,500円）（宿泊）実費の半額（上限額：小学生4,000円、中学生3,500円）</p> <p>【修学旅行費】実費の半額（上限額：28,860円） 【通学費】実費 【交流及び共同学習交通費】実費 【給食費】学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

2 (6) 7	高等学校等修学支援事業	担当課	学務課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
高等学校等における修学支援を行うため、修学支援金を支給します。	募集人数の拡充を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。</p> <p>応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>応募資格要件に関する見直しを行い、令和5年度の募集時から、学業成績に関する要件を撤廃する一方で保護者の市民税所得割額の基準額を引き下げた。支援対象者の募集数について徐々に減らしていくことは変わらないが、新たな寄付があったため、減少の速度は緩まることになる。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	③縮小して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。</p> <p>応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>寄付金の残額が減ってきているため、支援対象者の募集数を今後徐々に減らしていく方向とする。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	③縮小して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。</p> <p>応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>寄付金の残額が減ってきているため、支援対象者の募集数を今後徐々に減らしていく方向とする。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

2 (6) 8	生業扶助・教育扶助	担当課	生活福祉課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
対象となる児童・生徒がいる生活保護世帯に対し、高等学校等就学費や教育扶助費として学習支援費や教材代を援助します。	引き続き法令に基づいて事業を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	教育扶助 小学生 104人 中学生 65人 扶助額 15,255,060円 生業扶助 高校生 79人 扶助額 11,521,891円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度と同規模で実施する。						
令和3年度	教育扶助 小学生 111人 中学生 69人 扶助額 15,725,806円 生業扶助 高校生 68人 扶助額 8,798,107円	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	教育扶助 小学生 188人 中学生 65人 扶助額 15,819,047円 生業扶助 高校生 70人 扶助額 9,299,253円	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

2 (6) 9	児童扶養手当	担当課	こども家庭課
---------	--------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図るため、父母の離婚、父又は母の死亡などにより、父親又は母親と生計を同じくしていない児童について、手当を支給します。	ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和4年度	児童扶養手当の支給を行いました。 受給者数 1,586人（令和5年3月31日時点） 支給金額 810,063,080円（令和5年3月31日時点）	前年度の課題等に対する取組状況	
		昨年度と同様の取組を行いました。	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	対象者に対し、手当の支給を実施します。
令和3年度	児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,635人（令和4年3月31日時点） 支給金額 843,451,680円（令和4年3月31日時点）	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
令和2年度	児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,692人（令和3年3月31日時点） 支給金額 882,506,000円（令和3年3月31日時点）	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	

備考（その他）

2 (6) 10	特別児童扶養手当	担当課	こども家庭課
----------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
児童の福祉の増進を図るため、精神、知的又は身体障がい等（内部障がいを含む）で、政令に定める程度以上の障がいにある20歳未満の児童について、手当を支給します。	特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がい有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	特別児童扶養手当を支給するための事務を行いました。（認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省） 受給権者数 462人（令和5年4月30日現在）	前年度の課題等に対する取組状況
		特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がい有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行いました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。（認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省） 受給権者数 446人（令和4年4月30日現在）	前年度の課題等に対する取組状況
		特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がい有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。（認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省） 受給権者数 413人（令和3年4月30日現在）	前年度の課題等に対する取組状況
		特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がい有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

2 (6) 11	児童手当	担当課	こども家庭課
----------	------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
次代の社会を担う児童の健やかな成長のため、0歳から15歳到達後最初の3月31日までの児童について、手当を支給します。	児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	児童手当の支給を行いました。(R5年3月31日時点) 支給児童数 児童手当 延べ人数 291,886人 特例給付 延べ人数 22,398人 施設入所 延べ人数 1,179人 支給金額 3,389,840,000円	前年度の課題等に対する取組状況				
		児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給しました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A: 成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給します。						
令和3年度	児童手当の支給をおこなった(R4.3.31時点)。 支給児童数 児童手当 延べ人数 301,312人 特例給付 延べ人数 29,823人 施設入所 延べ人数 1,167人 支給金額 3,536,425,000円	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A: 成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	児童手当の支給をおこなった(R3.3.31時点)。 支給児童数 児童手当 延べ人数 308,354人 特例給付 延べ人数 31,474人 施設入所 延べ人数 1,236人 支給金額 3,627,390,000円	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A: 成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考 (その他)

2 (6) 12	養育医療費給付	担当課	こども家庭課
----------	---------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもが未熟児で生まれ、指定養育医療機関の医師が入院治療の必要を認めたときの医療費を助成します。	母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成を行いました。 申請件数 27件	前年度の課題等に対する取組状況
		母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。
令和3年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 24件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 51件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

3 (1) 1	幼児教育指導法の工夫・改善	担当課	教育指導課
---------	---------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
より豊かな幼児教育を実現するために幼稚園の運営や指導法等を研究します。	幼稚園の運営及び指導法の研究のために園長会及び主任・担任研究会を実施し、幼児教育の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>・運営及び指導法の研究会として、園長会を2回計画し2回実施、主任・担任研究会を7回計画し7回実施した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルスの感染予防対策をすることで、計画通り実施できた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。						
令和3年度	<p>・運営及び指導法の研究会として、園長会を2回計画し2回実施（1回は書面開催）、主任・担任研究会を7回計画し7回実施（2回は書面開催）した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症の影響で、計画通りに実施とはならなかったが、こども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、取り組んだ。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。						
令和2年度	<p>・運営及び指導法の研究会として、園長会を3回計画し2回実施（1回は書面開催、1回は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止）、主任・担任研究会を8回計画し6回実施（3回は書面開催、2回は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止）した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症の影響で、計画通りに実施とはならなかったが、こども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、取り組んだ。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
公立幼稚園が減少する中、今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。						

備考（その他）

3 (1) 2	幼・保・小・中連携の推進事業	担当課	教育指導課 教育研究所
---------	----------------	-----	----------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
幼・保・小・中の指導の一貫性を図るために連携学習研究会や連携教育講演会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼・保・小・中の連携学習研究会等を通して指導の在り方や指導上の問題点について研究協議し、相互に理解を深め、連携や交流を推進します。 ・ 幼・保・小・中の連携を推進するために夏季研究教室の講座として、「幼保小中連携教育講演会」を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>教育指導課 「就学前と小学校の連携」、「小学校と中学校の連携」をテーマに、幼・保・小・中連携を2校の推進校に依頼し、12月に研究会を行った。松が丘小学校は「児童が安心して小学校へ通えるための手立てと実践」をテーマとして発表し、各学校や園の取組を共有したり、「架け橋期のカリキュラム」について県立学校、私立幼稚園・保育園の先生方とともに研究協議を行った。</p> <p>相模小学校は「神田中学校区 小・中連携の取組」として、人権教育における共通テーマでの取組の発表を行い、「小中のつながりを意識した教科学習の連携について」研究協議を行うことができた。</p> <p>教育研究所 ・8月23日に幼保小中連携教育講演会として、國學院大學の田村学氏を招き、「幼児期の学びを踏まえた小学校教育への接続」というテーマで御講演をいただいた。前半は田村氏よりこれからの幼児教育と小学校教育の在り方について具体的な実践事例等を交えて紹介していただいた。後半は異校種の先生方でグループを組み、情報交換を行った。 (参加者 55人)</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>教育指導課：参集して開催したことで、それぞれのテーマについて深く研究協議を行うことができた。学校段階間での円滑な接続や教科等の横断的な学習についての研究をさらに深めることができるよう支援が必要である。</p> <p>教育研究所：昨年度はオンライン開催だったため、ICT機器の操作に戸惑う参加者もいたが、今年度は感染対策の上、対面開催とした。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>教育指導課：令和5年度はひばり幼（就学前と小の連携）、金旭中（小中の連携）にお願いし研究協議を行う。授業参観は行わないので、子どもたちの様子を動画等で公開してもらおうよう依頼していく。</p> <p>教育研究所：より多くの教職員に参加してもらえよう、園や学校へ積極的に周知をしていく。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
	検証結果	A：成果があがった						
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>教育指導課 ・真土小学校、土沢中学校において「就学前と小学校の連携」、「小学校と中学校の連携」をテーマに、幼・保・小・中連携を推進した。参集しての研究会については新型コロナウイルス感染症対策への対応のため中止し、書面開催にて各校の取組を共有することができた。</p> <p>教育研究所 新型コロナウイルス感染予防対策として、オンライン開催とした。 ・7月27日（火）に國學院大學の田村学教授を招き、「幼保小中連携教育講演会 ～幼児教育と小学校教育の円滑な接続について～」というテーマで御講演をいただいた。幼稚園教育や小学校教育のそれぞれの視点を踏まえたお話や連携することのねらいや意義、他の自治体での具体的な実践事例を紹介していただいた。（参加者 43人）</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>教育研究所：新型コロナウイルス感染予防対策として、開催方法を見直した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>教育指導課：学校を会場とした授業参観は実施せず、教職員が参集して幼・保・小・中連携の取組について研究協議ができる学習研究会を実施する予定である。</p> <p>教育研究所：オンラインでの開催となり、機器の操作や不具合等に戸惑う参加者もいたため、支援が必要である。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
	検証結果	A：成果があがった						
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>教育指導課 ・八幡小学校、南原小学校において「就学前と小学校の連携」、「小学校と中学校の連携」をテーマに、幼・保・小・中連携を推進した。参集しての研究会については新型コロナウイルス感染症対策への対応のため中止した。</p> <p>教育研究所 新型コロナウイルス感染症の影響で、「幼保小中連携教育講演会」を中止とした。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>教育指導課：学校段階間での円滑な接続や教科等の横断的な学習についての研究を深めることができるよう支援が必要である。学校間の職員の参集や子どもたちの交流をどのように行っていくか検討が必要である。</p> <p>教育研究所：新型コロナウイルス感染状況を鑑み、開催中止を決定したため、学校への積極的な呼びかけはできなかった。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>教育研究所 より多くの教職員に参加してもらえよう、今後も学校や幼稚園等への呼びかけを継続するとともに、開催方法の見直し等も含め、検討していく。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
	検証結果	B：おおむね成果があがった						
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

3 (1) 3	幼児教育の支援	担当課	教育指導課
---------	---------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保護者の育児不安の解消と幼児の心身の健全な発達のために、幼稚園が幼児教育センター的機能として保護者の交流や教育相談等を実施します。	各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を実施します。また、各幼稚園が、地域の公民館と連携し、家庭教育学級を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を行った。実施園：2園 ・各幼稚園が地域の公民館と連携する中で、家庭教育学級を実施した。実施園：2園 	前年度の課題等に対する取組状況				
		各園の子育て支援について、公立幼稚園・こども園及び保育園の教職員が参加し、研究協議を行った。コロナ禍でも、開催時期や開催方法を工夫し、家庭教育学級を実施できた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
各園の実状に合わせた子育て支援の視点を持って、幼稚園教育について研究を進めるよう支援していく。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を行った。実施園：2園 ・各幼稚園が地域の公民館と連携する中で、家庭教育学級を実施した。実施園：2園 	前年度の課題等に対する取組状況				
		各園の子育て支援について、公立幼稚園・こども園及び保育園の教職員が参加し、研究協議を行った。コロナ禍でも、開催時期や開催方法を工夫し、家庭教育学級を実施できた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
各園の実状に合わせた子育て支援の視点を持って、幼稚園教育について研究を進めるよう支援していく。						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を行った。実施園：2園 	前年度の課題等に対する取組状況				
		各園の子育て支援について、公立幼稚園・こども園及び保育園の教職員が参加し、研究協議を行った。コロナ禍でも、開催時期や開催方法を工夫し、家庭教育学級を実施できた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
各園の実状に合わせた子育て支援の視点を持って、幼稚園教育について研究を進めるよう支援していく。						

備考（その他）

3 (1) 4	生きる力を育む学校づくり推進事業	担当課	教育指導課 学校給食課
---------	------------------	-----	----------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>幼児・児童・生徒の生きる力を育む学校づくりを推進するため、各学校(園)において、ふれあい教育、総合的な学習の時間、芸術鑑賞教室、食に関する指導等を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの「生きる力」を育むために、学校ごとに創意工夫をこらした特色ある教育活動を推進します。 小・中学校において作成された食に関する指導の年間計画に基づいて、給食時間、教科、委員会活動等で食に関する指導を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>教育指導課</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあい教育を推進した。 実施園：幼稚園2園・認定こども園1園 「総合的な学習の時間」を推進した。実施校：小中学校45校 小学校の校外学習を推進した。 中学校の芸術鑑賞を推進した。 中学校の部活動の各種大会への参加を支援した。 <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた様々な学習活動を変更して工夫しながら行う学校が多くあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育担当者会議を1回開催。 <p>学校給食課</p> <ul style="list-style-type: none"> 食に関する指導回数については、小学校1,835回、中学校241回。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>教育指導課：感染症対策を取ることで、ふれあい教育を推進することができた。</p> <p>学校給食課：小学校28校に対して、栄養教諭5人、栄養士8人で食の指導に当たっており、日々の給食管理業務との兼ね合いから、学校からの派遣依頼に100%応えることが難しい。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>教育指導課：各学校の相談に応じながら、現状の取組を継続したい。</p> <p>学校給食課：現状の取組を継続したい。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>教育指導課</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあい教育を推進した。 実施園：幼稚園2園・認定こども園1園 「総合的な学習の時間」を推進した。実施校：小中学校45校 小学校の校外学習を推進した。 中学校の芸術鑑賞を推進した。 中学校の部活動の各種大会への参加を支援した。 <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた様々な学習活動を変更して工夫しながら行う学校が多くあった。</p> <p>学校給食課</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育担当者会議を書面会議で1回開催。 食に関する指導回数については、小学校1,975回、中学校254回。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>学校給食課：新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、学校給食の提供回数が8日間減少したが、ほぼ影響を受けることなく、食に関する指導を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>学校給食課：現状の取組を継続したい。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>教育指導課</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあい教育を推進した。 実施園：幼稚園2園・認定こども園1園 「総合的な学習の時間」を推進した。実施校：小中学校45校 小学校の校外学習を推進した。 中学校の芸術鑑賞を推進した。 中学校の部活動の各種大会への参加を支援した。 <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた様々な学習活動ができない学校もあった。</p> <p>学校給食課</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育担当者会議を1回開催 食に関する指導回数については、小学校907回、中学校258回。新型コロナウイルス感染症拡大防止により、学校が長期休業となったため、実施回数を前年度よりも大幅に減らして実施した。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考 (その他)	

3 (1) 5	外国人英語指導者の学校訪問事業	担当課	教育指導課
---------	-----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ心を養うために、外国人英語指導者が幼稚園、認定こども園、小・中学校を訪問します。	子どもたちの英語に対する興味・関心をさらに高め、英語や外国の生活・文化に親しむ心を養うために、外国人英語指導者の増員を目指します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	・外国人英語指導者13人が小学校・中学校・幼稚園・認定こども園へ訪問した。 実施校（園）：小中学校43校・幼稚園2園・認定こども園1園	前年度の課題等に対する取組状況
		コロナ禍で中止としてきたAETを1校に複数名配置するイングリッシュデイを実施できた。又、感染症予防対策をしながらイングリッシュイベントも実施できた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 小学校外国語教育担当者会、外国人英語指導者の学校訪問事業、英語教育推進事業と分かれていた事業を統合し、英語教育推進事業とする。AETと児童生徒が触れ合う機会として、イングリッシュデイやイングリッシュイベントを設け、英語教育のさらなる充実を図る。
令和3年度	・外国人英語指導者13人が小学校・中学校・幼稚園・認定こども園へ訪問した。 実施校（園）：小中学校43校・幼稚園2園・認定こども園1園	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
令和2年度	・外国人英語指導者13人が小学校・中学校・幼稚園・認定こども園へ訪問した。 実施校（園）：小中学校43校・幼稚園2園・認定こども園1園	前年度の課題等に対する取組状況
		コロナ禍でも工夫しながら、外国人英語指導者と教員とのTTによるより効果的な授業の展開。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）	

3 (1) 6	人権教育の推進	担当課	教育指導課
---------	---------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
人権教育を推進するため教職員の研修を充実します。	人権を尊重した学校教育を確立するために人権教育担当者を開催し、学校教育における人権教育の具体的な在り方を研究します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育担当者を3回計画し、2回開催した。第3回は、2月15日に開催した。人権教育担当者では、講師を招いて講演会を開催したり、テーマごとに分科会に分かれ、授業や校内研修に向けて、研究協議を行ったりした。 ・各小中学校で行った授業や校内研修をまとめた人権教育実践集を作成し、5月に小中学校45校へ配付した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、参集型で分科会別研究協議を行うことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育担当者を3回計画し、2回開催した（2回はオンライン開催、1回は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止）。人権教育担当者では、講師を招いて講演会を開催したり、テーマごとに分科会に分かれ、授業や校内研修に向けて、研究協議を行ったりした。 ・各小中学校で行った授業や校内研修をまとめた人権教育実践集を作成し、5月に小中学校45校へ配付した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育担当者を3回計画し、2回開催した（1回は書面開催、1回は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止）。人権教育担当者では、講師を招いて講演会を開催したり、テーマごとに分科会に分かれ、授業や校内研修に向けて、研究協議を行ったりした。 ・各小中学校で行った授業や校内研修をまとめた人権教育実践集を作成し、5月に小中学校45校へ配付した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の1（1）1「人権擁護意識の普及・啓蒙事業」を統合した。

3 (1) 7	日本語指導協力者派遣事業	担当課	教育指導課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
日本語の指導が必要な児童・生徒に対して、学校における日本語指導、母国語指導、生活適応指導等を支援するため要請に応じて、日本語指導協力者を小・中学校に派遣します。	学校の要請に応じて適宜日本語指導協力者を派遣します。また、国際教室等連絡協議会を開催し、日本語指導の内容や方法について情報交換等を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国際教室等連絡協議会の第2回をオンラインと対面のハイブリッド型開催とした。第1回、第3回は通常の開催とした。 ・小中学校45校中36校及び幼稚園2園中1園に、日本語指導協力者21人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		関係機関と連携し、新規の日本語指導協力者に協力してもらうことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
日本語指導が必要な児童生徒が多言語化しているため、関係機関と連携し日本語指導協力者の募集に努める。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国際教室等連絡協議会の第2回を中止とした。第1回は通常開催、第3回はオンラインでの開催とした。 ・小中学校45校中34校に、日本語指導協力者21人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
日本語指導が必要な児童・生徒のニーズに対応し、きめ細やかな指導を行うために、関係機関と連携し日本語指導協力者の募集に努める。						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国際教室等連絡協議会の開催は年1回とした。 ・小中学校45校中32校に、日本語指導協力者21人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

3 (1) 8	サポートチームシステム推進事業	担当課	教育指導課
---------	-----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
小・中学生の問題行動への対策を話し合い、地域や関係機関と連携し、具体的な指導、支援を行います。	市サポート連絡会を開催するとともに、中学校区サポート委員会を各中学校区で実施します。また、個別サポートチームを必要に応じて編成し、児童・生徒への効果的な指導、支援を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和4年度	令和4年度より、サポートチームシステム推進事業は休止。	前年度の課題等に対する取組状況	
		令和4年度より、サポートチームシステム推進事業は休止。	
		検証結果	評価なし
		今後の事業展開	⑤その他
		翌年度に向けた課題と取組	令和5年度についても、引き続き休止。

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市サポート連絡会を3回開催した。 ・中学校区サポート委員会を各中学校区で実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、7中学校区では書面での開催となった。 ・個別サポートチームの編成を必要に応じて検討した。 	前年度の課題等に対する取組状況	
		市サポート連絡会については、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、3回全て対面にて実施することができた。中学校区サポート委員会については、全てを対面で開催することはできなかったが、書面開催を含め、全ての中学校区で開催することができた。	
		検証結果	B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開	⑤その他
		翌年度に向けた課題と取組	令和4年度より、サポートチームシステム推進事業は休止とする。

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市サポート連絡会を3回開催した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第1回と第3回は書面開催とした。 ・中学校区サポート委員会を各中学校区で実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、7中学校区で定例会の開催ができなかった。 ・個別サポートチームの編成を必要に応じて検討した。 	前年度の課題等に対する取組状況	
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、サポート委員の方々が集まり行う定例会は、なかなか実施できない現状がある。令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、定例会については、必要に応じて開催していく。

備考（その他）

3 (1) 9	中学校部活動指導者派遣事業	担当課	教育指導課
---------	---------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
中学校における部活動育成及び活性化のため、各学校の要請に応じ、専門的資質を有する部活動指導者を顧問の指導協力者として派遣します。	中学校の要請に応じ、専門的資質を有する部活動指導者を顧問の指導協力者として派遣します。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の要請に応じ、部活動の地域指導者延べ97人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況		
		生徒の部活動に取組む意識の向上、より高い技術指導の提供、教員の負担軽減で成果があった。		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組				
令和5年度についても、現状の規模で派遣を継続していく。				
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の要請に応じ、部活動の地域指導者延べ107人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組				
令和4年度についても、現状の規模で派遣を継続していく。				
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の要請に応じ、部活動の地域指導者延べ97人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組				
令和3年度についても、現状の規模で派遣を継続していく。				

備考（その他）

3 (1) 10	学校支援ボランティアの活用	担当課	教育指導課
----------	---------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
学校の教育活動の充実と開かれた学校づくりのために学校支援ボランティア等地域の方々の方々の教育力を活用します。	各学校の実情に合わせ、ボランティアの活用を図るための必要な支援を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	各学校で、それぞれの実情に応じて、新型コロナウイルス感染症対策や授業等に関わる支援、読み聞かせや図書室整理に関わる支援、校舎内外の環境整備に関わる支援等について、学校支援ボランティア等地域の方々の方々の教育力を活用した。	前年度の課題等に対する取組状況						
		新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、可能な範囲で学習活動や環境整備に学校支援ボランティアを活用することができた。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認し、これまでの活動に捉われず、学校支援ボランティアを活用していくことが必要になると考える。								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で、それぞれの実情に応じて、新型コロナウイルス感染症対策や授業等に関わる支援、読み聞かせや図書室整理に関わる支援、校舎内外の環境整備に関わる支援等について、学校支援ボランティア等地域の方々の方々の教育力を活用した。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で、それぞれの実情に応じて、新型コロナウイルス感染症対策や授業等に関わる支援、読み聞かせや図書室整理に関わる支援、校舎内外の環境整備に関わる支援等について、学校支援ボランティア等地域の方々の方々の教育力を活用した。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

3 (1) 11	教材・教具等の充実	担当課	教育総務課
----------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
学習環境の向上のため、教材・教具、学校図書等を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> 理科教材の充実のために各小・中学校に予算を配当するほか、理科教育設備整備費補助金を活用し、理科教育設備基準に対する整備率を向上させます。 学校図書館図書の充実のために各小・中学校に予算を配当し、学校図書館図書標準に基づき蔵書数を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書整備率の充足に向け、小学校1校あたり平均30万4千円、中学校1校あたり平均38万7千円を学校図書館図書購入費用として分校を除く小中学校全校に配当した。 理科教育等教材整備基準の整備率を充足するため、小学校11校（平均11万8千円）、中学校13校（平均22万3千円）が理科教材を購入した。 文部科学省の理科教育設備整備事業を活用し、小学校約42万円（対象校2校）、中学校約64万円分（対象校2校）の教材を購入した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> 理科教材の充実については、学校運営事業への統合により、効率的な予算執行が可能となっている。 古い図書や理科教材の廃棄による蔵書率・整備率の低下については、引き続き検討が必要である。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
<ul style="list-style-type: none"> 図書の保管スペースの確保。 古い図書や理科教材の廃棄による蔵書率・整備率の低下。 						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書整備率の充足に向け、小学校1校あたり平均30万4千円、中学校1校あたり平均38万5千円を学校図書館図書購入費用として分校を除く小中学校全校に配当した。 理科教育等教材整備基準の整備率を充足するため、小学校16校（平均13万5千円）、中学校12校（平均26万2千円）が理科教材を購入した。 文部科学省の理科教育設備整備事業を活用し、小学校約42万円（対象校2校）、中学校約64万円分（対象校2校）の教材を購入した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続		
検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<ul style="list-style-type: none"> 図書の保管スペースの確保。 古い図書や理科教材の廃棄による蔵書率・整備率の低下。 						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書整備率の充足に向け、小学校1校あたり平均30万8千円、中学校1校あたり平均38万3千円を学校図書館図書購入費用として分校を除く小中学校全校に配当した。 理科教育等教材整備基準の整備率を充足するため、小学校18校（平均18万1千円）、中学校11校（平均26万3千円）が理科教材を購入した。 文部科学省の理科教育設備整備事業を活用し、小学校約42万円（対象校2校）、中学校約64万円分（対象校2校）の教材を購入した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> 理科教材の充実については、学校運営事業への統合により、効率的な予算執行が可能となっている。 古い図書や理科教材の廃棄による蔵書率・整備率の低下については、引き続き検討が必要である。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
<ul style="list-style-type: none"> 図書の保管スペースの確保。 古い図書や理科教材の廃棄による蔵書率・整備率の低下。 						

備考（その他）

3 (1) 12	研修・研究推進事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	-----------	-----	-------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
特別な配慮を要する児童・生徒を支援するため、必要に応じて小・中学校に相談支援チームを派遣して校内支援体制の整備を推進するとともに、各種研究会・研修会を実施します	インクルーシブ教育の推進を図るとともに、校内支援体制の充実を図るために、相談支援チームの派遣や、内容を精査した研修会・研究会等の開催に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン開催等も取り入れ実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級訪問研究会・・・ 2回実施、参加者延べ128人 ・通級指導教室訪問研究会・・・ 集合開催2回、 オンライン開催2回 参加者延70人 ・特別支援教育研修会・・・ 集合開催2回 オンライン開催2回 参加者数延べ157人 ・教育相談・支援教育研修会・・・ 集合開催3回 オンライン開催4回 参加者延べ349人 ・相談支援チームの派遣・・・ 38回実施、 対象児童生徒数延べ39人 学級全体1回 ・教育相談コーディネーター担当者会・・・ 集合開催3回 参加者120人 ・学校訪問事例研究会・・・ 5回実施、参加者延べ107人 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底するとともに、オンライン開催など実施方法を工夫し、児童・生徒の支援に必要な情報を提供することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>研修会の内容を精査するとともに、今後も新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、学校に必要な支援や情報を提供できるように努める。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン開催等も取り入れ実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級訪問研究会・・・ 2回実施、参加者延べ108人 ・通級指導教室訪問研究会・・・ オンライン開催3回、 参加者延56人 1回中止 ・特別支援教育研修会・・・ 集合開催2回 参加者数延べ84人 書面開催2回 1回中止 ・教育相談・支援教育研修会・・・ オンライン開催6回 参加者延べ310人 ・相談支援チームの派遣・・・ 29回実施、 対象児童生徒数延べ29人 ・コーディネーター担当者会・・・ 集合開催3回 1回中止 オンライン開催1回 参加者123人 ・学校訪問事例研究会・・・ 5回実施、参加者延べ85人 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン実施方法を工夫し、児童・生徒の支援に必要な情報を提供することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>研修会の内容を精査するとともに、オンライン開催などもさらに取り入れ、学校に必要な支援や情報を提供できるように努める。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止または開催数を減らして実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級訪問研究会・・・ 1回実施、参加者43人 ・通級指導教室訪問研究会・・・ 4回実施、参加者延べ80人 ・特別支援教育研修会・・・ 4回実施（書面開催） ・教育相談・支援教育研修会・・・ 6回すべて中止 ・相談支援チームの派遣・・・ 21回実施、対象児童生徒数延べ 29人 ・コーディネーター担当者会・・・ 書面開催1回 集合開催2回 参加者85人 ・学校訪問事例研究会・・・ 5回実施、参加者延べ104人 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止や規模を縮小したため、例年のような研修会の実施ができなかったが、実施方法を工夫し、児童・生徒の支援に必要な情報を提供することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>研修会の内容を精査するとともに、開催方法についてさらに検討し、学校に必要な支援や情報を提供できるように努める。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画5（4）③6「支援教育等の推進・充実事業」から事業名称を変更した。

3 (1) 13	放課後自主学習教室事業	担当課	教育指導課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、放課後に小学校4～6年生を対象に学習支援をします。	実施校の拡充を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校6校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況				
		学習支援員の確保のため、市内退職教員の情報収集を図るとともに、早期に直接依頼をすることで、定員を確保することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		今年度に引き続き、実施校の増加にあたり、学習支援員を確保するため学習支援ボランティアの対象を拡大し、募集に努める。				
令和3年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校4校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況				
		学習支援員の確保のため、市内退職教員の情報収集を図るとともに、早期に直接依頼をすることで、定員を確保することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	②拡大して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		実施校の増加にあたり、学習支援員を確保するため学習支援ボランティアの募集に努める。				
令和2年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校4校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		実施校の増加を目指すには学習支援員の確保が必要であるため、それと併せて学習支援ボランティアの募集に努める。				

備考（その他）

3 (2) 1	教育相談事業	担当課	子ども教育相談センター
---------	--------	-----	-------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
児童・生徒及びその保護者に対し、各専門機関と連携しながら教育相談を行います。	児童・生徒及びその保護者の相談に対して、各専門機関と連携しながら適切に対応していくとともに、専門的な知識と技能を有する相談員を配置していくよう努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、実施した。 来所相談342件 電話相談327件 特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対する学校巡回相談を実施 依頼延べ人数394人 訪問回数延べ61回 不登校児童・生徒に対する訪問相談を実施 3ケース 訪問回数延べ130回 教育相談所内研修会9回開催 参加人数延べ122人 機関誌「そうだん」の発行	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童・生徒及びその保護者に対する教育相談を継続することができた。また、所内研修会も開催方法を工夫しながら開催し、相談員の専門的な知識や技能を高めることができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、実施した。 来所相談345件 電話相談326件 特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対する学校巡回相談を実施 依頼延べ人数362人 訪問回数延べ67回 不登校児童・生徒に対する訪問相談を実施 1ケース 訪問回数延べ97回 教育相談所内研修会9回開催 参加人数延べ115人 機関誌「そうだん」の発行	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童・生徒及びその保護者に対する教育相談を継続することができた。また、所内研修会も開催方法を工夫しながら開催し、相談員の専門的な知識や技能を高めることができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の臨時休業中は来所相談を中止し、電話相談のみとした。 来所相談298件 電話相談288件 特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対する学校巡回相談を実施 依頼延べ人数249人 訪問回数延べ37回 不登校児童・生徒に対する訪問相談を実施 2ケース 訪問回数延べ95回 教育相談所内研修会9回開催 参加人数延べ145人 機関誌「そうだん」の発行	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染症の影響による学校の臨時休業のため、相談件数等の減少が見られたが、再開後は実施方法を工夫しながら教育相談を行うことができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童・生徒及びその保護者に対する教育相談を継続する。また、教育相談体制の充実を図るとともに、関係課と連携し切れ目のない支援体制を構築していく。

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画3(2)1「教育相談体制の充実事業」から事業名称を変更した。

3 (2) 2	スクールカウンセラー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
---------	----------------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒の様々な課題を解決するために、本人や保護者のカウンセリングと教職員を支援するスクールカウンセラーを小・中学校に派遣します。	スクールカウンセラーを増員し、全小・中学校に派遣します。その後は勤務日の増加を目指します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室巡回1936回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換158回、教職員向け研修会5回、保護者・地域向け講演会1回、児童・生徒担当者会等出席124回、校内支援会議への参加205回、家庭訪問28回、その他5回 計2466回 ・来室相談延べ人数：小学生1893人、中学生545人、小学生保護者1365人、中学生保護者178人、小学校教員2905人、中学校教員813人 計7699人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2307人、いじめ65人、暴力41人、虐待88人、友人・異性関係806人、貧困3人、非行18人、家庭環境725人、教職員との関係131人、心身の健康・保健840人、学業進路361人、発達1496人、その他818人 計7699人 ・電話相談延べ人数：小学生48人、中学生26人、小学生保護者226人、中学生保護者138人、小学校教員36人、中学校教員11人 計485人 ・電話相談内容延べ人数：不登校246人、いじめ13人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係23人、貧困0人、非行0人、家庭環境23人、教職員との関係11人、心身の健康・保健50人、学業進路21人、発達72人、その他26人 計485人 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員への支援を行うことができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		<p>今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>
令和3年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室巡回1889回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換148回、教職員向け研修会6回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席94回、校内支援会議への参加302回、家庭訪問44回、その他9回 計2496回 ・来室相談延べ人数：小学生2017人、中学生901人、小学生保護者1455人、中学生保護者313人、小学校教員3103人、中学校教員1266人 計9055人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2437人、いじめ96人、暴力227人、虐待254人、友人・異性関係797人、貧困0人、非行7人、家庭環境879人、教職員との関係129人、心身の健康・保健1134人、学業進路559人、発達1598人、その他938人 計9055人 ・電話相談延べ人数：小学生25人、中学生24人、小学生保護者340人、中学生保護者153人、小学校教員2人、中学校教員44人 計588人 ・電話相談内容延べ人数：不登校185人、いじめ2人、暴力7人、虐待2人、友人・異性関係36人、貧困0人、非行2人、家庭環境39人、教職員との関係21人、心身の健康・保健73人、学業進路33人、発達162人、その他26人 計588人 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員の支援を行うことができた。また、コロナ禍における心のケアに関する情報提供も行うことができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		<p>今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、新型コロナウイルスの状況に注視しつつ、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>
令和2年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室巡回2241回、教室等でのエクササイズ1回、外部関係者・機関との情報交換130回、教職員向け研修会7回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席75回、校内支援会議への参加206回、家庭訪問18回、その他22回 計2700回 ・来室相談延べ人数：小学生1172人、中学生659人、小学生保護者1291人、中学生保護者298人、小学校教員2616人、中学校教員1129人 計7165人 ・来室相談内容延べ人数：不登校1863人、いじめ21人、暴力62人、虐待257人、友人・異性関係570人、貧困13人、非行35人、家庭環境768人、教職員との関係144人、心身の健康・保健823人、学業進路470人、発達1431人、その他708人 計7165人 ・電話相談延べ人数：小学生17人、中学生70人、小学生保護者344人、中学生保護者145人、小学校教員11人、中学校教員10人 計597人 ・電話相談内容延べ人数：不登校183人、いじめ2人、暴力0人、虐待11人、友人・異性関係27人、貧困0人、非行7人、家庭環境74人、教職員との関係20人、心身の健康・保健60人、学業進路46人、発達141人、その他26人 計597人 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により学校が臨時休業となったため、相談件数は減少した。しかし、休業中はコロナ禍における心のケアに関する情報提供を行ったり、学校再開後は児童・生徒の様子を観察し、カウンセリングや教職員への情報提供などを行った。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		<p>今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、新型コロナウイルスの状況に注視しつつ、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>

備考 (その他)

3 (2) 3	スクールソーシャルワーカー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
---------	-------------------	-----	-------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
社会福祉に関する専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを小・中学校に派遣します。	スクールソーシャルワーカーを各小・中学校の要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 128件、延べ訪問回数 132回、ケース会議への参加 23回、関係機関との連携（含電話）1001回 中学校：相談件数 66件、延べ訪問回数 65回、ケース会議への参加 23回、関係機関との連携（含電話）629回	前年度の課題等に対する取組状況
		各種研修会等においてスクールソーシャルワーカーの業務について継続的に周知した結果、学校からの要請が増加してきた。また、受理したケースについては所内で情報共有や検討を行い、関係機関と連携しながら適切に対応することができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、不登校及び問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。
令和3年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 88件、延べ訪問回数 74回、ケース会議への参加 37回、関係機関との連携（含電話）666回 中学校：相談件数 86件、延べ訪問回数 57回、ケース会議への参加 18回、関係機関との連携（含電話）706回	前年度の課題等に対する取組状況
		各種研修会等におけるスクールソーシャルワーカーの業務について周知した結果、学校からの要請が増加してきた。また、受理したケースについては所内で情報共有や検討を行い、適切に対応することができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		新型コロナウイルス感染症の影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。
令和2年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 71件、延べ訪問回数 73回、ケース会議への参加 17回、関係機関との連携（含電話）609回 中学校：相談件数 66件、延べ訪問回数 54回、ケース会議への参加 22回、関係機関との連携（含電話）410回	前年度の課題等に対する取組状況
		学校の臨時休業により、学校が児童・生徒の環境について把握することが難しかったため、スクールソーシャルワーカーへの要請も少なかった。その中でも学校からの要請に対して適切に対応することができた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。

備考（その他）

4 (1) 1	交通安全啓発推進事業	担当課	交通政策課
---------	------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
幼稚園、保育所、認定こども園、学校等において交通安全教室を開催し、交通事故防止と交通安全の啓発を行います。	交通ルールやマナーの周知を継続的に実施し、交通事故防止と交通安全意識の向上を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	交通安全教室実施回数218回 交通安全動画公開本数26回	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象にした交通安全教室と、関係団体と連携した各種交通安全キャンペーンを実施した。また、新たに自宅で気軽に交通安全について学べる機会を提供するため、YouTubeを活用した交通安全動画を配信するなどして、交通安全意識の向上を図ることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>平塚市内で発生割合の高い、高齢者や自転車利用者への意識啓発が課題であり、地域や関係団体と連携した各種交通安全キャンペーンや、幼児や高齢者まで幅広い年齢層を対象にした交通安全教室に加え、啓発活動のツールとしてYouTube等を活用し、交通ルール・マナーの順守や交通安全意識の向上を図る。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
令和3年度	交通安全教室実施回数168回 交通安全動画公開本数19本	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>密を避けるため、ソーシャルディスタンスの確保や空気の入替などに配慮して交通安全教室を実施した。また、YouTubeで公開している交通安全動画を周知するとともに、多くの学校等で交通安全教室を実施できるよう市内にあるすべての保育園(所)、幼稚園、認定こども園及び小・中・高等学校・中等教育学校に通知を送付した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>より多くの方に対して交通事故防止と交通安全の啓発できるよう、引き続き交通安全教室及びYouTubeで公開している交通安全動画の周知に努める。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
令和2年度	交通安全教室実施回数149回 (新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも実施回数が減少した)	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>多くの学校等で交通安全教室を実施できるよう、市内にあるすべての保育園(所)、幼稚園、認定こども園及び小学校に対し、交通安全教室の活用に関する案内及びYouTubeで公開している交通安全動画のポスターを送付した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>翌年度に向けて、密を避けるなどの新しい生活様式に対応した交通安全教室の実施を検討し、例年と同じ規模で実施していく。また、保育園(所)、幼稚園、認定こども園、小学校等に周知をしていくことで少しでも多くの学校等で交通安全教室を実施できるように努める。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続					

備考（その他）

4 (1) 2	歩道設置事業	担当課	道路整備課
---------	--------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
交通量の多い道路や通学路において、歩行者と車両を分離し、歩行者等の通行空間を整備することにより、道路利用者の安全確保に取り組めます。	幹線道路や通学路などに歩行者等の安全を確保するため、計画的に歩道整備を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	整備延長 231m 吉沢土屋線 211m 土屋1号線 20m 用地取得 349㎡ 八幡愛甲線 168㎡ 浅間町南原線 110㎡ 田村50号線 71㎡	前年度の課題等に対する取組状況
		既存道路用地の利用等、事業費の低減が可能な方法を検討するなど、計画的に事業を進めた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		幹線道路等の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。
令和3年度	整備延長 446m 真土金目線 175m 北金目真田線 164m 北金目31号線 48m 入野52号線（水神橋） 59m 用地取得 377㎡ 八幡愛甲線 206㎡ 真土金目線 171㎡	前年度の課題等に対する取組状況
		既存道路用地の利用等、事業費の低減が可能な方法を検討するなど、計画的に事業を進めた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		幹線道路等の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。
令和2年度	整備延長 300m 真土金目線 124m 八幡愛甲線 15m 城所線 161m 用地取得 140㎡ 真土金目線 71㎡ 八幡愛甲線 5㎡ 北金目真田線 64㎡	前年度の課題等に対する取組状況
		既存道路用地の利用等、事業費の低減が可能な方法を検討するなど、計画的に事業を進めた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		幹線道路の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。

備考（その他）

4 (1) 3	通学路合同点検事業	担当課	教育指導課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
通学路の安全を確保するため、各学校からあげられた通学路の危険箇所を学校、保護者、自治会等地域住民、警察、道路管理者等で通学路の合同点検を実施し、安全対策案の検討・対策の実施を進めます。	合同点検を実施し、安全対策案の検討・対策の実施を進めます。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	通学路合同点検を3日開催した。 通学路交通安全推進会議を2回開催した。 合同点検実施学校数：5校 合同点検実施箇所数：13箇所	前年度の課題等に対する取組状況				
		学童所管部署を通学路安全プログラムに参画させた。PDCAサイクルとして繰り返し実施し、事業の改善・充実に努める必要がある。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
継続的に合同点検を実施し、効果的な対策を講じることができるよう取り組んでいく。						
令和3年度	通学路合同点検を3日開催した。 通学路交通安全推進会議を2回開催した。 合同点検実施学校数：10校 合同点検実施箇所数：15箇所	前年度の課題等に対する取組状況				
		PDCAサイクルとして繰り返し実施し、事業の改善・充実に努める必要がある。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
新型コロナウイルス感染症の蔓延に配慮するとともに、千葉県八街市の事故を踏まえ、新たな観点を見直しながら継続的に合同点検を実施していく。						
令和2年度	通学路合同点検を3日開催した。 通学路交通安全推進会議を1回開催した。 合同点検実施学校数：8校 合同点検実施箇所数：16箇所	前年度の課題等に対する取組状況				
		PDCAサイクルとして繰り返し実施し、事業の改善・充実に努める必要がある。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
新型コロナウイルス感染症の蔓延に配慮しつつも、継続的に合同点検を実施していく。						

備考（その他）

4 (2) 1	地域安全運動の推進	担当課	危機管理課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、市民の防犯意識の高揚を図るため、関係機関及び関係団体と連携し地域安全運動や地域安全運動推進大会、研修会等を実施します。 地域の防犯活動を支援します。 	警察や防犯協会と連携し、事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 防犯の日キャンペーン4回実施。 地域安全運動推進大会の実施 防犯功労者表彰式を実施 安全・安心まちづくり旬間に地域安全運動等を実施 年末年始特別警戒期間に平塚を明るくするホテル青パト隊による市内一斉パトロールを実施 防犯啓発のぼり旗や、自転車ワイヤーロック、かごネット等の防犯啓発グッズを配布 地域見守り花植え活動の実施（チューリップの球根を24支部に配布） 防犯講話の実施（警察と連携し、1回実施） 防犯教室1回実施。 大型商業施設等の駐輪場への警報機付き自転車の設置継続 防犯協会への支援として不織布マスク等の感染対策品を配付した。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>WITHコロナの取組として、3密を避けた防犯キャンペーンを新たに実施するほか、地域安全運動推進大会、防犯教室などコロナ前の取組も再開することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>子どもを狙う犯罪に対する取組の充実を検討する。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業を中止または延期した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域安全運動推進大会の実施（翌年度へ延期） 防犯功労者表彰式を実施 安全・安心まちづくり旬間、毎月10日（防犯の日）等に地域安全運動等を実施（中止） 年末年始特別警戒期間に平塚を明るくするホテル青パト隊による市内一斉パトロールを実施 防犯啓発のぼり旗や、自転車ワイヤーロック、かごネット等の防犯啓発グッズを配布 地域見守り花植え活動の実施（チューリップの球根を24支部に配布） 防犯講話の実施（警察と連携し、1回実施） 防犯教室は中止 大型商業施設等の駐輪場への警報機付き自転車の設置継続 防犯協会への支援として不織布マスク等の感染対策品を配付した。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により街頭キャンペーンができない代わりに車両でのパトロールを行う青パト隊の活動を強化した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、地域安全運動を継続していく。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業を中止または延期した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域安全運動推進大会の実施（翌年度へ延期） 安全・安心まちづくり旬間、年末年始特別警戒期間、毎月10日（防犯の日）等に地域安全運動等を実施（中止） 防犯啓発のぼり旗や、自転車ワイヤーロックやかごネット等の防犯啓発グッズを配布 地域見守り花植え活動の実施（チューリップの球根を23支部に配布） 防犯講話の実施（警察と連携し、2回実施） 防犯教室は中止 大型商業施設等の駐輪場への警報機付き自転車の設置 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>駅周辺の駐輪場や大型商業施設に警報機付き自転車を設置し、自転車の盗難防止対策を進めた。設置場所は、「駅西口第3駐輪場」と「ららぽーと湘南平塚敷地内駐輪場」の2カ所。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、地域安全運動を継続していく。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

4 (2) 2	地域安全施設整備事業	担当課	危機管理課
---------	------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、防犯街路灯の維持管理を行うとともに、基準に基づき設置します。	自治会等の要望を確認し、事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯街路灯の新設57灯 ・防犯街路灯維持管理補助金（13団体計113灯に補助） ・平成28年度に市に移管した防犯街路灯の維持管理 	前年度の課題等に対する取組状況		
		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が設置した防犯街路灯用自立柱について、要望に応じて移設で対応している。 ・耐用年数を迎える防犯街路灯の更新について、運用を見直し、他の防犯街路灯と更新時期を統一することとした。 		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組				
		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化してきている自立柱の修繕及び灯具移設対応 ・防犯街路灯設置基準の変更に伴う新設への対応 		
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯街路灯の新設45灯 ・防犯街路灯維持管理補助金（13団体計113灯に補助） ・平成28年度に市に移管した防犯街路灯の維持管理 	前年度の課題等に対する取組状況		
		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が設置した防犯街路灯用自立柱について、要望に応じて移設で対応している。 ・耐用年数を迎える防犯街路灯の更新について、令和4年度事業として予算計上した。 		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組				
		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に更新する防犯街路灯に関し、灯具の調達方法を検討する。 		
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯街路灯の新設36灯 ・防犯街路灯維持管理補助金（13団体計117灯に補助） ・平成28年度に市に移管した防犯街路灯の維持管理 	前年度の課題等に対する取組状況		
		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が設置した防犯街路灯用自立柱の維持管理について、老朽化等を考慮した維持管理の方針を定めた。 ・LED化後に耐用年数を迎える防犯街路灯について、更新計画を定めた。 		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組				
		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が設置した防犯街路灯用自立柱の維持管理に関する方針に沿った事業の実施 ・LED化後に耐用年数を迎える防犯街路灯の更新計画に沿った具体的な更新手法の検討 		

備考（その他）

4 (2) 3	通学路安全対策事業	担当課	教育指導課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
児童・生徒の安心・安全な通学を確保するために、地域との連携により、見守り活動の推進や通学路の環境を整備します。	学校との連携により、児童・生徒が安全で安心して通学できる環境づくりを進める地域団体に対し、通学路安全対策事業の経費を補助します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>【青色防犯パトロール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新1年生下校時に実施（4月） ・秋季休業開始時に実施（10月） ・その他事件事故発生時等に、随時学区内の巡回を実施 <p>地域、学校等と連携して通学路の安全対策を進める10団体に対して、横断旗、パトロールベストなどの補助として総額316,376円を交付した。</p> <p>見守り団体に対し、庁内で連携し講習会を開催することができた。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		交通政策課と協力して実施した講習会において、参加団体の拡大を行い、通学路の安全対策を行う団体に周知することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
通学路の安全対策を行う団体に対し、より広く周知が行き渡るよう交通政策課の事業と協力していく。						
令和3年度	<p>【青色防犯パトロール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新1年生下校時に実施（4月） ・秋季休業開始時に実施（10月） ・その他事件事故発生時等に、随時学区内の巡回を実施 <p>地域、学校等と連携して通学路の安全対策を進める7団体に対して、横断旗、パトロールベストなどの補助として総額239,009円を交付した。</p> <p>見守り団体に対し、庁内で連携し講習会を開催することができた。</p> <p>千葉県八街市の事故を踏まえ、市道内「文」マークの一斉補修をおこなった。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		児童生徒の通学時の安全を確保するため、地域等に御協力いただいている見守り団体等に対し、庁内で連携し講習会を行うことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
通学路の安全対策を行う団体に対し周知が行き渡るよう交通政策課の事業と協力していく。また講習会についても、庁内で連携し参加団体の拡大を検討していく。						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生下校時に実施（4月） ・秋季休業開始時に実施（10月） ・その他事件事故発生時等に、随時学区内の巡回を実施 <p>地域、学校等と連携して通学路の安全対策を進める6団体に対して、横断旗、パトロールベストなどの補助として総額173,700円を交付した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
通学路の安全対策を行う団体に対し周知が行き渡るよう交通政策課の事業と協力するなどの手法を検討する。						

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の4（2）3「学校（園）の安全対策事業」を統合した。

4 (2) 4	子どもの安全対策の推進	担当課	社会教育課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
市内の各中学校校区の地域教育力ネットワーク協議会が行う「こどもサポート看板」の設置・管理や防犯パトロールの活動を支援し、子どもの安全確保に努めます。	市内の公共施設、住宅、店舗等への「こどもサポート看板」の設置に努めるとともに、引き続き防犯パトロールを行い、地域全体で子どもたちを見守る活動を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	看板設置枚数 2,119枚 新規設置希望者への配布に加え、経年劣化した看板の刷新も各地区で適宜行われた。	前年度の課題等に対する取組状況				
		新小学1年生へのチラシ配布と広報ひらつか、公民館だよりへの掲載を行い、看板の周知を図った。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	看板設置枚数 2,111枚 新規設置希望者への配布に加え、経年劣化した看板の刷新も各地区で適宜行われた。	前年度の課題等に対する取組状況				
		新小学1年生へのチラシ配布と広報ひらつか、公民館だよりへの掲載を行い、看板の周知を図った。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	看板設置枚数 2,102枚 新規設置希望者への配布に加え、経年劣化した看板の刷新も各地区で適宜行われた。	前年度の課題等に対する取組状況				
		新小学1年生へのチラシ配布と広報ひらつかへの掲載を行い、看板の周知を図った。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
小学1年生へのチラシ配布や広報ひらつかへの掲載等を行っているが、今後も保護者や地域諸団体への継続した周知が必要。						

備考（その他）

4 (3) 1	安全対策の推進	担当課	みどり公園・水辺課 総合公園課 青少年課
---------	---------	-----	----------------------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
公園等の点検・整備を行い、子どもの遊び場の安全確保に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直営による公園施設の点検において、ベンチや一般的な遊具等の共通項目だけでなく、公園特性に応じた附帯的な施設についても、細やかな部分まで点検を行い、安全管理を徹底します。 ・ 安全に遊ぶことができる広場にするために定期的な巡回点検を行い、修繕等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和4年度	みどり公園・水辺課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の公園施設の点検を直営班により4回、業者により1回実施。 ・ 点検時、老朽化した遊具の確認、撤去を実施。 ・ 各公園愛護会による公園内異常の早期通報活動を実施。 ・ 要望、苦情に基づいて市内公園の巡回を実施。 ・ 公園内の草刈、樹木剪定を実施。 ・ 公園遊具の事故件数0件 総合公園課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合公園において日常点検および専門業者による遊具の保守点検を実施。 ・ 日常点検・専門業者からの指摘等により発見された遊具の修繕の実施。 ・ 障がいの有無に関わらず遊べるインクルーシブ遊具の設置。 青少年課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内14か所の青少年及びちびっ子広場の点検を毎月実施。9月に1か所閉鎖（古真土ちびっ子広場）し13ヶ所になった。上山下なかよし広場フェンス修繕、松が丘青少年広場の樹木伐採等を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ■ みどり公園・水辺課：直営による施設点検に加え、公園施設製品安全管理士と公園施設製品整備技士による遊具点検（委託）を行った。■ 総合公園課：総合公園において日常点検および専門業者による遊具の保守点検を実施した。日常点検・専門業者からの指摘等により発見された遊具の修繕を行った。■ 青少年課：定期点検の結果、劣化が進んでいる箇所は修繕を実施。判断が難しい箇所は関係部署に情報共有の上、業者への点検を依頼し、修繕の必要性を判断。安全確保に努めた。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ■ みどり公園・水辺課：安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。■ 総合公園課：安全第一が求められるため、今後経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要になる。■ 青少年課：今後も定期的に現地調査を実施し、経年劣化した遊具や看板等工作物の修繕、樹木の剪定等による安全確保対策が必要。 </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		■ みどり公園・水辺課：安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。■ 総合公園課：安全第一が求められるため、今後経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要になる。■ 青少年課：今後も定期的に現地調査を実施し、経年劣化した遊具や看板等工作物の修繕、樹木の剪定等による安全確保対策が必要。	
		検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
■ みどり公園・水辺課：安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。■ 総合公園課：安全第一が求められるため、今後経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要になる。■ 青少年課：今後も定期的に現地調査を実施し、経年劣化した遊具や看板等工作物の修繕、樹木の剪定等による安全確保対策が必要。										
令和3年度	みどり公園・水辺課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の公園施設の点検を直営班により4回、業者により1回実施。 ・ 点検時、老朽化した遊具の確認、撤去を実施。 ・ 各公園愛護会による公園内異常の早期通報活動を実施。 ・ 要望、苦情に基づいて市内公園の巡回を実施。 ・ 公園内の草刈、樹木剪定を実施。 ・ 公園遊具の事故件数0件 総合公園課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合公園において日常点検および専門業者による遊具の保守点検を実施。 ・ 日常点検・専門業者からの指摘等により発見された遊具の修繕の実施。 ・ 安全対策として老朽化した大型遊具のやまびこの樹を撤去した。 青少年課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内14か所の青少年広場、ちびっ子広場の点検を毎月実施。今里西ちびっ子広場フェンス及び古真土ちびっ子広場看板の修繕、江南児童遊園の樹木伐採を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ■ みどり公園・水辺課：直営による施設点検に加え、公園施設製品安全管理士と公園施設製品整備技士による遊具点検（委託）を行った。■ 総合公園課：経年劣化した大型遊具のやまびこの樹を撤去することができた。■ 青少年課：遊具管理を行う部署と情報共有した。また、劣化が進んでいる遊具は業者に点検を依頼し、遊具の更新、修繕、撤去の必要性を判断。安全確保に努めた。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ■ みどり公園・水辺課：安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。■ 総合公園課：安全第一が求められるため、今後、経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要となる。■ 青少年課：今後も定期的に現地調査を実施し、経年劣化した遊具や看板等工作物の修繕、樹木の剪定等による安全確保対策が必要である。 </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		■ みどり公園・水辺課：安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。■ 総合公園課：安全第一が求められるため、今後、経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要となる。■ 青少年課：今後も定期的に現地調査を実施し、経年劣化した遊具や看板等工作物の修繕、樹木の剪定等による安全確保対策が必要である。	
		検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
■ みどり公園・水辺課：安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。■ 総合公園課：安全第一が求められるため、今後、経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要となる。■ 青少年課：今後も定期的に現地調査を実施し、経年劣化した遊具や看板等工作物の修繕、樹木の剪定等による安全確保対策が必要である。										
令和2年度	みどり公園・水辺課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の公園施設の点検を10回（うち6回は遊具のみ点検）実施。 ・ 点検時、老朽化した遊具の確認、撤去を実施。 ・ 各公園愛護会による公園内異常の早期通報活動を実施。 ・ 要望、苦情に基づいて市内公園の巡回を実施。 ・ 公園内の草刈、樹木剪定を実施。 ・ 公園遊具の事故件数0件 総合公園課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合公園において日常点検および専門業者による遊具の保守点検を実施。 ・ 日常点検・専門業者からの指摘等により発見された遊具の修繕の実施。 ・ 安全対策として、国庫補助金を利用した、老朽化したわんぱく広場複合遊具の更新を実施した。 青少年課 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内13か所の青少年広場、ちびっ子広場の管理、今里西ちびっ子広場防球ネット張替修繕、広場2か所すべり台塗装修繕、寺分ちびっ子広場樹木伐採、今里西ちびっ子広場危険木伐採、金田青少年広場新設に係る防球フェンス等設置工事及び草刈り業務委託 	前年度の課題等に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> みどり公園・水辺課 直営による施設点検に加え、公園施設安全管理士による遊具点検（委託）を行った。 総合公園課 経年劣化した複合遊具の更新に着手することができた。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> みどり公園・水辺課、青少年課：安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。総合公園課：安全第一が求められるため、今後、経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要となる。 </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		みどり公園・水辺課、青少年課：安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。総合公園課：安全第一が求められるため、今後、経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要となる。	
		検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
みどり公園・水辺課、青少年課：安全第一が求められるため、経年劣化してしまった遊具の更新や修繕、撤去等の判断基準の必要性及び遊具の安全確保対策が課題となっている。総合公園課：安全第一が求められるため、今後、経年劣化してしまった遊具の定期的な更新による安全確保対策が必要となる。										

備考 (その他)

4 (3) 2	公園整備事業	担当課	みどり公園・水辺課
---------	--------	-----	-----------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
公園等を計画的に整備するとともに、整備の際は子どもの発育段階に応じた遊具の設置、配置等を考慮し、遊び場の確保を図ります。	子どもの発育段階に対応した遊具を計画的に整備・補修します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・馬入緑道、港公園、須賀公園計3公園に3基の揺動遊具設置工事。 ・青柳公園、大原公園、東中原公園、山下北公園、高村公園、湘南海岸公園計6公園に6基のに滑り台(中型)設置工事。 ・公園の長寿命化に向けて検討を進めている。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位をつけ、計画的に遊具整備を行った。 ・効率的かつ経済的に長寿命化を行うため「公園管理指針」などの見直しを図っている。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。				
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大神公園、四十瀬川公園、伊勢山公園、天沼北公園計4公園に5基の揺動遊具設置工事。 ・桃浜公園に滑り台(中型)設置工事。 ・公所公園に滑り台(複合遊具(小))設置工事。 ・公園の長寿命化に向けて検討を進めている。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位をつけ、計画的に遊具整備を行った。 ・効率的かつ経済的に長寿命化を行うため「公園管理指針」などの見直しを図っている。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。				
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大久保公園、桜ヶ丘公園計2公園に4基の揺動遊具設置工事。 ・長持かすみ町公園に滑り台(複合遊具(小))設置工事。 ・公園の長寿命化に向けて検討を進めている。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位をつけ、計画的に遊具整備を行った。 ・効率的かつ経済的に長寿命化を行うため「公園管理指針」などの見直しを図っている。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。				

備考（その他）

4 (4) 1	歩道のバリアフリー化事業	担当課	道路整備課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
歩行者の安全性の向上や、妊婦、ベビーカー使用者等の子育て世代にも優しいまちづくりを進めるため、歩道の段差改修等を行い、歩道のバリアフリー化を進めます。	平塚市バリアフリー基本構想に位置づけられた生活関連経路における歩道の巻込み部の段差改修等を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	段差解消 13か所	前年度の課題等に対する取組状況 移動等円滑化基準に適合した歩道の整備を行った。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
歩道の 신설や改良を行う場合には、移動等円滑化基準に適合した整備を推進していく。								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	段差解消 30か所	前年度の課題等に対する取組状況 移動等円滑化基準に適合した歩道の整備を行った。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	段差解消 2か所	前年度の課題等に対する取組状況 移動等円滑化基準に適合した歩道の整備を行った。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

4 (4) 2	公共交通のバリアフリー化事業	担当課	交通政策課
---------	----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
妊婦、ベビーカー使用者等の子育て世代を含めた全ての市民の公共交通による移動の利便性や安全性の向上を図るために、市内の交通事業者に対して、ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシーの導入を支援します。	ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシー導入率の向上に向け、交通事業者と連携を図りながら、導入を支援します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<p>ノンステップバスの導入台数 2台（累計126台。うち大型車116台、小型車10台）（※1）</p> <p>ユニバーサルデザインタクシーの導入台数 2台（累計33台）（※2）</p> <p>※1：これまでノンステップバスである小型車バスを含めていなかったが、今回の見直しに伴い、小型車バス10台を含めた。</p> <p>※2：目標値の見直しに伴い、累計台数を確認した結果、前年までの累計台数が33台ではなく31台ということが判明したため、修正した。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>国の基本方針における目標を踏まえ、令和4年6月に平塚市バリアフリー基本構想に基づく事業計画を策定した。計画では令和7年度までにノンステップバスの導入率80%、ユニバーサルデザインタクシーの導入率25%の達成を目指す目標値とした。また、広域的な取組である県への要望や近隣市への働きかけは継続して行った。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>ノンステップバスについては、令和4年度1台の導入目標に対し、2台が導入されたが、ユニバーサルデザインタクシーについては、令和4年度8台の導入目標に対し、2台のみの導入にとどまったため、次年度以降、国の目標値の達成に向けて、タクシー事業者に働きかけていく必要がある。</p>
令和3年度	<p>ノンステップバスの導入台数 0台（累計114台）</p> <p>ユニバーサルデザインタクシーの導入台数 4台（累計33台）</p> <p>（新型コロナウイルス感染症の影響による経営状況悪化の懸念から、バス事業者による車両導入は見送られた。一方、タクシー事業者においては、同感染症による経営状況への影響はあるものの、4台が導入された。）</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>バリアフリー法の改正を受け、平塚市バリアフリー基本構想を改定した。なお、ノンステップバスの導入台数114台（導入率69%）、ユニバーサルデザインタクシーの導入台数は33台となった。また、広域的な取組である県への要望や近隣市への働きかけは継続して行った。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>国の基本方針の改正に伴い、交通事業者と調整して、バリアフリー基本構想に掲げるノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシー等の目標値の見直しを行う必要がある。</p>
令和2年度	<p>ノンステップバスの導入台数 0台（累計114台）</p> <p>ユニバーサルデザインタクシーの導入台数 2台（累計29台）</p> <p>（新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅に減少したことから交通事業者による車両導入が見送られた）</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>ノンステップバスの導入台数114台は導入率69%（目標70%）にあたるため、概ね達成した。ユニバーサルデザインタクシーの導入は目標の29台を達成した。また、広域的な取組である県への要望や近隣市への働きかけは継続して行った。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>令和2年11月に国の基本方針が改正され、ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシー等の目標値が上方修正されたことから、交通事業者と調整して、バリアフリー基本構想に掲げる目標値の見直しを行う必要がある。</p>

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画4（4）2「ノンステップバス推進事業」から事業名称を変更した。

4 (5) 1	環境実態調査	担当課	青少年課
---------	--------	-----	------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
県が主催する青少年を取り巻く環境実態調査に協力し現地調査をします。	現状どおりの調査を継続して行っていく予定です。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>県と市町村が連携して次のとおり社会環境実態調査を実施した。</p> <p>令和4年度は、インターネットカフェ、まんが喫茶、ドラッグストアを対象に主に7月から9月までの間に青少年指導員が店舗を訪問して調査を行った。（崇善、富士見、花水、中原、真土、みずほの6地区で実施）</p> <p>《主な調査項目》</p> <p>【インターネットカフェ、まんが喫茶】</p> <p>客席の状況、条例に基づく措置、18歳未満と思われる者の年齢確認等</p> <p>【ドラッグストア】</p> <p>たばこ、酒類の提供状況、未成年者と思われる者の判断基準等</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		各地区の青少年指導員による協力により円滑に調査を実施することができた。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
翌年度も各地区の青少年指導員に協力を仰ぎ調査を実施する。								
令和3年度	<p>令和3年度は、神奈川県青少年課より提供された店舗一覧のうち、現在の店舗の有無、改装の有無、青少年にとって有害で新たに調査や指導等の必要があると思われる新規店舗の情報収集を行った。調査方法は、感染症拡大防止と調査員の安全確保の観点から、地区青少年指導員が各自で情報収集、市青少年課経由で県青少年課へ報告、県青少年課職員が訪問又は電話により実施した。</p> <p>《主な調査店舗》</p> <p>カラオケボックス、ネットカフェ、コンビニ、書店等</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		今年度は各地区の指導員が直接情報収集を行ったことで、各地区の状況を最新の状態に更新することができた。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と調査員の安全確保の観点から、調査対象を絞った上で、県青少年課職員が訪問又は電話により実施した。</p> <p>調査対象はカラオケボックス、書店。</p> <p>《主な調査項目》</p> <p>カラオケボックス：営業時間、条例に基づく措置、客席の状況</p> <p>書店：有害図書類（本、雑誌等）、同（映像ソフト）</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

4 (5) 2	違反屋外広告物除去事業	担当課	まちづくり政策課
---------	-------------	-----	----------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
道路上等における違反屋外広告物 (風俗広告物含む) の掲示により、青少年の育成に悪影響を与える恐れも考えられるため、この課題を未然に防止する観点からも実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年1回の除却キャンペーンの開催を継続して行います。 ・ 職員による巡回、地域のボランティアの協力等により除却活動を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平塚駅前周辺及び景観重点区域にて違反屋外広告物の除却活動を実施。(実施回数：4回、参加者：職員延べ8人 除却枚数：計205枚) ・ 違反屋外広告物の除却キャンペーン(さわやかで清潔なまちづくりキャンペーン)(実施回数：1回 参加者：ボランティア26人、事業者4人、職員10人 除却枚数：82枚) 	前年度の課題等に対する取組状況 今年度は、市職員による違反屋外広告物の除却活動の他、ボランティアとの協働による除却キャンペーンを3年ぶりに開催することができた。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
青少年の育成に悪影響を及ぼす恐れのある違反広告物は市内全域で減少しているものの、簡易除却の対象となる違反広告物自体は常に一定数は存在しており、今後も事業の継続を図る。(ただし、屋外広告物条例では、広告内容による規制を行っていないため、青少年の育成に悪影響を及ぼす恐れのある広告物を直接規制することはできません)								
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止して実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外広告物適正化旬間での除却活動及び屋外広告物の除却キャンペーンは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止。 ・ 影響を受けない範囲での活動を模索し、景観重点区域を中心とした違反屋外広告物の除却活動を実施。(実施回数：5回 参加者：職員延べ10人 除却枚数：計237枚) 	前年度の課題等に対する取組状況 今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、職員のみで取り組むことで、青少年の育成に悪影響を与える違反屋外広告物を除却できた。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
青少年の育成に悪影響を与える違反屋外広告物は、市内全域で減少しているものの、常に一定数は存在しており、今後も事業の継続を図る。(ただし、屋外広告物条例では、広告物の内容による規制を行っていないため、その他の基準に適合していれば、青少年の育成に悪影響を与えるものであっても除却等は行うことはできません。)								
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止して実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外広告物適正化旬間での除却活動及び屋外広告物の除却キャンペーンは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止。 ・ 影響を受けない範囲での活動を模索し、景観重点区域を中心とした違反屋外広告物の除却活動を実施。(実施回数：5回 参加者：職員延べ10人 除却枚数：計251枚) 	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、除却活動の回数は減少したが、職員のみで取り組むことで、青少年の育成に悪影響を与える違反屋外広告物を除却できた。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
青少年の育成に悪影響を与える違反屋外広告物は、市内全域で減少しているものの、常に一定数は存在しており、今後も事業の継続を図る。(ただし、屋外広告物条例では、広告物の内容による規制を行っていないため、その他の基準に適合していれば、青少年の育成に悪影響を与えるものであっても除却等は行うことはできません。)								

備考 (その他)			

5 (1) ①1	妊婦健康診査	担当課	健康課
----------	--------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
順調な妊娠経過を経て、母子ともに健全な出産を迎えることができるように妊婦健康診査の受診を促します。	定期的に受診し、医師や助産師等のアドバイスを受けて、自身で健康管理に取り組むことができるよう受診勧奨を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p><妊婦健康診査></p> <ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時の面接で妊婦健診の必要性について伝えている。母子健康手帳の発行が極端に遅い、経済的な基盤が不安定など未受診となりそうな妊婦に対しては、出産まで継続的に連絡をとり受診勧奨をおこなったり、医療機関と連携して支援を続けている。 妊婦健康診査第1回目受診率は97.5%。 健診受診後の経過の把握については、ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応している。出産後、乳児家庭全戸訪問時、妊娠中の経過及び受診状況について確認している。 	<p>ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応ができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていく。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時の面接で妊婦健診の必要性について伝えている。母子健康手帳の発行が極端に遅い、経済的な基盤が不安定など未受診となりそうな妊婦に対しては、出産まで継続的に連絡をとり受診勧奨をおこなったり、医療機関と連携して支援を続けている。 妊婦健康診査第1回目受診率は97.4%。 健診受診後の経過の把握については、ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応している。出産後、乳児家庭全戸訪問時、妊娠中の経過及び受診状況について確認している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応ができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていきます。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時の面接で妊婦健診の必要性について伝えている。母子健康手帳の発行が極端に遅い、経済的な基盤が不安定など未受診となりそうな妊婦に対しては、出産まで継続的に連絡をとり受診勧奨をおこなったり、医療機関と連携して支援を続けている。 妊婦健康診査第1回目受診率は88.6%。 健診受診後の経過の把握については、ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応している。出産後、乳児家庭全戸訪問時、妊娠中の経過及び受診状況について確認している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛などが影響して、妊婦健診受診率が昨年度に比べ大きく減少したと思われる。妊婦健診の必要性を母子手帳交付時に改めて伝えていく必要がある。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）	

5 (1) ①2	妊産婦の相談の充実	担当課	健康課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
妊娠早期から産後までの心身の変化や不安等の相談に対応します。	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳の交付時は、保健指導体制をとって相談に臨みます。 妊娠時期に合わせた健康管理に必要な情報を提供します。 ハイリスク者に対する関係機関との連携強化を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋がっている。 妊娠11週以下での届出率95% 妊娠中のフォロー件数216件 (妊娠届数の17%) R5.1月から産後ケア事業開始。 申請者数 23人 利用延回数 34回 R5.2月から伴走型相談支援開始。妊娠8か月時の全妊婦にアンケートを実施し、必要な方に電話や面接等で相談対応している。 アンケート送付数212 回収数196件 (回収率92.5%) フォロー件数:52件 <産婦健康診査> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年7月1日以降に出産した産婦に対し、産婦健診費用の費用助成を実施。 産婦健診受診者数725人、フォロワー者数124人 その他産婦に関する相談関連事業: 5(1)①6、5(1)②2、5(1)②3	前年度の課題等に対する取組状況 全妊婦に保健指導を実施し、情報提供を行った。伴走型相談支援事業を開始し関係機関と連携をし、支援が必要な方につなげることができた。産婦健診を医療機関と連携し、開始することができた。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table> 翌年度に向けた課題と取組	検証結果	A:成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A:成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていきます。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋がっている。 妊娠11週以下での届出率 94% 妊娠中のフォロー件数95件 (妊娠届数の6%) 	前年度の課題等に対する取組状況 全妊婦に保健指導を実施し、情報提供を行った。関係機関と連携をし、支援が必要な方につなげることができた。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table> 翌年度に向けた課題と取組	検証結果	A:成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A:成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていきます。						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋がっている。 妊娠11週以下での届出率 94% 妊娠中のフォロー件数115件 (妊娠届数の8%) 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table> 翌年度に向けた課題と取組	検証結果	A:成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A:成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			

備考 (その他)

5 (1) ①3	妊産婦への教育の充実	担当課	健康課
----------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
健やかな妊娠・出産・産後のため、妊産婦への教育を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 合併症予防、流早産、低出生体重児、産後うつなどの予防や早期発見の教育を行います。 将来の生活習慣病の発症予防のための教育を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付 全員面接を実施し、妊娠の進み方や食事、生活面での指導を実施。特に喫煙や飲酒等嗜好品については、胎児への影響を丁寧に説明している。 乳児家庭全戸訪問(R3.12月～R4.8月生) オリジナルの喫煙に関するチラシを配布し、母や家族の喫煙及び飲酒状況について聞き取り調査をしている。 喫煙状況 母の喫煙率 4.5% 同居者の喫煙率：28.75% 母親父親教室 妊婦及び夫に対して妊娠経過を良好に保つための健康管理、生活習慣病予防をすることの必要性について情報提供を行っている。出産や育児に関しては、コロナ禍であることも考慮した内容にしている。 祖父母手帳(祖父母教室) 教育方法を教室から変更し、妊娠届時に「祖父母手帳」の案内を妊婦を通して配布。ホームページにも掲載。また、幼児期には祖父母に向けた食育・むし歯予防のパンフレットを配布。 メンタル不調対策のスマホアプリの導入(emol) メンタル不調のセルフケアやストレス対策として、24時間いつでも好きな時に使用できるアプリを無料で提供。 父親の育児参加の支援 母子健康手帳の交付時に、父子手帳の交付をしている。父子手帳の中に父親の健康管理についても記載している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>母親父親教室の予約が取れなかった場合は個別にネウボラで対応した。 新型コロナウイルス感染症の感染防止に努め、感染対策を取りながら事業展開ができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>様々な事業を通して妊産婦への教育に取り組んでいく。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付 全員面接を実施し、妊娠の進み方の説明と合わせて、食事や生活面での指導を実施。特に喫煙やアルコール摂取など嗜好品については、胎児への影響を丁寧に説明している。 乳児家庭全戸訪問(R2.12月～R3.7月生) 健康課で作成した喫煙に関するチラシを配布し、母や家族の喫煙状況について聞き取り調査をしている。また、飲酒状況についても聞き取り調査をしている。 喫煙状況 母の喫煙率 3.9% 同居者の喫煙率：31.2% 母親父親教室 妊婦及び夫に対して妊娠経過を良好に保つための健康管理、生活習慣病予防をすることの必要性について情報提供を行っている。 新型コロナウイルスワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を中止し、希望者には個別対応を実施した。また、新生児のおむつ交換、沐浴、着替えの動画配信を開始した。 祖父母教室 新型コロナウイルスワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を中止とし、妊娠届時にパンフレットを妊婦を通して配布。 父親の育児参加の支援 母子健康手帳の交付時に、父子手帳の交付をしている。父子手帳の中に父親の健康管理についても記載している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>母親父親教室・祖父母教室は、新型コロナワクチン接種事業を最優先事業としたこと、また感染予防の観点から、年間を通して集団教室を中止し、代替として妊娠届け出時にパンフレットを配布した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルス感染症予防の観点から、人数制限を設け母親父親教室を実施する。 人数制限を設けることで、希望があった妊婦、またその夫が受講できない可能性がある。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	②拡大して継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付 全員面接を実施し、妊娠の進み方の説明と合わせて、食事や生活面での指導を実施。特に喫煙やアルコール摂取など嗜好品については、胎児への影響を丁寧に説明している。 乳児家庭全戸訪問(R1.12月～R2.11月生) 健康課で作成した喫煙に関するチラシを配布し、母や家族の喫煙状況について聞き取り調査をしている。また、飲酒状況についても聞き取り調査をしている。 喫煙状況 母の喫煙率 4.75% 同居者の喫煙率：32.7% 母親父親教室 妊婦及び夫に対して妊娠経過を良好に保つための健康管理、生活習慣病予防をすることの必要性について情報提供を行っている。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、1回事業を中止した。再開後は、内容を変更して実施した。また、希望者には個別対応を実施した。 祖父母教室 新型コロナウイルス感染症の影響により教室を中止とし、妊娠届時にパンフレットを妊婦を通して配布。 父親の育児参加の支援 母子健康手帳の交付時に、父子手帳の交付をしている。父子手帳の中に父親の健康管理についても記載している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルスワクチン接種事業を最優先事業として実施するため母親父親教室の上半期は中止する。その代替としてパンフレット配布による教育及び希望者には個別対応をする。 祖父母教室については年間を通して中止し、妊娠届け出時にパンフレットを妊婦を通して配布する。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	③縮小して継続					
		翌年度に向けた課題と取組						

備考 (その他)	

5 (1) ①4	産後デイサービス「産後ルームママはぐ」	担当課	健康課
----------	---------------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
母子の孤立を予防し、心身の回復を図り、健やかな育児ができるように支援します。	母子の孤立を予防するための集いの場の拡充と整備をします。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、定員を12人にし、月1回の開催とした。 感染者増加のため、7月のみ食事の提供をやめ、時間を短縮した。それ以外は予定通り開催できている。 コロナ禍でなかなか外出しにくい母たちが交流し、短時間ではあるが、息抜きができる環境づくりをする。 母に対し随時育児相談や、温かい食事の提供、遊びの紹介を行い、安心して過ごせるように支援をする。 R4年度実績 12回開催、参加人数121組 <ul style="list-style-type: none"> 直営の「産後ルームママはぐ」とともに、委託による産後ケア（デイサービス、ショートステイ）を令和5年1月より開始した。 申請者数 23人 利用延回数 34回	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の感染防止に努め、感染対策を取りながら事業を継続する。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍で実施できなかった参加者同士の交流ができるよう取り組む。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施した。 4か月以内の乳児がいる初産婦で、育児に不安がある方又は日中赤ちゃんとなりがちの方を対象に、触れ合い遊びやストレス解消のための体操を行い、栄養のある温かい昼食をとりながら母親同士の交流を深めながら支援をしている。 ・開催回数 8回 ・参加人数 34組	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナワクチン感染拡大防止のため、感染対策をとりながら事業を継続した。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組 感染対策をとりながら実施します。						
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数を減らして実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 4か月以内の乳児がいる初産婦で、育児に不安がある方又は日中赤ちゃんとなりがちの方を対象に、触れ合い遊びやストレス解消のための体操を行い、栄養のある温かい昼食をとりながら母親同士の交流を深めながら支援をしている。 ・開催回数 13回 ・参加人数 68組	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナワクチン感染拡大防止のため、参加人数など感染対策をとりながら事業を継続した。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	③縮小して継続			
翌年度に向けた課題と取組 新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため本事業は縮小します。						

備考（その他）

5 (1) ①5	産前・産後ヘルパー派遣事業	担当課	健康課
----------	---------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
妊娠中や出産前後で体調不良等のため、育児や家事を行うことが困難な家庭に対し、市が委託したヘルパーを派遣し、育児や家事等をサポートします。	受託できる事業者が少ないため、事業者を増やすようホームページや広報等で周知します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>市内に居住する産前から産後5か月以内の妊産婦で、体調不良等のため育児や家事を行うことが困難な方や日中に家族等から援助を受けられず支援が必要な方、または妊娠や子育てに不安を持ち、支援を希望する家庭を対象に市が委託したヘルパーを派遣し、育児や家事等の負担の軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請件数 94件 ・利用件数 61件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		母子健康手帳発行時に全妊婦に対して周知している。令和4年度は令和3年度の1.5倍の利用者があった。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>次年度以降も支援を必要とする家庭に対して本事業へつなげていきます。</p>						
令和3年度	<p>市内に居住する産前から産後5か月以内の妊産婦で、体調不良等のため育児や家事を行うことが困難な方や日中に家族等から援助を受けられず支援が必要な方、または妊娠や子育てに不安を持ち、支援を希望する家庭を対象に市が委託したヘルパーを派遣し、育児や家事等の負担の軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請件数83件 ・利用件数40件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		対象期間が5か月以内となっていたが、精神疾患や未熟児を出産された方は1年間と対象期間を延長したので、支援を必要とする家庭に対して調整した。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>次年度以降も支援を必要とする家庭に対して本事業へつなげていきます。</p>						
令和2年度	<p>市内に居住する産前から産後5か月以内の妊産婦で、体調不良等のため育児や家事を行うことが困難な方や日中に家族等から援助を受けられず支援が必要な方、または妊娠や子育てに不安を持ち、支援を希望する家庭を対象に市が委託したヘルパーを派遣し、育児や家事等の負担の軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請件数50件 ・利用件数27件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		受託できる事業が増えて、募集を一旦中止とした。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>現在、対象範囲は産後5か月以内となっているが、今後拡大するか検討した結果、現状の規模で継続することになった。</p>						

備考（その他）

5 (1) ①6	産後メンタルヘルス相談	担当課	健康課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
妊産婦のメンタルヘルス不調の早期発見や重症化防止及び虐待防止のため、個別相談を実施します。	妊産婦のメンタルヘルス不調を早期に把握し、専門職による相談を行うことで、不安定さを抱える母親やその家族を支援します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	開催回数12回 対応件数41件	前年度の課題等に対する取組状況				
		感染対策を徹底した上で前年度と同様に実施した。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
ケースの状況に合わせて、現状の規模で進めていく。						
令和3年度	開催回数12回 対応件数50件。	前年度の課題等に対する取組状況				
		ケースの状況により、複数回の面談、家族との面談を実施した。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
ケースの状況に合わせて、今年度と同様の規模で進めていく。						
令和2年度	開催回数11回 対応件数32件。 新型コロナウイルス感染症の影響により、1回事業を中止した。	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
ケースの状況により、複数回の面談を行う、電話による相談等の対応をしていく。						

備考（その他）	

5 (1) ②1	乳幼児健康診査	担当課	健康課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
乳幼児の健康状態の確認及び心身の問題の早期発見・早期治療や支援を目的に健康診査を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診内容の充実を図り、健康診査受診率の向上に努めます。 ・ 未受診者への受診勧奨を行い、適切にフォローします。 ・ 関係機関と連携し、未受診者等の状況把握の体制を継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査 対象者 受診者数 受診率 4か月児健診 1376人 1345人 97.7% 8-10か月児健診 1408人 1394人 99.0% 1歳6か月児健診 10503人 1468人 97.7% 2歳児歯科健診 1574人 739人 47.0% 3歳児健診 1741人 1652人 94.9% ・ 乳幼児ケア 12回 67人 ・ 健診事後フォロー教室 回数 延べ参加者数 親子教室 (1歳6か月児健診後) 48回 1069人 ・ 外遊び2時間以上の児の割合 (休日) 1歳6か月児健診 32.8%、3歳児健診 45.6% ・ 22時までには就寝している児の割合 1歳6か月児健診 95.8%、 3歳児健診 92.5% ・ むし歯のない3歳児の割合 3歳児健診 91.5% (R5.3月末現在) 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査 対象者 受診者数 受診率 4か月児健診 1437人 1363人 94.9% 8-10か月児健診 1455人 1417人 97.4% 1歳6か月児健診 1636人 1541人 94.2% 2歳児歯科健診 1712人 812人 47.4% 3歳児健診 1702人 1606人 94.4% ・ 乳幼児ケア 12回 56人 ・ 健診事後フォロー教室 回数 延べ参加者数 親子教室 (1歳6か月児健診後) 12回 205人 * 新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施した。 (たまご教室12回・延べ205人、びよびよ教室開催中止) 開催時期はR3.10月～R4.3月 ・ 外遊び2時間以上の児の割合 (休日) 1歳6か月児健診29.9%、3歳児健診 38.9% ・ 22時までには就寝している児の割合 1歳6か月児健診 94.9%、3歳児健診 90.3% ・ むし歯のない3歳児の割合 3歳児健診 91.5% 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数を変更し、実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査 対象者 受診者数 受診率 4か月児健診 1560人 1495人 95.8% 8-10か月児健診 1618人 1549人 95.7% 1歳6か月児健診 1724人 1639人 95.1% (5回中止) 2歳児歯科健診 1675人 748人 44.1% (3回中止) 3歳児健診 1872人 1755人 93.8% (5回中止) ・ 乳幼児ケア 10回 61人 (2回中止) ・ 健診事後フォロー教室 回数 延べ参加者数 親子教室 (1歳6か月児健診後) 33回 501人 (たまご教室16回・延べ256人、びよびよ教室17回・延べ245人) 開催時期はR2.7月～R3.3月 ・ 外遊び2時間以上の児の割合 (休日) 1歳6か月児健診27.6%、3歳児健診 42.2% ・ 22時までには就寝している児の割合 1歳6か月児健診 95.9%、3歳児健診 91.9% ・ むし歯のない3歳児の割合 3歳児健診 88.6% 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>引き続き健診受診を進め必要な支援に繋がっている。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性と生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。</p>

備考 (その他)			

5 (1) ②2	乳幼児期の相談の充実	担当課	健康課
----------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
未就学児を対象として、保護者の育児不安等の対応と、子どもにとって望ましい生活習慣の確立ができるように育児相談を充実させます。	乳幼児期の相談の場である7か月児相談のさらなる啓発を図り、望ましい生活習慣を確立した児を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 7か月児相談を毎月2回実施。来所者数484人 育児相談は月2回実施、来所者数 436人 令和4年4月からオンラインで専門職が個別相談に応じるオンライン育児相談を開始している。相談件数7件 離乳食教室「5,6か月児」と「7,8か月児」を年8回ずつ実施(定員制)。「9か月～1歳6か月児」と「幼児食教室」を統合した「9か月～2歳0か月児」を年4回実施。 歯みがき教室(8か月～1歳0か月児)は8回実施。1歳3か月児以降の教室は、13回実施。 永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は25園実施。 低出生体重児の集い(おひさまくらぶ)6回 参加人数54人(児26人、保護者等28人) 小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>7か月児相談及び育児相談は定員・予約制にし、その他教室も感染対策を徹底のうえ、実施した。</p>		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き、育児に不安等を抱える保護者と子どもに寄り添った支援をしていきます。</p>				
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 7か月児相談を毎月2回実施(4月～12月まで18回中止)、来所者数131人 育児相談は1月から6回実施(4月～12月まで18回中止)、来所者数82人 離乳食教室「5,6か月児」と「7,8か月児」を毎月1回ずつ実施(時間短縮、一部で試食提供中止)。「9か月～1歳6か月児」の教室は10月以降4回実施(内2回試食無)「5か月～1歳6か月児(ダイジェスト版)」については今年度は中止。 歯みがき教室(8か月～1歳0か月児)は8回実施。1歳3か月児以降の教室は、10月以降5回実施。 永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は今年度は中止。 低出生体重児の集い(おひさまくらぶ)2回 参加人数18人(児9人、保護者等9人)(4回中止) 小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施した。</p>		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>感染対策を取りながら実施します。</p>				
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数を減らして実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 7か月児相談を毎月2回実施、年16回実施、来所者数538人(8回中止) 育児相談を毎月2回実施、年18回実施(6回中止) 来所者数 347人 離乳食教室を実施した(試食提供中止、時間短縮) むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 歯みがき教室は8回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は16園で実施 低出生体重児の集い(おひさまくらぶ)3回 参加人数37人(児20人、保護者等17人)(2回中止) 小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p>		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		検証結果	B：おおむね成果があがった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> </table>	今後の事業展開	③縮小して継続
今後の事業展開	③縮小して継続			
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため本事業は縮小します。</p>				

備考 (その他)

5 (1) ②3	訪問事業	担当課	健康課
----------	------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
乳幼児を持つ家庭に対する訪問を通し、育児不安への対応や、精神的な不安定さを抱える母親への支援を実施します。また、新生児聴覚スクリーニング検査の受診勧奨と検査後の不安軽減のために相談先を紹介します。	こんにちは赤ちゃん訪問の実施率の向上を目指します。 (参考値：平成30年度実績96.1%)

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>乳児家庭全戸訪問 (原則として生後4か月を迎えるまでの乳児が対象) 訪問率97.8%(令和3年12月～令和4年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 <p>未熟児出生率 9.5%</p> <p>未熟児訪問 訪問率 92.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、乳児の把握方法を電話等にも広げて実施し、訪問率が向上した。今年度より、乳児家庭全戸訪問の集計に未熟児も含めた。また例年通り未熟児の訪問数も計上した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>引き続き、子育ての不安を少しでも解消できるよう母に寄り添い支援します。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>乳児家庭全戸訪問 (原則として生後4か月を迎えるまでの乳児が対象) 訪問率88.8%(令和2年12月～令和3年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 <p>未熟児訪問 訪問率 89.4%、(令和2年12月～令和3年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、乳児の把握方法を電話等にも広げて実施したが、昨年に比べ訪問率が低下した。しかし生後4か月未満に把握できなかった乳児については、4か月以降の訪問による把握ができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、訪問又は電話での聞き取りで状況を把握するなど把握方法を広げ、訪問率の向上を目指す。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<p>乳児家庭全戸訪問 訪問率95.3%(令和1年12月～令和2年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 <p>未熟児訪問 訪問率 93.3%、(令和1年12月～令和2年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問又は電話での聞き取りで状況を把握するなど内容を変更し実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルスの感染状況により、現状と同様に内容を変更し訪問率の向上を目指す。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						

備考 (その他)

5 (1) ②4	学習の場の提供	担当課	健康課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
7か月児相談、幼児健診等で年齢に合わせた生活習慣に関する学習機会を提供し、親の育児に関する知識を豊かにすることで子どもの健やかな成長を支えます。	7か月児相談、幼児健診や幼稚園・保育所・認定こども園への巡回教室等で生活習慣（生活リズム、外遊び、食事、睡眠、歯の健康等）に関する情報について、学習の機会を提供します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣についての情報提供を保健センターで実施している集団健診、子どもの生活習慣病予防対策事業巡回教室において実施。 幼児集団健診：生活習慣に関する情報提供として健診におけるポスター掲示 巡回教室：31園 参加園児数941名（希望園のみ） 希望園保護者に対してテキストを配布 31園 1020部 むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室、萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。歯みがき教室21回、巡回教室25園。 低出生体重児の集い（おひさまくらぶ）6回 参加人数54人（児26人、保護者等28人） 低出生体重児の育児について保健師、管理栄養士、保育士等が参加し母親の不安解消、知識の普及を行った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>前年度中止した巡回教室は対象者を絞る等感染対策を徹底した上で再開し、その他事業は前年度同様に実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コロナ禍で縮小していた保護者への働きかけを検討していく必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		コロナ禍で縮小していた保護者への働きかけを検討していく必要がある。	
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
		翌年度に向けた課題と取組								
コロナ禍で縮小していた保護者への働きかけを検討していく必要がある。										
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣についての情報提供を保健センターで実施している集団健診、子どもの生活習慣病予防対策事業巡回教室において実施。 幼児集団健診：生活習慣に関する情報提供として健診におけるポスター掲示及びパンフレットの自由配布 巡回教室：希望園の保護者に対して、子どもの生活習慣病予防に関するテキストを配布（28園 1,127部）。園児対象の教室は中止。 むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室で実施したが、萌出期歯科保健事業巡回教室は中止。 歯みがき教室は年13回実施。 低出生体重児の集い（おひさまくらぶ）2回 参加人数 18人（児 9人、保護者等 9人）（4回中止） 低出生体重児の育児について保健師、管理栄養士、保育士等が参加し母親の不安解消、知識の普及を行った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模の縮小及び内容を変更し実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">感染対策を取りながら実施します。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		感染対策を取りながら実施します。	
		検証結果	A：成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
		翌年度に向けた課題と取組								
感染対策を取りながら実施します。										
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数および内容を変更し、実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣についての情報提供を保健センターで実施している集団健診、子どもの生活習慣病予防対策事業巡回教室において実施。 巡回教室：23園、参加園児人数954人 幼児集団健診 生活習慣に関する情報提供として健診におけるポスター掲示及びパンフレットの自由配布 むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 歯みがき教室は年17回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室18園で実施。 低出生体重児の集い（おひさまくらぶ）3回 参加人数 37人（児 20人、保護者等 17人）（2回中止） 低出生体重児の育児について保健師、管理栄養士、保育士、理学療法士が参加し母親の不安解消、知識の普及を行った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数および内容を変更し、実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルスワクチン接種事業を最優先事業として実施するため本事業は縮小します。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルスワクチン接種事業を最優先事業として実施するため本事業は縮小します。	
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
		今後の事業展開	③縮小して継続							
		翌年度に向けた課題と取組								
新型コロナウイルスワクチン接種事業を最優先事業として実施するため本事業は縮小します。										

備考 (その他)	

5 (1) ②5	感染症対策の推進	担当課	健康課
----------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を実施します。	次世代の健康を守る目的で実施している風疹ワクチン及び平成28年度に開始したB型肝炎ワクチンの普及・啓発に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<p>1歳6か月児健診予防接種接種率について</p> <ul style="list-style-type: none"> 風疹ワクチン (麻疹風疹混合ワクチン含む) 95.01% B型肝炎ワクチン98.84% <p>3歳児健診予防接種接種率について</p> <ul style="list-style-type: none"> 風疹ワクチン (麻疹風疹混合ワクチン含む)98.20 % B型肝炎ワクチン98.7 % <p>・小児医療証の手続き時に予防接種の受け方や重要性が記載された配布リーフレット等を配布。乳児家庭全戸訪問等で、再度保護者に定期予防接種の重要性・進め方について説明している。</p> <p>・幼児健診 (1歳6か月児健診・3歳児健診) 等で予防接種歴を確認し、必要時には保護者に予防接種の重要性について説明している。</p> <p>・個別通知・広報・ホームページ、幼稚園、保育園、学校を経由して接種勧奨するチラシを配布している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合14件、日本脳炎：31件、水痘6件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について説明していく。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合7件、日本脳炎：26件、水痘9件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>1歳6か月児健診の風疹、B型肝炎ワクチン接種率が昨年度に比べ減少しているため健診時に周知していく。</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について積極的に説明していく。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス蔓延防止のため新型コロナウイルス接種担当を設置</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ②拡大して継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>新型コロナウイルスの流行により予防接種に連れていくことを敬遠している、または受けそびれてしまった乳幼児がいる可能性がある。</p> <p>予定どおりに予防接種をする大切さを周知するとともに、やむを得ず遅れてしまった乳幼児への措置を検討する必要がある。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス蔓延防止のため新型コロナウイルス接種担当を設置</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ②拡大して継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>新型コロナウイルスの流行により予防接種に連れていくことを敬遠している、または受けそびれてしまった乳幼児がいる可能性がある。</p> <p>予定どおりに予防接種をする大切さを周知するとともに、やむを得ず遅れてしまった乳幼児への措置を検討する必要がある。</p>

備考 (その他)	

5 (1) ②6	5歳児健康診査	担当課	こども家庭課
----------	---------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
発達に課題を持つ子どもたちが支援を受けずに就学・就職して、困難な状況に陥りがちなことから、5歳児を対象に、スクリーニング調査により健康診査を実施し、要支援という結果が出た子どもに対し、必要な支援を行います。	保育所や教育機関と連携しながら、必要な支援を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	調査票配布協力園：78園(市外18園) 調査票配布数：1656人 調査票回答者：1492人(90.1%) 要支援者：282人、要支援率：18.9% 要支援者在籍園への訪問療育相談と巡回相談 令和4年度対象：52園（実施52園） 令和3年度対象へのフォロー：38園	前年度の課題等に対する取組状況 健診後に支援の必要な子を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなぎました。事業評価の準備を進めました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き要支援者を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなげていきます。引き続き、事業評価の準備を進めます。
令和3年度	調査票配布協力園：77園(市外19園) 調査票配布数：1,747人 調査票回答者：1,592人(91.1%) 要支援者：274人、要支援率：17.2% 要支援者在籍園への訪問療育相談と巡回相談 令和3年度対象：52園（実施52園） 令和2年度対象へのフォロー：46園	前年度の課題等に対する取組状況 健診後に支援の必要な子を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつないだ。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き要支援者を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなげていく。事業評価の準備をすすめる。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、調査時期を変更して実施した。また感染防止の観点から訪問回数を減らした園があった。 調査票配布協力園：78園(市外19園) 調査票配布数：1,837人 調査票回答者：1,740人(94.7%) 要支援者：315人、要支援率：18.1% 要支援者在籍園への訪問療育相談と巡回相談 令和2年度対象：53園（実施53園） 平成31年度対象へのフォロー：46園 市外在住で市内の幼稚園、保育所等に在園している児も対象として実施した。	前年度の課題等に対する取組状況 回答率が向上した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		健診後に支援の必要な子を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなげていく。

備考（その他）

5 (1) ⑦	保育所における食育の推進	担当課	保育課
---------	--------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
乳幼児期から、正しい食事のとり方や望ましい食習慣の定着、食を通じた豊かな人間性の形成、家族関係づくりによる心身の健全育成を図ります。	クッキング保育やバイキング給食、ボードを使用しての食品構成遊び等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング保育、バイキング給食の実施 ・エプロンシアターやボードを使用しての食品構成あそびの実施 ・献立表、給食だよりの配布 ・野菜などの栽培・収穫 ・食育年間計画の運用 実施園：43園	前年度の課題等に対する取組状況
		クッキング保育については、コロナ禍前と同程度の実施が出来た。日頃から保育士と給食関係者が意見交換し、苦手な食材の提供日には園で収穫体験を行い、園児が食べることに興味が湧くような工夫を行った。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		園での給食や栽培・収穫などの体験を通して、食への興味が持てるような関りをしていく。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング保育、バイキング給食の実施 ・エプロンシアターやボードを使用しての食品構成あそびの実施 ・給食試食会の実施 ・献立表、給食だよりの配布 ・野菜などの栽培・収穫 ・食育年間計画の運用 実施園：43園	前年度の課題等に対する取組状況
		コロナ禍であったが、園児の身だしなみや手洗いなどの衛生管理や個別で実施するなどの対応を行ったうえでクッキングを実施した。実際に、自分が口にするものを自分で準備することで食べることへの興味が向上した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング保育、バイキング給食の実施 ・エプロンシアターやボードを使用しての食品構成あそびの実施 ・給食試食会の実施 ・献立表、給食だよりの配布 ・野菜などの栽培・収穫 ・食育年間計画の運用 実施園：43園	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）	

5 (2) ①1	生活習慣病予防・歯の健康に関する知識の普及	担当課	学務課 健康課
----------	-----------------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体格の実態を把握します。 ・ 生活習慣病予防や歯の健康に関する知識の普及に努めます。 ①小学校4～6年生の体格調査と健康に関する教育の実施 ②学校歯科巡回指導の実施	引き続き、体格の実態の把握、生活習慣病予防や歯の健康に関する知識の普及を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	肥満度30%以上の小学校4～6年生333人に医療機関の受診をすすめた。また、小学校4年生を対象に児童健康教室については新型コロナウイルス感染症に配慮した形で開催し、児童25人とその保護者へ栄養相談、医師面談を実施した。 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実技指導は行わず講義形式で実施した。 計測結果(身長・体重)・視力検査結果・歯科検診結果をとりまとめ、保健統計を作成した	前年度の課題等に対する取組状況
		前年度新型コロナウイルス感染症の影響から実施できなかった歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実施した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		必要に応じて事業実施方法の検討
令和3年度	肥満度30%以上の小学校4～6年生316人に医療機関の受診をすすめた。また、小学校4年生を対象に児童健康教室については新型コロナウイルス感染症の影響から運動教室を中止した形で開催し、児童23人とその保護者へ栄養相談、医師面談を実施した。 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止としたが、代替措置として、歯科衛生に係る資料を小学校に配布した。 計測結果(身長・体重)・視力検査結果・歯科検診結果をとりまとめ、保健統計を作成した	前年度の課題等に対する取組状況
		自粛生活による影響で肥満傾向の児童が増加する中、規模を縮小した形ではあったが、健康教室を開催し、専門家による指導が実施できた。また、各学校に対し生活習慣病予防に関する啓発関連資料を提供した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		歯科巡回指導について、コロナ禍においても可能な方法で実施する。
令和2年度	肥満度30%以上の小学校4～6年生へ医療機関の受診をすすめた。小学校4年生対象の児童健康教室は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。 代替措置として、家庭での使用用にカラーテスターを配布した。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業支援事業計画5(2)①1「教育の充実」から事業名称を変更した。

5 (2) ①2	健康に関する教育の実施	担当課	教育指導課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防に関する実態の把握をします。 生活習慣病予防に関する教育を実施します。 ①朝食の摂取、②睡眠、③運動・スポーツ	生涯を通して健康・安全で活力ある生活を送るために、また、運動に親しむ資質や能力を育てるために、学校教育全体を通して健康に関する教育を推進します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和4年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。 各小中学校の体育及び保健体育の授業を通じて、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上をめざした教育実践を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和4年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に児童生徒の体力レベルの低下傾向が明らかとなっている。まずは十分な感染対策を行うことが第一であるが、児童生徒の体力を向上させるために、体育・保健体育の授業においてできることから着実に実施していく。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和3年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。 各小中学校の体育及び保健体育の授業を通じて、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上をめざした教育実践を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和3年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に児童生徒の体力レベルの低下傾向が明らかとなっている。まずは十分な感染対策を行うことが第一であるが、児童生徒の体力を向上させるために、体育・保健体育の授業においてできることから着実に実施していく。
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 毎年「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため上記調査が中止となった。 各小中学校の体育及び保健体育の授業を通じて、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上をめざした教育実践を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 令和3年度は「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」が実施されるので、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握していく。

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画5 (2) ①2 「教育の充実」から事業名称を変更した。

5 (2) ①3	学校保健の充実	担当課	学務課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<ul style="list-style-type: none"> 心電図検査、心臓疾患第2次検査、腎臓疾患 (尿) 検査、同2次検査、同3次精密検査、結核健康診査、胸部レントゲン直接撮影、結核健康診断精密検査、学校歯科巡回指導を実施します。 各学校 (園) 健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施します。 	引き続き、各種健康診断等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<p>心電図検査 (5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査 (6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影 (7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査 (8~9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実技指導は行わず講義形式で実施した。 上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止</p>	前年度の課題等に対する取組状況 各種検査について、計画通り実施した。
		検証結果 A: 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		必要に応じて事業実施方法の検討
令和3年度	<p>心電図検査 (5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査 (6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影 (7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査 (8~9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。代替措置として、歯科衛生に係る資料を小学校に配布した。 上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止 心臓疾患2次検査及び結核健康診断について、昨年度に実施を見送った者の検査等を実施した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況 前年度新型コロナウイルス感染症の影響から実施が延期となった心臓疾患2次検査及び結核検診について、平塚市民病院の協力のもと実施した。各種検査について、計画通り実施した。
		検証結果 A: 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	<p>心電図検査 (10~11月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査は新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して実施 (1~3月実施、心電図検査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) し、一部を翌年度へ延期した 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断は新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止とし、翌年度へ延期した 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。 代替措置として、家庭での使用用にカラーテスターを配布した。 上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今年度の事業実施が延期となった事業に係る翌年度対象者増による事業実施方法の検討

備考 (その他)

5 (2) ①4	スクールカウンセラー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	----------------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 3 (2) 2事業の再掲 > 児童・生徒の様々な課題を解決するために、本人や保護者のカウンセリングと教職員を支援するスクールカウンセラーを小・中学校に派遣します。</p>	スクールカウンセラーを増員し、全小・中学校に派遣します。その後は勤務日の増加を目指します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回1936回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換158回、教職員向け研修会5回、保護者・地域向け講演会1回、児童・生徒担当者会等出席124回、校内支援会議への参加205回、家庭訪問28回、その他5回 計2466回 ・来室相談延べ人数：小学生1893人、中学生545人、小学生保護者1365人、中学生保護者178人、小学校教員2905人、中学校教員813人 計7699人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2307人、いじめ65人、暴力41人、虐待88人、友人・異性関係806人、貧困3人、非行18人、家庭環境725人、教職員との関係131人、心身の健康・保健840人、学業進路361人、発達1496人、その他818人 計7699人 ・電話相談延べ人数：小学生48人、中学生26人、小学生保護者226人、中学生保護者138人、小学校教員36人、中学校教員11人 計485人 ・電話相談内容延べ人数：不登校246人、いじめ13人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係23人、貧困0人、非行0人、家庭環境23人、教職員との関係11人、心身の健康・保健50人、学業進路21人、発達72人、その他26人 計485人	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員への支援を行うことができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。
令和3年度	13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回1889回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換148回、教職員向け研修会6回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席94回、校内支援会議への参加302回、家庭訪問44回、その他9回 計2496回 ・来室相談延べ人数：小学生2017人、中学生901人、小学生保護者1455人、中学生保護者313人、小学校教員3103人、中学校教員1266人 計9055人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2437人、いじめ96人、暴力227人、虐待254人、友人・異性関係797人、貧困0人、非行7人、家庭環境879人、教職員との関係129人、心身の健康・保健1134人、学業進路559人、発達1598人、その他938人 計9055人 ・電話相談延べ人数：小学生25人、中学生24人、小学生保護者340人、中学生保護者153人、小学校教員2人、中学校教員44人 計588人 ・電話相談内容延べ人数：不登校185人、いじめ2人、暴力7人、虐待2人、友人・異性関係36人、貧困0人、非行2人、家庭環境39人、教職員との関係21人、心身の健康・保健73人、学業進路33人、発達162人、その他26人 計588人	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員の支援を行うことができた。また、コロナ禍における心のケアに関する情報提供も行うことができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、新型コロナウイルスの状況に注視しつつ、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。
令和2年度	13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回2241回、教室等でのエクササイズ1回、外部関係者・機関との情報交換130回、教職員向け研修会7回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席75回、校内支援会議への参加206回、家庭訪問18回、その他22回 計2700回 ・来室相談延べ人数：小学生1172人、中学生659人、小学生保護者1291人、中学生保護者298人、小学校教員2616人、中学校教員1129人 計7165人 ・来室相談内容延べ人数：不登校1863人、いじめ21人、暴力62人、虐待257人、友人・異性関係570人、貧困13人、非行35人、家庭環境768人、教職員との関係144人、心身の健康・保健823人、学業進路470人、発達1431人、その他708人 計7165人 ・電話相談延べ人数：小学生17人、中学生70人、小学生保護者344人、中学生保護者145人、小学校教員11人、中学校教員10人 計597人 ・電話相談内容延べ人数：不登校183人、いじめ2人、暴力0人、虐待11人、友人・異性関係27人、貧困0人、非行7人、家庭環境74人、教職員との関係20人、心身の健康・保健60人、学業進路46人、発達141人、その他26人 計597人	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の影響により学校が臨時休業となったため、相談件数は減少した。しかし、休業中はコロナ禍における心のケアに関する情報提供を行ったり、学校再開後は児童・生徒の様子を観察し、カウンセリングや教職員への情報提供などを行った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、新型コロナウイルスの状況に注視しつつ、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。

備考 (その他)

5 (2) ②1	思春期の教育の充実	担当課	健康課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
母性・父性を養い、将来に向けた健全な身体づくりに関する教育を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来に向けた身体づくりや性に関する知識について、学校等に向き普及に努めます。 ・ 思春期対策連絡会の実施等で引き続き関係機関との連携を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和4年度	<p>◆学校での思春期教育 令和4年度は、12校(13回)で実施。 ①大洋中学校 1年生(99人) ②春日野中学校 3年(134人) ③金目中学校五領ヶ台分校 1～3年生(17人) ④県立平塚養護学校知的教育部門 高等部2年生(23人) ⑤県立平塚養護学校知的教育部門 高等部3年生(23人) ⑥山城中学校 3年(134人) ⑦金目中学校 3年(134人) ⑧金旭中学校 3年(178人) ⑨中原中学校 3年(122人) ⑩横内中学校 3年(77人) ⑪江陽中学校 3年(182人) ⑫旭陵中学校 3年(116人) ⑬神明中学校 3年(128人) 内容：妊娠の仕組み、命のつながり、望まない妊娠について講義と妊婦シュミレーターの装着や赤ちゃん人形の抱っこ、性感染症ゲームの実施。 ◆思春期連絡会：1回(R5.1月)開催。以下について報告及び検討。 ・ 思春期の心と身体の健康に関連する各機関の事業内容または現状 ・ 予期せぬ妊娠を防ぐための各機関の活動報告及び検討 ・ 思春期のコロナ禍での変化及び問題点</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策を講じながら講座の実施ができた。 ・ 連絡会も3年ぶりに開催でき、同じ思春期を支援する関係機関の現状を知ることができた。 <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 学校と連携をとりながら、市内の中学生を中心に本講座を実施していく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		・ 学校と連携をとりながら、市内の中学生を中心に本講座を実施していく。	
		検証結果	A：成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
		翌年度に向けた課題と取組								
・ 学校と連携をとりながら、市内の中学生を中心に本講座を実施していく。										
令和3年度	<p>◆学校での思春期教育 令和3年度は、中学校6校で実施。 ①土沢中学校 3年生(60人) ②県立平塚養護学校 知的障害部門高等部3年(30人) ③金目中学校 3年生(132人) ④旭陵中学校 3年生(113人) ⑤春日野中学校 3年生(100人) ⑥山城中学校 3年生(163人) ⑦横内中学校 3年生(58人) ⑧中原中学校 3年生(143人) ⑨大野中学校 3年生(164人) ⑩神明中学校 3年生(141人) ⑪大洋中学校 1年生(124人) ※新型コロナウイルス感染症の影響で2校中止 内容：妊娠の仕組み、命のつながり、望まない妊娠について講義と妊婦シュミレーターの装着や赤ちゃん人形の抱っこ、性感染症ゲームの実施。 ◆思春期連絡会 コロナウイルス感染症予防の観点から中止。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>各校と感染症対策を考慮しながら実施することが出来た。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。 また、思春期連絡会の開催を何らかの形で実施したい。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。 また、思春期連絡会の開催を何らかの形で実施したい。	
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
		翌年度に向けた課題と取組								
新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。 また、思春期連絡会の開催を何らかの形で実施したい。										
令和2年度	<p>◆学校での思春期教育 令和2年度は、中学校6校で実施。 ①横内中学校 3年生(57人) ②金目中学校 3年生(140人) ③土沢中学校 3年生(63人) ④江陽中学校 3年生(160人) ⑤中原中学校 3年生(129人) ⑥大洋中学校 1年生(115人) 内容：妊娠の仕組み、命のつながり、望まない妊娠について講義と妊婦シュミレーターの装着や赤ちゃん人形の抱っこ、性感染症ゲームの実施。 ◆思春期連絡会 3月にコロナウイルス感染症予防の観点から中止。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の点から開催できる時期が限られた。 集団での教育になるため、感染症対策を実施しながら進めていった。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。	
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
		翌年度に向けた課題と取組								
新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。										

備考 (その他)			

5 (2) ②2	こころと命のサポート事業	担当課	福祉総務課
----------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 1 (3) 8事業の再掲> 地域において実施しているおはなし会や読み聞かせ、読み語り等の中で、「命の大切さ、尊さ」をテーマに取り上げてもらうことで、命の大切さ、尊さを普及・啓発し、自殺対策を推進します。	地域で活動している団体等に、本事業について理解を深めてもらい、おはなし会、読み聞かせ、読み語りの中で、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストを活用してもらうよう働きかけ、命の大切さ、尊さの普及・啓発を推進します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 12地区 読み聞かせ回数 延べ 221回 読み聞かせ人数 延べ 5,343人	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度実施地区が少なかったことから、昨年度より呼びかけを強化し、実施を促すことで実施地区の向上に繋がった。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。 「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 8地区 読み聞かせ回数 延べ 157回 読み聞かせ人数 延べ 4,850人	前年度の課題等に対する取組状況 公立・私立保育園、小・中学校の司書教諭及び学校司書に「いのちの尊さをつたえる本」ブックリストの活用と読み聞かせの実績報告を依頼した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。 「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 ①なでしこ小学校 16回延べ539人 ②黒部丘幼稚園 25回450人 ③花水さくら保育園 36回延べ1,053人 ④花水公民館 2回延べ15人 合計 1地区 実施回数 79回 延べ2,057人	前年度の課題等に対する取組状況 保育園・幼稚園に「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用を依頼した。 子ども読書活動代表者会議で読み聞かせの実績報告を依頼。
		検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。

備考 (その他)

5 (3) 1	一時預かり事業	担当課	保育課
---------	---------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (1) 1事業の再掲 > 保護者の断続的な就労、病気や育児疲れの解消等の理由で、子どもの保育ができないときの緊急・一時的な保育を行います。 [対象：就学前子ども]	民間保育所のほか、民間認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園でも一時預かりを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所19園で実施（延べ利用児童数11,769人） ・保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		施設改修の影響により実施できなかった1園を除き、すべての園で実施をすることができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
ニーズに応じて実施する必要がある、現状の規模で継続して取組む。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所19園で実施（延べ利用児童数11,281人） ・保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所20園で実施（延べ利用児童数推計9,941人） ・認定こども園6園（民間・公立）及び民間幼稚園3園で実施（延べ利用児童数推計12,316人） 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
本年と同様の規模で継続したい。						

備考（その他）

5 (3) 2	ファミリー・サポート事業	担当課	保育課
---------	--------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 2 事業の再掲 > 子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と子育ての援助を行いたい方（支援会員）を組織化し、幼稚園・保育所等への送迎及びその前後の預かり等の育児の援助活動の橋渡しを行います。 【依頼会員：0歳から小学校6年生までの児童の保護者】</p>	<p>支援会員に対し、預かり中の子どもの安全対策に係る研修を実施するとともに、支援会員の声を聞きながら研修の充実を図っていきます。また、積極的なPR活動を行い、支援会員を増やします。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会員入会説明会を1回開催。 ・支援会員の講習会を2回開催。 ・支援会員のフォローアップ研修会を2回開催。 ・支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 <p>会員数：支援会員276人、依頼会員933人、内両方会員31人 活動件数：2,280件 ※新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施 ※依頼会員の中に資格を喪失している会員（子どもが中学生以上の保護者）が含まれていたため整理して正しい会員数に修正</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<p>支援会員講習会について、広報ひらつかや市公式LINEでの周知に加え、市民課及び障がい福祉課前に設置している広告放映ディスプレイへの掲載やスーパー等へのポスターの掲示を行った。</p>						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>依頼会員のニーズに対応できるように、PRや支援会員講習会のカリキュラム見直しなど、支援会員増加に向けた取組を行う。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会員入会説明会を2回開催。 ・支援会員の講習会を2回開催。 ・支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 ・支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 ・支援会員サポートを1回開催。 <p>会員数：支援会員300人、依頼会員1,544人、内両方会員29人 活動件数：1,734件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<p>・支援会員の入会説明会及び講習会について、市公式LINEを使うなど、PRを強化した。</p> <p>・支援会員講習会のカリキュラムを見直し、講習内容の充実を図った。（救命講習：救命入門コース(90分)から普通救命講習(3時間)に変更等）</p>						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会員入会説明会を2回開催。 ・支援会員の講習会を1回開催。 ・支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 ・支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 ・支援会員サポートを1回開催。 <p>会員数：支援会員291人、依頼会員1,480人、内両方会員30人 活動件数：1,317件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<p>・支援会員の処遇向上を目的に、依頼会員が支援会員に支払う報酬(基準)のうち、1時間あたり700円の時間帯を「午前6時～午後10時」から「午前7時～午後7時」に変更。</p> <p>・支援会員入会説明会の会場を利便性の高い会場に変更し、開催数を増加。(R1：12回 R2：30回)</p>						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、支援会員講習会のカリキュラム見直し、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

5 (3) 3	子育て支援センター事業	担当課	保育課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (2) 1 事業の再掲 > 子育て家庭に対する育児不安等についての相談支援、各種子育てに係る情報提供、親子の気軽な交流の場としての子育てサロンの運営、子育てサークル等への支援を行います。 [対象：就学前子ども及び保護者]</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続き子育て支援センター事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,487人、子ども 4,389人、合計 7,876人 相談件数：面接 2,182件、電話 45件、その他 202件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながらイベントや育児講座を開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,379人、子ども 4,021人、合計 7,400人 相談件数：面接 2,246件、電話 15件、その他 188件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながら人形劇やコンサートなど一部のイベントを開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,254人、子ども 3,939人、合計 7,193人 相談件数：面接 2,043件、電話 28件、その他 181件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。 令和2年6月15日からは、利用は予約制で利用時間、利用人数等を制限して再開した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

5 (3) 4	つどいの広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (2) 2事業の再掲> 主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで、精神的な安心感をもたらし、問題解決への糸口となる機会(場)を提供します。 [対象：おおむね0～3歳児及び保護者]</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続きつどいの広場事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	<p>・5か所で実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,494人、 子ども1,643人、合計 3,137人、 相談件数： 242件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 4,743人、 子ども 5,123人、合計 9,866人、 相談件数： 406件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,808人、 子ども 2,248人、合計 4,056人、 相談件数： 178件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,518人、 子ども 1,702人、合計 3,220人、 相談件数： 31件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 810人、 子ども 873人、合計 1,683人、 相談件数： 21件</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。</p> <p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。</p>		
	令和3年度	<p>・5か所で実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,671人、 子ども1,756人、合計 3,427人、 相談件数： 292件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 3,899人、 子ども 4,169人、合計 8,068人、 相談件数： 426件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,391人、 子ども 1,654人、合計 3,045人、 相談件数： 183件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,321人、 子ども 1,457人、合計 2,778人、 相談件数： 40件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 802人、 子ども 933人、合計 1,735人、 相談件数： 38件</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。</p> <p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>	
		令和2年度	<p>・5か所で実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等は中止した。</p> <p>「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,546人、 子ども1,634人、合計 3,180人、 相談件数： 248件</p> <p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 2,863人、 子ども 3,101人、合計 5,964人、 相談件数： 392件</p> <p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,397人、 子ども 1,643人、合計 3,040人、 相談件数： 186件</p> <p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,118人、 子ども 1,281人、合計 2,399人、 相談件数： 27件</p> <p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 616人、 子ども 663人、合計 1,279人、 相談件数： 44件</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。令和2年6月15日からは、利用時間、利用人数等を制限して順次再開した。</p> <p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>

備考（その他）

5 (3) 5	開放保育事業	担当課	保育課
---------	--------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (2) 3 事業の再掲 > 地域の未就園児とその保護者に、保育所や認定こども園の園庭や施設を開放し、園児との交流や保護者同士の交流を図り、保育士による育児相談や情報提供を行います。 [対象：就学前子ども及び保護者]</p>	<p>保育所や認定こども園で概ね週1回程度、施設を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所29園、認定こども園4園、小規模保育事業所1園、計34園で実施。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育所等を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		すべての園で実施をすることができた。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
園児との交流や保護者同士の交流を図るとともに、育児に悩む家庭のニーズ等に対応するため、現状の規模で継続して取組む。								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所28園、認定こども園5園、小規模保育事業所1園、計34園で実施。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育所等を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所33園で実施 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育園を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

5 (3) 6	赤ちゃん広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (2) 4 事業の再掲 > 公立保育所及び認定こども園において、1歳未満の乳児を育てる親を対象に、育児不安等についての相談、子育てに係る情報の提供、親子の気軽な交流の場の提供を行います。</p>	<p>事業の周知を図るとともに、育児不安等についての相談を受けたり、子育てに係る情報を提供したりできるように、引き続き事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	毎月1回保健センターで赤ちゃん広場を実施。 各回の参加上限を4月から12月までは10組、1月から3月は15組として開催した。 参加人数については、確定時に報告。	前年度の課題等に対する取組状況						
		赤ちゃん広場の申し込み状況を考慮し、後半の参加上限を変更した。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。								
前年度の課題等に対する取組状況								
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況						
		検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
前年度の課題等に対する取組状況								
検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった								
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況						
		検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
前年度の課題等に対する取組状況								
検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった								

備考（その他）

5 (4) ①1	育てにくさを感じる親に寄り添う支援	担当課	健康課
----------	-------------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育て中の親が育児に対して少しでも余裕と自信を持つことができるように、育てにくさを感じている親の実態を把握しながら支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診票から実態を把握します。 ・子育ての仕方や発育発達の知識を普及します。 ・幼児健診事後フォロー教室を継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診票から育てにくさを感じている親の割合を集計し把握した。 1歳6か月児健診 (育てにくさ) 感じる人0.5% 時々感じる人 18.9% 3歳児健診 (育てにくさ) 感じる人1.4% 時々感じる人23.4% ・幼児健診事後フォロー教室については1歳6か月児健診事後フォロー教室を新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小し、内容を変更して実施した。 たまご教室 24回/年 参加者数 525人 びよびよ教室 24回/年 参加者数 544人 	前年度の課題等に対する取組状況
		フォロー教室については昨年度より規模を拡大して実施することができた。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診票から育てにくさを感じている親の割合を集計し把握した。 1歳6か月児健診 (育てにくさ) 感じる人0.7% 時々感じる人19.4% 3歳児健診 (育てにくさ) 感じる人1.1% 時々感じる人21.5% ・幼児健診事後フォロー教室については1歳6か月児健診事後フォロー教室を1教室(2クール分)開催した。新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小し、内容を変更して実施した。 たまご教室 12回/年 参加者数205人 (開催期間はR3.10月～R4.3月) 	前年度の課題等に対する取組状況
		取組状況に沿って各種健診や健診事後フォロー教室を実施した。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診票から育てにくさを感じている親の割合を集計し把握した。 1歳6か月児健診 (育てにくさ) 感じる人0.5% 時々感じる人19.2% 3歳児健診 (育てにくさ) 感じる人0.7% 時々感じる人21.9% ・幼児健診事後フォロー教室については1歳6か月児健診事後フォロー教室を2教室開催した。コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小し、内容を変更して実施した。 びよびよ教室17回/年 参加者数245人 (開催期間はR2.7月～R3.3月) たまご教室 16回/年 参加者数256人 (開催期間はR2.7月～R3.3月) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ⑤その他
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

5 (4) ①2	子育て講座	担当課	こども家庭課
----------	-------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育ての悩みがある親に対して、子どもとの関わり方や親子関係を改善します。	子育ての悩みがある親に対して、子どもとの関わり方や親子関係を改善していく講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	未就学児の保護者を対象とした子育て講座を5回実施(うち1回は、地区社会福祉協議会からの依頼により実施)。	前年度の課題等に対する取組状況 講師役を務める職員が、新たな取り組みとして専門性の高さを求めない子どもへの対応方法の講座を受講。本講座に反映させました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 講座実施の周知について、関係機関と連携して進めます。 引き続き、出向する体制を構築します。
令和3年度	子育て講座を4回実施(うち1回は、地区公民館の家庭教育学級にて実施)。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、手指消毒や換気等を徹底し実施した。また、みんなのまち情報宅配便にメニュー化し、市民グループが希望する場所へ出向く体制を築いた。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、中止。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症まん延防止を踏まえ、講座の実施方法を検討した。
		検証結果 C:十分に成果をあげることができなかった
		今後の事業展開 ⑤その他
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルス感染症まん延防止を踏まえ、講座を実施する。又は講座の代替となるものを実施する。

備考 (その他)	

5 (4) ①3	ペアレントトレーニング	担当課	こども家庭課
----------	-------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
発達に障がいを持つ子どもの養育は難しく、親が子育てに自信を失いがちであることから、主に発達障がいのある子の保護者を対象に、8回コースの講座を実施します。また、幼稚園・保育所、小・中学校等の指導者向け講座であるティーチャーズトレーニングも実施します。	より多くの方が受講できるように講座の実施方法を工夫します。また、講座修了者に対して、同じ立場の保護者から悩み等を共感的に聞くことができる「ペアレントメンター」として活動してもらえるようにその育成に取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	2グループ開催 参加者数：10人 ティーチャーズトレーニング 2回開催 (各全5回) ペアレントメンター養成講座 フォローアップ講座のみ1回開催	前年度の課題等に対する取組状況
		きらきらサロンを5回開催し、ペアレントメンターの活躍の場の確保に努めました。ペアレントメンターフォローアップ講座1回開催。 ペアレントメンター養成講座再開に向け、関係機関と今後の進め方について協議しました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 きらきらサロンへの参加者を増やし、更なる活躍の場を確保していく。 ペアレントメンター養成講座再開に向け、具体的計画を検討していく。
令和3年度	2グループ開催 参加者数：11人 ティーチャーズトレーニング 2回開催 (各全5回) + 補講1回 ペアレントメンター養成講座 フォローアップ講座のみ1回開催	前年度の課題等に対する取組状況
		ペアレントメンター養成講座は、メンター人数が充足しているため、きらきらサロンを3回から5回に回数を増やしたが、コロナの影響で3回開催。ペアレントメンター養成講座は、フォローアップ講座のみ開催した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 きらきらサロンの開催回数を増やし、ペアレントメンターの活動の場を確保する。
令和2年度	2グループ実施 (2グループ目は現在実施中) 参加者数：13人 ティーチャーズトレーニング 5回開催 新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言発令のため、後期 (全5回) のティーチャーズトレーニングは中止。 ペアレントメンター養成講座 フォローアップ講座のみ1回開催	前年度の課題等に対する取組状況
		ペアレントトレーニングは受講者が減少傾向にあるため、グループ数を減らして開催した。ペアレントメンター養成講座は、メンター人数が充足していること、メンター活動の場 (きらきらサロン) がコロナの影響で開催日数を減らしたことから、フォローアップ講座のみ開催した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ペアレントメンターの活動方法を整理し、活動の場を確保する。

備考 (その他)	

5 (4) ②1	こども発達支援室の療育相談	担当課	こども家庭課
----------	---------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもの発達に関する相談を電話や面接により対応します。また、心理士、言語聴覚士、作業療法士、小児精神科医による相談、一般相談等、子育てについての不安や悩みの相談を受け付けます。	相談事業を継続します。また、はぐくみサポートファイルなどのツールを活用し、就学に向けての切れ目のない支援に取り組めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<p>健診や幼稚園・保育園などを通じて、保護者の困り感等がこども発達支援室の相談に繋がり、相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討しました。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理相談 週5回実施 延べ1746件 言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ126件 作業療法士による相談 週4回実施 延べ470件 児童精神科医による相談 月1回実施 延べ30件 ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ1029件 一般相談 随時 延べ123件、電話による相談536件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>子育てで交流ひろばは、人数や対象を制限して開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経過観察グループ 実施回数計 188回、実施実人数 130人 たんぼぼグループ 23回 13人 個別療育(ことり) 88回 14人 子育てで交流ひろば 開催回数 45回、参加人数 延べ169人 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげました。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いています。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しを進めていきます。</p>
令和3年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理相談 週5回実施 延べ1,268件 言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ88件 作業療法士による相談 週4回実施 延べ429件 児童精神科医による相談 月1回実施 延べ29件 ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ844件 一般相談 随時 延べ135件、電話による相談477件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>子育てで交流ひろばは、人数や対象を制限して開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経過観察グループ 実施回数計 153回、実施実人数 94人 たんぼぼグループ 22回 8人 個別療育(ことり) 145回 21人 子育てで交流ひろば 開催回数 46回、参加人数 延べ198人 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いている。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しをしていく。</p>
令和2年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理相談 週5回実施 延べ1,555件 言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ162件 作業療法士による相談 週4回実施 延べ374件 児童精神科医による相談 月1回実施 延べ24件 (コロナの影響で1回中止) ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ1,067件 一般相談 随時 延べ134件、電話による相談554件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や時期を変更して実施したグループがあった。子育てで交流ひろばは4月～8月は中止し、9月から申込制にして開催。1月の緊急事態宣言発令後は参加受付人数を減らして開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経過観察グループ 全グループ 146回、実施実人数 91人、子育てで交流ひろば 実施回数 26回、参加人数 延べ134人 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いている。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しをしていく。</p>

備考 (その他)			

5 (4) ②2	発達支援コーディネーターの育成・配置	担当課	保育課 こども家庭課
----------	--------------------	-----	---------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
公立保育所及び認定こども園に、専門的知識を持った「発達支援コーディネーター」を育成・配置し、障がい児や配慮が必要な子ども及び保護者に対するきめ細やかな支援を行います。	研修を継続して行い、発達支援コーディネーターを育成し、公立保育所及び認定こども園に配置します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・育成について、今年度は発達支援コーディネーターの資格に必要な第1・第2障がい児研修会を開催した。 ・配置について、公立保育所及び認定こども園に30人の発達コーディネーターを配置している。(こども発達支援室くれよんに在籍の3人を含めると、合計で33人。) 	前年度の課題等に対する取組状況						
		前年度に引き続き、発達支援コーディネーターの資格に必要な障がい児研修会を実施した。						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
今後も発達支援コーディネーターの配置が必要なことから、継続して資格に必要な障がい児研修会を実施する必要がある。								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・育成について、今年度新たに4人の職員が発達コーディネーターの資格を取得した。 ・配置について、公立保育所及び認定こども園に31人の発達コーディネーターを配置している。(こども発達支援室くれよんに在籍の3人を含めると、合計で34人。) 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・育成について、今年度新たに5人の職員が発達コーディネーターの資格を取得した。 ・配置について、公立保育所及び認定こども園に25人の発達コーディネーターを配置している。(こども発達支援室くれよんに在籍の4人を含めると、合計で29人。) 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考 (その他)	

5 (4) ③1	地域療育システム事業	担当課	こども家庭課
----------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
障がい児や発達に課題のある子どもを支援し、身近な地域で安心して生活できるように医療・保健・教育・地域・福祉等各機関との連携を図ります。	関係機関との連携を継続・強化します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<p>こども発達支援室による各機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児分科会 1回 ・学齢児分科会代表者会 5回 ・医療的ケア児支援分科会 1回 ・移送サービス分科会 1回 ・保育園・幼稚園等巡回訪問による連携 103回 (124件) ・相談ケースの就学移行支援として、小学校への巡回訪問による連携 学校数延べ61回(校)、児童数394人(実人数) ・幼稚園・保育所職員等の実習受け入れ 15人 ・障がい児保育推進会議 4回 ・公立幼稚園障がい児受け入れ会議 4回 ・支援報告書提供 269件 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>一人一人の子どもに対する支援方法について、各関係機関と意見交換を重ね、地域での療育支援の連携(システム化)を図りました。</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>適切な支援の継続に向けて、各関係機関とのよりよい連携方法を考え構築していきます。</p>
令和3年度	<p>小学校の巡回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども発達支援室による各機関との主に電話による連携 252回 (378件) ・保育園・幼稚園等巡回訪問による連携 173回 (216件) ・相談ケースの就学移行支援として、小学校への巡回訪問による連携 感染拡大防止の観点から授業参観時間を短縮したため、2～3年生の継続支援対象児童の参観は実施しなかった。 学校数延べ67回(校)、児童数472人(実人数) ・幼稚園・保育所職員等の実習受け入れ 9人 ・障がい児の機能訓練に関する関係機関連絡会 0回 ・障がい児保育推進会議 7回 ・子ども教育相談センター主催の平塚市相談支援チームの情報交換会 0回 ・公立幼稚園障がい児受け入れ会議 3回 ・支援報告書提供 223件 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>一人一人の子どもに対する支援方法について、各関係機関と意見交換を重ね、地域での療育支援の連携(システム化)を図った。</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>適切な支援の継続に向けて、各関係機関とのよりよい連携方法を考え構築していく。</p>
令和2年度	<p>小学校の巡回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども発達支援室による各機関との主に電話による連携 260回 (378件) ・保育園・幼稚園等巡回訪問による連携 114回 (134件) ・相談ケースの就学移行支援として、小学校への巡回訪問による連携 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校と分散登校の期間があったことから、訪問回数が減った学校があった。また感染予防のための授業参観時間短縮のため、2～3年生の継続支援対象児童の参観を実施しなかった。 学校数延べ37回(校)、児童数381人(実人数) ・幼稚園・保育所職員等の実習受け入れ 3人 ・障がい児の機能訓練に関する関係機関連絡会 0回 ・障がい児保育推進会議 4回 ・子ども教育相談センター主催の平塚市相談支援チームの情報交換会 2回 ・公立幼稚園障がい児受け入れ会議 3回 ・支援報告書提供 122件 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>一人一人の子どもに対する支援方法について、各関係機関と意見交換を重ね、地域での療育支援の連携(システム化)を図った。</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>適切な支援の継続に向けて、各関係機関とのよりよい連携方法を考え構築していく。</p>

備考 (その他)

5 (4) ③2	福祉サービス費の支給	担当課	こども家庭課
----------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
障がい児等に対する各種福祉サービス費を支給し、障がい児等の発達支援及び保護者の介護負担軽減を図ります。	サービスについての情報提供をし、引き続き適切に支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児に対する児童福祉法及び障害者総合支援法による各種サービス費の支給：受給者数895人 児童福祉法による障害児通所支援等の市内事業所数 児童発達支援センター…1、児童発達支援…13 放課後等デイサービス…34、保育所等訪問支援…3 障害児相談支援…19 障害者総合支援法による障がい児を対象とした障害福祉サービスに係る市内事業所数 居宅介護…26、短期入所…10、移動支援事業…7 日中一時支援…10、障がい児タイムケア事業…0 	前年度の課題等に対する取組状況 民間事業所と連携し、適切にサービスを支給しています。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		増加する支給量へ対応しながら支援内容の適正化をはかっていきます。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児に対する児童福祉法及び障害者総合支援法による各種サービス費の支給：受給者数804人 児童福祉法による障害児通所支援等の市内事業所数 児童発達支援センター…1、児童発達支援…12、 放課後等デイサービス…32、保育所等訪問支援…2 障害児相談支援…20 障害者総合支援法による障がい児を対象とした障害福祉サービスに係る市内事業所数 居宅介護…25、短期入所…7、移動支援事業…11 日中一時支援…9、障がい児タイムケア事業…0 	前年度の課題等に対する取組状況 民間事業所と連携し、適切にサービスを支給しています。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		増加する支給量へ対応しながら支援内容の適正化をはかっていきます。
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児に対する児童福祉法及び障害者総合支援法による各種サービス費の支給：受給者数755人 児童福祉法による障害児通所支援等の市内事業所数 児童発達支援センター…1、児童発達支援…11、 放課後等デイサービス…28、保育所等訪問支援…3 障害児相談支援…20 障害者総合支援法による障がい児を対象とした障害福祉サービスに係る市内事業所数 居宅介護…24、短期入所…7、移動支援事業…9 日中一時支援…9、障がい児タイムケア事業…0 	前年度の課題等に対する取組状況 民間事業所と連携し、適切にサービスを支給しています。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		増加する支給量へ対応しながら支援内容の適正化をはかっていきます。

備考 (その他)

5 (4) ③3	障がい児保育	担当課	保育課 こども家庭課 学務課
----------	--------	-----	----------------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保育が必要で集団保育が可能な障がい児を受け入れて保育を行います。また集団保育による療育が必要な子どもを対象に、健常児との関わりの中で発達促進を図るため、統合保育を行うとともに、療育相談等で、フォローを必要とする子どもを対象に、健常児との集団生活を体験できる場を提供します。〔対象：就学前子ども〕	<ul style="list-style-type: none"> 障がいを持つ乳幼児を受け入れ、保育を実施します。 障がいのあるなしに関わらず、全ての園児が幼稚園、保育所及び認定こども園において集団で生活し、ともに活動できるように支援します。 保育士が障がい児保育講習会や研修会へ積極的に参加し、必要な知識の習得に努め、受入体制の強化を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児保育 障がい児の保育を実施 公立 22人 (延べ255人) 私立 46人 (延べ463人) 統合保育 市内保育所では、定員を大幅に超えて児童の受入れを行っており、かつ保育を必要とする人を優先的に受け入れる必要があるため、さらなる入所枠を必要とする「統合保育」の実施は非常に厳しい状況となっている。今後の入所児童数の推移を見ながら事業実施方法の検討をしていきたい。 体験・交流保育事業 市内公立保育園において、体験保育で2件の受入を行った。障がいのある幼児の受入枠として公立幼稚園2園で7人を受け入れた。 	前年度の課題等に対する取組状況
		体験・交流事業について、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、障がいのある幼児の受け入れ及び保育を行うため、関係部署間の連携を密にするとともに、適切な介助員等の配置を行った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 障がい児の保育所への受入れについては積極的に受け入れを進めていくが、保育士の手厚い配置が必要となるため、保育士不足の課題が残る。

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児保育 【保育課】障がい児の保育を実施 公立 20人 (延べ216人) 私立 40人 (延べ409人) 保育士の障害児保育講習会・研修会への参加 【こども家庭課】養育の難しいケースについて保育園より相談を受け情報共有をし連携、関係機関に繋ぐ。 統合保育 市内保育所では、定員を大幅に超えて児童の受入れを行っているため、さらなる入所枠を必要とする「統合保育」の実施は非常に厳しい状況となっている。今後の入所児童数の推移を見ながら事業実施方法の検討をしていきたい。なお、令和元年度は、保育を必要とする集団保育が可能な障がい児56人 (延べ501人)を受け入れ、健常児との保育を行っている。 体験・交流保育事業 【保育課】新型コロナウイルス感染症の影響から、限られた受入れ態勢の中で、乳幼児健診や育児相談等においてフォローが必要とされる児童を受入れ、体験保育を実施した。 【こども家庭課】体験保育2件、集団交流保育0件 【学務課】障がいのある幼児の受入枠として公立幼稚園2園で7人を受け入れた。 	前年度の課題等に対する取組状況
		【保育課】体験・交流事業について、障がいのある幼児の受け入れ及び保育を行うための適切な介助員等の配置と施設の確保が引き続き課題となった。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ・体験・交流保育事業 【保育課】新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束することで、より積極的な受け入れ態勢が整うと考えます。

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児保育 【保育課】障がい児の保育を実施 公立 13人 (延べ147人) 私立 33人 (延べ360人) 保育士の障害児保育講習会・研修会への参加 【こども家庭課】養育の難しいケースについて保育園より相談を受け情報共有をし連携、関係機関に繋ぐ。個人交流保育、体験保育及び集団交流保育は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、休止した。 統合保育 市内保育所では、定員を大幅に超えて児童の受入れを行っているため、さらなる入所枠を必要とする「統合保育」の実施は非常に厳しい状況となっている。今後の入所児童数の推移を見ながら事業実施方法の検討をしていきたい。なお、令和元年度は、保育を必要とする集団保育が可能な障がい児46人 (延べ507人)を受け入れ、健常児との保育を行っている。 体験・交流保育事業 【保育課】新型コロナウイルス感染症の影響から、限られた受入れ態勢の中で、乳幼児健診や育児相談等においてフォローが必要とされる児童を受入れ、体験保育を実施した。 【こども家庭課】養育の難しいケースについて保育園より相談を受け情報共有をし連携、関係機関に繋ぐ。個人交流保育0件、体験保育3件、集団交流保育3件 【学務課】障がいのある幼児の受入枠として公立幼稚園2園で6人を受け入れた。 	前年度の課題等に対する取組状況
		【保育課】体験・交流事業について、障がいのある幼児の受け入れ及び保育を行うための適切な介助員等の配置と施設の確保が引き続き課題となっている。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ・体験・交流保育事業 【保育課】新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束することで、より積極的な受け入れ態勢が整うと考えます。

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の5 (4) ③4「統合保育」、5 (4) ③5「体験・交流保育」を統合した。

5 (4) ③4	就学相談・指導事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	-----------	-----	-------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
特別な教育的配慮が必要と思われる幼児・児童・生徒に適切な就学ができるように相談や指導を行います。	平塚市教育支援委員会において、個々の教育的ニーズに応じた適正な就学相談・指導を行うとともに、その後の継続的な支援の在り方について検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	平塚市教育支援委員会 委員会…5回 医学的検診…4回 審査数…158件 新就学相談件数…124件（審査67件 相談のみ57件） 学校からの審査依頼件数…97件 事務局判断…11件 通級審査依頼件数 ことばの教室…学校より31件 新就学15件 まなびの教室…学校より20件 新就学0件	前年度の課題等に対する取組状況
		今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、従来どおりの会を開催することができなかったが、開催方法等を工夫したことで、個々の教育的ニーズに応じた就学相談・指導を行うことができ、増加する件数にも適正に対応することができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、従来どおりの開催の可否についても検討しながら、来年度も引き続き開催方法等を工夫し、適正な就学相談・指導が行えるよう努める。
令和3年度	平塚市教育支援委員会 委員会…5回 医学的検診…4回 審査数…145件 新就学相談件数…115件（審査68件 相談のみ47件） 学校からの審査依頼件数…77件 事務局判断…17件 通級審査依頼件数 ことばの教室…学校より14件 新就学22件 まなびの教室…学校より20件 新就学1件	前年度の課題等に対する取組状況
		今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、従来どおりの会を開催することができなかったが、開催方法等を工夫したことで、個々の教育的ニーズに応じた就学相談・指導を行うことができ、増加する件数にも適正に対応することができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		来年度も引き続き開催方法等を工夫し、適正な就学相談・指導が行えるよう努める。
令和2年度	平塚市教育支援委員会 委員会…5回 医学的検診…4回 審査数…196件 新就学相談件数…109件（審査59件 相談のみ50件） 学校からの審査依頼件数…77件 通級審査依頼件数 ことばの教室…学校より24件 新就学22件 まなびの教室…学校より19件 新就学1件	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染症の影響により、従来どおりの会を開催することができなかったが、開催方法等を工夫したことで、個々の教育的ニーズに応じた就学相談・指導を行うことができ、増加する件数にも適正に対応することができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今回の開催方法が概ね好評だったため、来年度も引き続き開催方法等を工夫し適正な就学相談・指導が行えるよう努める。

備考（その他）

5 (5) ①1	ハイリスク者への支援の充実	担当課	健康課
----------	---------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童虐待防止のため、早期から必要な支援を提供できるように関係機関と連携します。	<ul style="list-style-type: none"> 「ひらつかネウボラールームはぐくみ」において、妊娠期からハイリスク者への対応を行います。 家庭訪問、健診等において機会を捉えた対応を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、第1子には管理栄養士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数38件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：165件 通告：23件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数 68件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：240件 通告：20件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数 81件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：199件 通告：17件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

5 (5) ②1	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
----------	------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (1) 3事業の再掲 > 児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしています。必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。</p>	<p>平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回(うち3回はオンラインを併用)、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議80回 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえ、実務者会議ではオンラインを併用したハイブリッド方式で実施しました。</p>						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
<p>今後児童虐待防止等ネットワーク協議会の周知・理解をより深めるため、会議の内容、回数を検討します。</p>								
<p>前年度の課題等に対する取組状況</p>								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回(書面開催)、実務者会議4回(うち書面開催3回)、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議74回 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p>						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
<p>前年度の課題等に対する取組状況</p>								
<p>前年度の課題等に対する取組状況</p>								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議3回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議91回 (新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、実務者会議を1回中止している) 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p>						
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
<p>前年度の課題等に対する取組状況</p>								
<p>前年度の課題等に対する取組状況</p>								

備考 (その他)

6 (1) 1	子ども学習支援委託事業	担当課	生活福祉課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 1 (3) 9事業の再掲 > 将来の自立に向けた高等学校進学のため、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生に学習の支援をします。	生徒の参加状況を踏まえ実施場所の拡充などを検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	参加実績 中学1年生 10名 中学2年生 16名 中学3年生 12名 高校1年生 3名 高校2年生 1名 高校3年生 1名 実施場所 2か所 開催日数 166日	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続 翌年度に向けた課題と取組 学習支援の範囲を本格的に高校生までに拡大するにあたって、参加者人員の確保。
令和3年度	参加実績 中学1年生 13名 中学2年生 12名 中学3年生 20名 実施場所 1か所 開催日数 83日	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。
令和2年度	参加実績 中学1年生 10名 中学2年生 21名 中学3年生 17名 実施場所 1か所 開催日数 107日（R3.3月末現在）	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。

備考（その他）

6 (1) 2	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	担当課	社会教育課
---------	--------------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 7事業の再掲 > 放課後や土曜日等に、地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、子どもたちが学習や文化活動、地域住民との交流活動などを継続的に体験できる取組を推進します。</p>	<p>放課後や土曜日等に、子どもたちが文化・スポーツ、自然体験など様々な活動をする機会を増やします。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 〈実施内容〉 絵手紙、コカリナ、南京玉すだれ ※夏休み期間(8/21)には3年ぶりに夕暮れコンサートを開催 港地区「港放課後子ども教室」 〈実施内容〉 自主学習、バドミントン、ストラックアウト、輪投げ、体育遊び(跳び箱、肋木、フラフープ、ボール投げ等) ニュースポーツ体験(ボッチャ、ラダーゲッター等) 地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 〈実施内容〉 茶の湯、ジュニアバンド、和太鼓、陸上、卓球、剣道、野菜作り、フラワーアレンジメント、お琴、浴衣着付け教室、ドッジボール、横内ふるさとカルタ大会、バナナの木 <p>※各地区ともコロナ禍以前の活動に近づいている</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>手指消毒やマスクの着用など、基本的な感染防止対策の励行が定着し、コロナ禍以前の活動に戻していく試みが増えている。</p>		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった
		検証結果	B: おおむね成果があがった	
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>		
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、事業の拡充・充実に向けて、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけていく必要がある。また「子どもの居場所づくり」という総合的な視点から地域の様々な活動を捉え、庁内や関係団体との情報共有を進めていく必要がある。</p>				
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模・期間を縮小して実施 港地区「港放課後子ども教室」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模・期間を縮小して実施 地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模(期間)を縮小して実施 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症リスクの中で、安全な事業の実施に重点を置き、事業の継続を最優先とした。</p>		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった
		検証結果	B: おおむね成果があがった	
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>		
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、事業の拡充・充実に向けて、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけていく必要がある。また、コロナ禍での安全な事業実施に向け、関係団体と協議する必要がある。</p>				
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により休止 港地区「港放課後子ども教室」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模(期間)を縮小して実施 地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模(期間)を縮小して実施 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>他地域への拡大に向け、新たに関係団体と話し合いの機会を設けたが、受け皿となる組織体制等の課題があるため、引き続き働きかけを行っている。</p>		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった
		検証結果	B: おおむね成果があがった	
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>		
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、事業の拡充・充実に向けて、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけていく必要がある。また、コロナ禍での安全な事業実施に向け、関係団体と協議する必要がある。</p>				

備考 (その他)

6 (1) 3	新・放課後子ども総合プランの推進	担当課	青少年課 教育総務課 社会教育課
---------	------------------	-----	------------------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 8事業の再掲> 「新・放課後子ども総合プラン」の趣旨に基づき、子どもたちが放課後等を安全、安心に過ごし、多様な体験、活動を行うことができるように、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的又は連携した取組を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後子ども教室の拡充に向けて、実施を希望する地域や学校の把握に努め、設置が可能な案件については、令和5年度までを目途にスケジュール調整を行います。 ・ 小学校の余裕教室等の利用状況を定期的に調査し、放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室への活用の可能性について、庁内で連携して検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的又は連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和5年3月23日に開催した。	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染防止対策を優先しながら、既存の2地区における活動の継続及び活性化を図った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。また「子どもの居場所づくり」という視点から地域の様々な活動を捉え、庁内や関係団体との情報共有を進めていく必要がある。
令和3年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的又は連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和4年3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため、書面開催とした。	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染防止対策を優先したため、教室実施地区の拡大や、学校の余裕教室の調整ができなかった。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。
令和2年度	「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的または連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和3年3月24日に開催した。	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染防止対策を優先したため、教室実施地区の拡大や、学校の余裕教室の調整ができなかった。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的または連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）9「放課後子ども総合プランの推進」から事業名称を変更した。

6 (1) 4	生活困窮世帯の子ども支援事業	担当課	生活福祉課
---------	----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (3) 6事業の再掲 > 高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行います。	関係機関と連携し保護者と生徒自身の両者に対して継続した支援を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。 1 日常生活支援 11件 2 養育支援 6件 3 教育支援 725件 4 就業支援 45件 5 その他支援 136件 6 情報提供、収集、状況把握 501件 7 その他（関係形成、初回顔合わせ訪問） 19件 8 その他（関連業務） 13件	前年度の課題等に対する取組状況
		中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。
令和3年度	生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。 1 日常生活支援 4件 2 養育支援 93件 3 教育支援 717件 4 就業支援 9件 5 その他支援 84件 6 情報提供、収集、状況把握 182件 7 その他（関係形成、初回顔合わせ訪問） 14件 8 その他（関連業務） 9件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。
令和2年度	生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。 1 日常生活支援 3件 2 養育支援 210件 3 教育支援 758件 4 就業支援 53件 5 その他支援 64件 6 情報提供、収集、状況把握 39件 7 その他（関係形成、初回顔合わせ訪問） 10件 8 その他（関連業務） 6件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。

備考（その他）

6 (1) 5	民間団体との連携	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (3) 8事業の再掲 > 子どもの学習支援団体や子どもの居場所づくりに取り組む団体と意見交換や情報提供など連携を図っていきます。</p>	<p>民間学習支援団体等との情報共有、連携の場づくりに取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県、市からの通知を一斉送信し、情報提供に努めました。 ・ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク推進委員会及び同部会に参画し、ネットワークの構築に携わりました。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<p>市民の方に子ども食堂等をより知ってもらうため有効な周知方法を模索しました。</p>						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
<p>ひらつかわくわくマップに子ども食堂の一覧を掲載予定。</p>								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。また、子ども食堂との打合せに参加し、情報共有を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにこども食堂及び学習支援活動団体の一覧を掲載した。 ・こども食堂及び学習支援活動団体の連絡先（メールアドレス）を把握することで、国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<p>団体との連携において、具体的に取り組むことができた。</p>						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

6 (1) 6	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (5) 1事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：675件（新規ケース） 相談回数：1,249件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		子どもの進学に係る貸付の申請については、申込みが遅れ、子が進学できない事態を防ぐため、貸付の相談を行っている旨の周知を行いました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
母子・父子相談を行っている旨を市のLINE等で周知を行うことで、相談しやすい環境をつくります。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：572件（新規ケース） 相談回数：1,006件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続		
検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続		
検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：589件（新規ケース） 相談回数：1,210件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続		
検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続		
検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続					

備考（その他）

6 (1) 7	児童生徒就学援助事業	担当課	学務課
---------	------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (6) 5事業の再掲 > 経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。	引き続き、経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円（4月1日認定者）、 【通学用品費】2,270円（4月1日認定者） 【新入学用品費】小学生51,060円、中学生60,000円、 【入学準備金】次年度小学1年生54,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】（日帰り）小学生1,600円、中学生2,310円（宿泊）小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費（60,910円以内） 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付（11,000円以内）	前年度の課題等に対する取組状況		
		前年度と同様、適正に援助費を執行できた。		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
	翌年度に向けた課題と取組			
今年度と同規模で実施する。				
令和3年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円（4月1日認定者）、 【通学用品費】2,270円（4月1日認定者） 【新入学用品費】小学生51,060円、中学生60,000円、 【入学準備金】次年度小学1年生51,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】（日帰り）小学生1,600円、中学生2,310円（宿泊）小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費（60,910円以内） 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付（11,000円以内）	前年度の課題等に対する取組状況		
		前年度と同様、適正に援助費を執行できた。		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
	翌年度に向けた課題と取組			
今年度と同規模で実施する。				
令和2年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円（4月1日認定者）、 【通学用品費】2,270円（4月1日認定者） 【新入学用品費】小学生50,600円、中学生57,400円、 【入学準備金】次年度小学1年生51,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】（日帰り）小学生1,600円、中学生2,310円（宿泊）小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費（60,910円以内） 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】学校徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付（11,000円以内）	前年度の課題等に対する取組状況		
		前年度と同様、適正に援助費を執行できた。		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった
		検証結果	A：成果があがった	
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
	翌年度に向けた課題と取組			
今年度と同規模で実施する。				

備考（その他）

6 (1) 8	特別支援教育就学奨励援助事業	担当課	学務課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (6) 6事業の再掲> 特別支援教育を円滑に受けることができるようにするため、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。</p>	<p>引き続き、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】 実費の半額（上限額：小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円）</p> <p>【校外活動費】（日帰り）実費の半額（上限額：小学生2,500円、中学生3,500円）（宿泊）実費の半額（上限額：小学生4,000円、中学生3,500円）</p> <p>【修学旅行費】実費の半額（上限額：28,860円） 【通学費】実費 【交流及び共同学習交通費】実費 【給食費】学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		前年度と同様、適正に執行できた。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】について、実費の取扱いから定額の取扱いに変更するため検討する。								
令和3年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】 実費の半額（上限額：小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円）</p> <p>【校外活動費】（日帰り）実費の半額（上限額：小学生2,500円、中学生3,500円）（宿泊）実費の半額（上限額：小学生4,000円、中学生3,500円）</p> <p>【修学旅行費】実費の半額（上限額：28,860円） 【通学費】実費 【交流及び共同学習交通費】実費 【給食費】学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】 実費の半額（上限額：小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円）</p> <p>【校外活動費】（日帰り）実費の半額（上限額：小学生2,500円、中学生3,500円）（宿泊）実費の半額（上限額：小学生4,000円、中学生3,500円）</p> <p>【修学旅行費】実費の半額（上限額：28,860円） 【通学費】実費 【交流及び共同学習交通費】実費 【給食費】学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

6 (1) 9	高等学校等修学支援事業	担当課	学務課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (6) 7事業の再掲 > 高等学校等における修学支援を行うため、修学支援金を支給します。	募集人数の拡充を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。</p> <p>応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>応募資格要件に関する見直しを行い、令和5年度の募集時から、学業成績に関する要件を撤廃する一方で保護者の市民税所得割額の基準額を引き下げた。支援対象者の募集数について徐々に減らしていくことは変わらないが、新たな寄付があったため、減少の速度は緩まることになる。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	③縮小して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。</p> <p>応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>寄付金の残額が減ってきているため、支援対象者の募集数を今後徐々に減らしていく方向とする。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	③縮小して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。</p> <p>応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>寄付金の残額が減ってきているため、支援対象者の募集数を今後徐々に減らしていく方向とする。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

6 (1) 10	生業扶助・教育扶助	担当課	生活福祉課
----------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (6) 8事業の再掲 > 対象となる児童・生徒がいる生活保護世帯に対し、高等学校等就学費や教育扶助費として学習支援費や教材代を援助します。	引き続き法令に基づいて事業を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	教育扶助 小学生 104人 中学生 65人 扶助額 15,255,060円 生業扶助 高校生 79人 扶助額 11,521,891円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度と同規模で実施する。						
令和3年度	教育扶助 小学生 111人 中学生 69人 扶助額 15,725,806円 生業扶助 高校生 68人 扶助額 8,798,107円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度と同規模で実施する。						
令和2年度	教育扶助 小学生 188人 中学生 65人 扶助額 15,819,047円 生業扶助 高校生 70人 扶助額 9,299,253円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度と同規模で実施する。						

備考（その他）

6 (1) 11	放課後自主学習教室事業	担当課	教育指導課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 3 (1) 1 3 事業の再掲 > 児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、放課後に小学校4～6年生を対象に学習支援をします。	実施校の拡充を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校6校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況 学習支援員の確保のため、市内退職教員の情報収集を図るとともに、早期に直接依頼をすることで、定員を確保することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 今年度に引き続き、実施校の増加にあたり、学習支援員を確保するため学習支援ボランティアの対象を拡大し、募集に努める。
令和3年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校4校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況 学習支援員の確保のため、市内退職教員の情報収集を図るとともに、早期に直接依頼をすることで、定員を確保することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 実施校の増加にあたり、学習支援員を確保するため学習支援ボランティアの募集に努める。
令和2年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校4校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 実施校の増加を目指すには学習支援員の確保が必要であるため、それと併せて学習支援ボランティアの募集に努める。

備考 (その他)	

6 (1) 12	スクールカウンセラー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	----------------	-----	-------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 3 (2) 2事業の再掲 > 児童・生徒の様々な課題を解決するために、本人や保護者のカウンセリングと教職員を支援するスクールカウンセラーを小・中学校に派遣します。</p>	スクールカウンセラーを増員し、全小・中学校に派遣します。その後は勤務日の増加を目指します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	13人（週3日勤務）による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回1936回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換158回、教職員向け研修会5回、保護者・地域向け講演会1回、児童・生徒担当者会等出席124回、校内支援会議への参加205回、家庭訪問28回、その他5回 計2466回 ・来室相談延べ人数：小学生1893人、中学生545人、小学生保護者1365人、中学生保護者178人、小学校教員2905人、中学校教員813人 計7699人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2307人、いじめ65人、暴力41人、虐待88人、友人・異性関係806人、貧困3人、非行18人、家庭環境725人、教職員との関係131人、心身の健康・保健840人、学業進路361人、発達1496人、その他818人 計7699人 ・電話相談延べ人数：小学生48人、中学生26人、小学生保護者226人、中学生保護者138人、小学校教員36人、中学校教員11人 計485人 ・電話相談内容延べ人数：不登校246人、いじめ13人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係23人、貧困0人、非行0人、家庭環境23人、教職員との関係11人、心身の健康・保健50人、学業進路21人、発達72人、その他26人 計485人	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員への支援を行うことができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。
令和3年度	13人（週3日勤務）による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回1889回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換148回、教職員向け研修会6回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席94回、校内支援会議への参加302回、家庭訪問44回、その他9回 計2496回 ・来室相談延べ人数：小学生2017人、中学生901人、小学生保護者1455人、中学生保護者313人、小学校教員3103人、中学校教員1266人 計9055人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2437人、いじめ96人、暴力227人、虐待254人、友人・異性関係797人、貧困0人、非行7人、家庭環境879人、教職員との関係129人、心身の健康・保健1134人、学業進路559人、発達1598人、その他938人 計9055人 ・電話相談延べ人数：小学生25人、中学生24人、小学生保護者340人、中学生保護者153人、小学校教員2人、中学校教員44人 計588人 ・電話相談内容延べ人数：不登校185人、いじめ2人、暴力7人、虐待2人、友人・異性関係36人、貧困0人、非行2人、家庭環境39人、教職員との関係21人、心身の健康・保健73人、学業進路33人、発達162人、その他26人 計588人	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員の支援を行うことができた。また、コロナ禍における心のケアに関する情報提供も行うことができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、新型コロナウイルスの状況に注視しつつ、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。
令和2年度	13人（週3日勤務）による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回2241回、教室等でのエクササイズ1回、外部関係者・機関との情報交換130回、教職員向け研修会7回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席75回、校内支援会議への参加206回、家庭訪問18回、その他22回 計2700回 ・来室相談延べ人数：小学生1172人、中学生659人、小学生保護者1291人、中学生保護者298人、小学校教員2616人、中学校教員1129人 計7165人 ・来室相談内容延べ人数：不登校1863人、いじめ21人、暴力62人、虐待257人、友人・異性関係570人、貧困13人、非行35人、家庭環境768人、教職員との関係144人、心身の健康・保健823人、学業進路470人、発達1431人、その他708人 計7165人 ・電話相談延べ人数：小学生17人、中学生70人、小学生保護者344人、中学生保護者145人、小学校教員11人、中学校教員10人 計597人 ・電話相談内容延べ人数：不登校183人、いじめ2人、暴力0人、虐待11人、友人・異性関係27人、貧困0人、非行7人、家庭環境74人、教職員との関係20人、心身の健康・保健60人、学業進路46人、発達141人、その他26人 計597人	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染症の影響により学校が臨時休業となったため、相談件数は減少した。しかし、休業中はコロナ禍における心のケアに関する情報提供を行ったり、学校再開後は児童・生徒の様子を観察し、カウンセリングや教職員への情報提供などを行った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、新型コロナウイルスの状況に注視しつつ、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。

備考（その他）

6 (1) 13	スクールソーシャルワーカー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	-------------------	-----	-------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 3 (2) 3事業の再掲 > 社会福祉に関する専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを小・中学校に派遣します。</p>	<p>スクールソーシャルワーカーを各小・中学校の要請に応じて派遣し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ります。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 128件、延べ訪問回数 132回、ケース会議への参加 23回、関係機関との連携（含電話）1001回 中学校：相談件数 66件、延べ訪問回数 65回、ケース会議への参加 23回、関係機関との連携（含電話）629回	前年度の課題等に対する取組状況 各種研修会等においてスクールソーシャルワーカーの業務について継続的に周知した結果、学校からの要請が増加してきた。また、受理したケースについては所内で情報共有や検討を行い、関係機関と連携しながら適切に対応することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、不登校及び問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。
令和3年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 88件、延べ訪問回数 74回、ケース会議への参加 37回、関係機関との連携（含電話）666回 中学校：相談件数 86件、延べ訪問回数 57回、ケース会議への参加 18回、関係機関との連携（含電話）706回	前年度の課題等に対する取組状況 各種研修会等におけるスクールソーシャルワーカーの業務について周知した結果、学校からの要請が増加してきた。また、受理したケースについては所内で情報共有や検討を行い、適切に対応することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルス感染症の影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。
令和2年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 71件、延べ訪問回数 73回、ケース会議への参加 17回、関係機関との連携（含電話）609回 中学校：相談件数 66件、延べ訪問回数 54回、ケース会議への参加 22回、関係機関との連携（含電話）410回	前年度の課題等に対する取組状況 学校の臨時休業により、学校が児童・生徒の環境について把握することが難しかったため、スクールソーシャルワーカーへの要請も少なかった。その中でも学校からの要請に対して適切に対応することができた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。

備考（その他）

6 (2) 1	子どものための相談機能の充実	担当課	青少年課
---------	----------------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<1 (1) 1事業の再掲> 子ども自身や保護者が相談できる電話・来室相談等、子どものための相談体制を充実します。	子ども自身や保護者の悩みを早期に解決するために相談機能の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 180件、ヤングテレホン相談 (火～土) 116件、ヤングメール相談4件 相談室の啓発チラシを4月、9月、1月の3回 (各回28,750部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設に加え、平塚市近隣の高校へ合計29,110部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (6月、12月、1月)、ひきこもりを考える家族セミナー (9月)、児童思春期精神科セミナー (10月)、神奈川県社会福祉協議会母子福祉研修会 (1月)、全国青少年相談員研究会 (オンライン配信・1月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>子どものためのセーフティーネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図る。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 102件、ヤングテレホン相談 (火～土) 124件、ヤングメール相談15件、LINE相談 (試行実施) 33件 相談室の啓発チラシを4月、9月、2月の3回 (各回30,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設に加え、平塚市近隣の高校へ合計31,200部送付した。 LINE相談の啓発カードを8月に、市内小学校5、6年生児童並びに市内中学校、市内・大磯・二宮の高等学校及び中等教育学校在学の生徒宛てに合計21,120部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (6月、12月、2月)、全国青少年相談員研究会 (オンライン配信・1月)、青少年行政関係職員等研修 (2月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するため、LINE相談を試行実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>子どものためのセーフティーネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図る。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
		翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 187件 ヤングテレホン相談 (火～土) 131件 ヤングメール相談55件 相談室の啓発チラシを4月、9月、2月の3回 (各回30,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設への配布と併せて、近隣の鶴嶺高校、茅ヶ崎高校、茅ヶ崎西浜高校、寒川高校、秦野高校、秦野曾屋高校、秦野総合高校、伊志田高校、伊勢原高校、向上高校、自修館中等教育学校へ保健室配布分として各20部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (12月)、全国青少年研究会 (オンライン配信・1月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するとともに、様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>子どものためのセーフティーネットの一つとしての機能を高めるため、現在の相談体制に加え、LINEを活用した相談を実施するなど、相談機能の充実を図る。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
		今後の事業展開	②拡大して継続					
		翌年度に向けた課題と取組						

備考 (その他)	

6 (2) 2	保護を必要とする子どもへの対策	担当課	こども家庭課
---------	-----------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 1 (1) 2 事業の再掲 > ・ こども総合相談担当と児童相談所との連携を密にし、保護を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 ・ 里親制度の啓発・普及に努めます。	・ 児童相談所や関係機関と連携し、支援を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 ・ すべての子どもの権利を擁護するために子ども家庭総合支援拠点の設置に取り組みます。 ・ 里親制度紹介講座及び里親相談（児童相談所主催）を実施し、制度の啓発・普及に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	・ 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図りました。 ・ 児童虐待防止普及活動の「子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」が10月に開催され、市役所を中継点とした。その際に、里親制度啓発のため、のぼり旗の設置及び啓発用物品を配布しました。	前年度の課題等に対する取組状況
		ネットワーク内での共通認識を増やし、連携強化に取り組みました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
保健センター等との連携強化を目指します。（子ども家庭センターの設置）		
令和3年度	・ 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 ・ 里親制度について、関係機関へのチラシを配布し、里親制度の啓発・普及に努めた。なお、8月に平塚児童相談所主催、本市共催で開催予定であった里親講座は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、中止している。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	・ 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 ・ 里親制度について、関係機関へのチラシの配布や児童虐待防止啓発活動における平塚駅前での啓発グッズの配布などを行い、里親制度の啓発・普及に努めた。	前年度の課題等に対する取組状況
		児童相談所との進行管理会議の実施方法を変更した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

6 (2) 3	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
---------	------------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 1 (1) 3事業の再掲 > 児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしています。必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。</p>	<p>平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回(うち3回はオンラインを併用)、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議80回 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえ、実務者会議ではオンラインを併用したハイブリッド方式で実施しました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>今後児童虐待防止等ネットワーク協議会の周知・理解をより深めるため、会議の内容、回数を検討します。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回(書面開催)、実務者会議4回(うち書面開催3回)、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議74回 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議3回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議91回 (新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、実務者会議を1回中止している) 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

6 (2) 4	養育支援訪問事業	担当課	健康課
---------	----------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 1 (1) 4事業の再掲 > 保護者の疾病等の理由により、児童を養育することに支障が生じた家庭に対して、安定した児童の養育が可能となるように訪問による支援を実施します。	適切な時期に支援が導入できるように関係機関と連携を図り、継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和4年度	件数：5件 実施内容： ①訪問38回（保健師訪問23回） ②電話相談79回（保健師電話57回） ③家事援助（ヘルパー）：30回 計 30.5時間 ④所内面接、同行受診等：22回（保健師11回）	前年度の課題等に対する取組状況	
		適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
		次年度も必要な家庭に対して本事業につなげていく。	
令和3年度	件数：5件 実施内容： ①訪問33回（保健師訪問16回） ②電話相談39回（保健師電話24回） ③家事援助（ヘルパー）：69回 計 72時間 ④所内面接、同行受診等：6回（保健師5回）	前年度の課題等に対する取組状況	
		適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
		次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。	
令和2年度	件数：6件 実施内容： ①訪問37回（保健師訪問22回） ②電話相談39回（保健師電話29回） ③家事援助（ヘルパー）：65回 計97.5時間 ④所内面接、同行受診等：4回（保健師訪問3回）	前年度の課題等に対する取組状況	
		適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。	
		検証結果	A：成果があがった
		今後の事業展開	①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組	
		翌年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていく。	

備考（その他）

6 (2) 5	育児講座	担当課	保育課
---------	------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 1 (3) 1 事業の再掲 > 子育て家庭の不安感、負担感を軽減できるように、乳幼児の健全な心身の発達、親・家庭の果たす役割及び親と子の関係等について学び、親の育児力の向上を図るため、育児講座を開催します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親の育児不安の解消や育児力の向上を目的とした各種講座の開催や保護者との懇談会を実施します。 ・ 主任児童委員等の意見を伺い、地域のニーズに合う講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和4年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>コロナ禍でも育児講座を開催できるように検討を行ったが、保育園を運営しながら育児講座を実施するスペースを確保することができなかった。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開催に向けて開催方法等を検討する必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		開催に向けて開催方法等を検討する必要がある。	
検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
開催に向けて開催方法等を検討する必要がある。										
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p> </p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p> </p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										

備考（その他）

6 (2) 6	子育て支援地域派遣事業	担当課	保育課 健康課
---------	-------------	-----	------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 1 (3) 4事業の再掲 > 地域の子育て支援活動等に保育士や保健師等を派遣し、育児に関する相談・支援を行います。</p>	<p>子育てサークルなどでの育児情報の提供や育児相談、遊びの紹介等、子育て支援に継続して取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや主任児童委員、福祉村が主催する子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 派遣回数：子育てサークル（コミュニティ）：5回 子育て支援活動（子育て広場）：100回 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。</p> <p>健康課 ・新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、R2.10月より規模を縮小して実施した。 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回、歯科1回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師14回、栄養5回、歯科4回 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師1回、栄養1回、歯科2回 ・地区の要望に沿って対応している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>保育課：派遣依頼・実施数は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、令和元年の75%程度に回復してきている。 健康課：R3.10月より事業を再開し、依頼件数が前年に比べて増え、感染拡大の防止に努めながら実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>保育課：翌年度も現状の規模で継続していく。 健康課：R3.10月より事業を再開し、依頼件数が前年に比べて増えた。今後も、現状の規模で継続していく。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや、主任児童委員、福祉村が主催する子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 派遣回数：子育てサークル：0回 子育て支援活動：35回 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。</p> <p>健康課 ・新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、R2.10月より規模を縮小して実施した。 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回、歯科0回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師0回（2件中止）、栄養2回、歯科1回（1件中止） 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師0回、栄養0回（中止1回）、歯科0回（中止1回） ・地区の要望に沿って対応している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>健康課：R3.10月より事業を再開したため、派遣依頼・実施数はコロナ前と比べると減少したが、感染拡大の防止に努めながら実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>健康課：R3.10月より事業を再開したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる依頼もあった。コロナ感染拡大の防止に努めながら、翌年度も①現状の規模で継続していく。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 子育てサークル派遣：1回、子育て支援活動：11回 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。</p> <p>健康課 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止。 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回（中止1回）、歯科0回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師2回（8件中止）、栄養1回（3回）、歯科2回（4件中止） 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師0回（1件中止）、栄養0回（中止1回）、歯科0回（1件中止） ・地区の要望に沿って対応している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td style="width: 50%;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>新型コロナワクチン接種事業を最優先事業として実施するため、健康課職員の派遣事業は縮小します。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	③縮小して継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

6 (2) 7	地域福祉推進事業	担当課	福祉総務課
---------	----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 1 (3) 5事業の再掲> 地域福祉を推進するため、市民と行政との協働により、地域の子どもから高齢者までがお互いに助け合い、支え合う仕組みとしての町内福祉村の新設及び既設福祉村等の環境整備を支援します。</p>	<p>既存福祉村について活動の支援を行うほか、福祉村未設置地区に出向き、本事業の説明やワークショップを実施することで、町内福祉村の意義や必要性を伝え、新設を促進します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>令和4年度は、福祉村の活動が活性化するように、新たな補助制度を創設し、活動の後押しをすることで、地域の輪が途切れることの無いよう促しました。また、福祉村会長会議で他の福祉村の好事例等について紹介等を行うとともに、コーディネーターの研修会を実施しました。</p> <p>さらに、多くの方に福祉村の活動について知っていただくために、ららぽーと湘南平塚でパネル展を実施したほか、平塚市公式LINEで各福祉村の活動を紹介しました。</p> <p>福祉村未開設地区に対しては、地域向けの説明会を複数回実施し、地域での機運が高まるよう、今後も継続的に協議を進めていきます。</p> <p>・ふれあい交流活動 7,847回開催、75,256人参加</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>活性化補助金の活用により、デジタル技術の活用など、新たな取組が広く展開されました。また、新たに、ららぽーと湘南平塚でパネル展を実施したことで福祉村活動の認知度向上を図りました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>既存の福祉村の活動活性化に取り組むとともに、多くの方に福祉村を知っていただけるよう、引き続き、広く周知していく必要があります。また、未設置地区には丁寧に説明に伺い、地域の機運を高める必要があります。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により福祉村活動を一部縮小し実施しました。感染症対策に配慮しながら、実施可能なサロン等については、開催人数や回数、会場等の変更を行いながら各地区で工夫し実施することができました。市からも、既設18地区の町内福祉村に対し、住民主体の身近な生活支援やふれあい交流活動を可能な範囲で実施する際の助言等を行うことで、地域の輪が途切れることの無いよう配慮を行いました。</p> <p>また、町内福祉村に対する運営支援については、感染症の状況を考慮しながら福祉村会長会議を書面で開催するなどの手段も活用し、他の福祉村の好事例等について紹介等を行うことで、今後の各福祉村活動が活性化するように努めました。</p> <p>町内福祉村未開設地区に対しては、書面等での地区へ情報提供を行うと共に、少人数で検討する機会を設けました。地区での機運が高まるよう、今後も継続的に協議を進めていくこととします。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>感染症対策に配慮した実施可能な範囲でのサロン等を行っていますが、参加ボランティアの拡大には繋がりませんでした。しかし、ボランティア間の繋がりが途切れないよう連絡を密にし、今後の活動に備えています。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>感染症の影響を見つつ、引き続きサロン等の充実やボランティアの拡大に努めます。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉村活動を一部縮小し実施しました。既設18地区の町内福祉村に対し、市から住民主体の身近な生活支援やふれあい交流活動を可能な範囲で実施する際の助言等を行うことで、地域の輪が途切れることの無いよう配慮を行いました。</p> <p>また、町内福祉村に対する運営支援については、年4回の福祉村会長会議を書面で開催するなどの手段も活用しながら他の福祉村の好事例等を参考にしたり、各福祉村での共通の課題等を取り上げ情報共有することで、感染症の影響下においても、各福祉村の活動が活性化するように努めました。</p> <p>町内福祉村未開設地区に対しては、感染症の影響で地区へ情報を提供する機会が持てなかったため、今後も継続的に協議を進めていくこととします。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>福祉村の運営にかかる会計処理について、情報共有を行いました。また、感染症の影響で活動が一部縮小したため、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開などは、継続して検討する必要があります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>感染症の影響を見つつ、参加ボランティアの拡大や地域全体の課題に目を向けた活動の展開などについて、継続して検討が必要です。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

6 (2) 8	非行防止活動の推進	担当課	青少年課
---------	-----------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (3) 7事業の再掲 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 心豊かで、規範意識・遵法精神・社会性が向上した青少年を一人でも多く育成するため、社会を明るくする運動を通して、講演会や街頭啓発キャンペーン等を行います。 愛護指導活動、相談活動を行います。 青少年指導員による環境浄化活動を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くため、社会を明るくする運動の活動を支援します。 青少年の非行を防止するため、学校及び地域と協力し、パトロールを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を七夕まつり、花火大会及び年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち7校区で合計8回実施 (指導件数817件) 社会を明るくする運動を各地区において開催 (16地区で合計16回実施、延べ4,518人参加) 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場でのチラシ配布及び横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布 (2,125部) を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>学校・地域関係団体と青少年の問題行動等について情報共有を図り、青少年の非行・問題行動等に対し協力して取り組んだ。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち1校区で2回、4校区で1回実施 (指導件数363件) 社会を明るくする運動を各地区において開催 (9地区で実施、延べ1,959人参加) 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場への横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布 (2,147部) を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>学校・地域関係団体と情報共有を図り、青少年の非行・問題行動等に対し協力して取り組んだ。愛護指導活動については、新型コロナウイルス感染症の影響等により愛護指導実施回数が減少した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち7校区で各1回実施 (指導件数726件) 社会を明るくする運動を各地区において開催 (7地区で実施、延べ627人参加) 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場への横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布 (2,180部) を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>指導件数は、近年減少傾向にあるが、市内のたまり場の移動など青少年の問題行動等が年々変化しているため、学校・地域関係団体と常に情報を共有しつつ、協力して取り組む必要がある。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考 (その他)

6 (2) 9	こころと命のサポート事業	担当課	福祉総務課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (3) 8事業の再掲 > 地域において実施しているおはなし会や読み聞かせ、読み語り等の中で、「命の大切さ、尊さ」をテーマに取り上げてもらうことで、命の大切さ、尊さを普及・啓発し、自殺対策を推進します。</p>	<p>地域で活動している団体等に、本事業について理解を深めてもらい、おはなし会、読み聞かせ、読み語りの中で、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストを活用してもらうよう働きかけ、命の大切さ、尊さの普及・啓発を推進します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 12地区 読み聞かせ回数 延べ 221回 読み聞かせ人数 延べ 5,343人</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>昨年度実施地区が少なかったことから、昨年度より呼びかけを強化し、実施を促すことで実施地区の向上に繋がった。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		<p>引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。</p>				
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。</p> <p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 8地区 読み聞かせ回数 延べ 157回 読み聞かせ人数 延べ 4,850人</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>公立・私立保育園、小・中学校の司書教諭及び学校司書に「いのちの尊さをつたえる本」ブックリストの活用と読み聞かせの実績報告を依頼した。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		<p>引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。</p>				
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。</p> <p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 ①なでしこ小学校 16回延べ539人 ②黒部丘幼稚園 25回450人 ③花水さくら保育園 36回延べ1,053人 ④花水公民館 2回延べ15人 合計 1地区 実施回数 79回 延べ2,057人</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>保育園・幼稚園に「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用を依頼した。 子ども読書活動代表者会議で読み聞かせの実績報告を依頼。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		<p>引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。</p>				

備考 (その他)

6 (2) 10	一時預かり事業	担当課	保育課
----------	---------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 1事業の再掲 > 保護者の断続的な就労、病気や育児疲れの解消等の理由で、子どもの保育ができないときの緊急・一時的な保育を行います。 [対象：就学前子ども]</p>	民間保育所のほか、民間認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園でも一時預かりを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所19園で実施（延べ利用児童数11,769人） 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		施設改修の影響により実施できなかった1園を除き、すべての園で実施をすることができた。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
ニーズに応じて実施する必要があり、現状の規模で継続して取組む。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所19園で実施（延べ利用児童数11,281人） 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所20園で実施（延べ利用児童数推計9,941人） 認定こども園6園（民間・公立）及び民間幼稚園3園で実施（延べ利用児童数推計12,316人） 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
本年と同様の規模で継続したい。						

備考（その他）

6 (2) 11	ファミリー・サポート事業	担当課	保育課
----------	--------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 2事業の再掲 > 子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と子育ての援助を行いたい方（支援会員）を組織化し、幼稚園・保育所等への送迎及びその前後の預かり等の育児の援助活動の橋渡しを行います。 【依頼会員：0歳から小学校6年生までの児童の保護者】</p>	<p>支援会員に対し、預かり中の子どもの安全対策に係る研修を実施するとともに、支援会員の声を聞きながら研修の充実を図っていきます。また、積極的なPR活動を行い、支援会員を増やします。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を1回開催。 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を2回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 会員数：支援会員276人、依頼会員933人、内両方会員31人 活動件数：2,280件 ※新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施 ※依頼会員の中に資格を喪失している会員（子どもが中学生以上の保護者）が含まれていたため整理して正しい会員数に修正	前年度の課題等に対する取組状況 支援会員講習会について、広報ひらつかや市公式LINEでの周知に加え、市民課及び障がい福祉課前に設置している広告放映ディスプレイへの掲載やスーパー等へのポスターの掲示を行った。		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		検証結果	B：おおむね成果があがった	
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続		
翌年度に向けた課題と取組 依頼会員のニーズに対応できるように、PRや支援会員講習会のカリキュラム見直しなど、支援会員増加に向けた取組を行う。				
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を2回開催。 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 支援会員サポートを1回開催。 会員数：支援会員300人、依頼会員1,544人、内両方会員29人 活動件数：1,734件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少	前年度の課題等に対する取組状況 ・支援会員の入会説明会及び講習会について、市公式LINEを使うなど、PRを強化した。 ・支援会員講習会のカリキュラムを見直し、講習内容の充実を図った。（救命講習：救命入門コース(90分)から普通救命講習(3時間)に変更等）		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		検証結果	B：おおむね成果があがった	
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続		
翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。				
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を2回開催。 支援会員の講習会を1回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 支援会員サポートを1回開催。 会員数：支援会員291人、依頼会員1,480人、内両方会員30人 活動件数：1,317件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少	前年度の課題等に対する取組状況 ・支援会員の処遇向上を目的に、依頼会員が支援会員に支払う報酬(基準)のうち、1時間あたり700円の時間帯を「午前6時～午後10時」から「午前7時～午後7時」に変更。 ・支援会員入会説明会の会場を利便性の高い会場に変更し、開催数を増加。(R1：12回 R2：30回)		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった
		検証結果	B：おおむね成果があがった	
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続		
翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、支援会員講習会のカリキュラム見直し、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。				

備考（その他）

6 (2) 12	延長保育・休日保育事業	担当課	保育課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (1) 3 事業の再掲 > 保育所や認定こども園において、延長保育や休日保育を行います。〔対象：就学前子ども〕	引き続き、保護者の就労形態などに対応した延長保育や休日保育を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育（全園で実施） ・休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況				
		すべての園で実施をすることができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
延長保育は保育園の在園児が規定の利用時間を超えて保育園を利用するもの。休日保育についても同様であり、ニーズに応じて実施する必要があるため、現状の規模で継続して取組む。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育（全園で実施） ・休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育（全園で実施） ・障がい児保育（全園で受入れ可） ・休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

6 (2) 13	私立幼稚園の預かり保育の推進	担当課	保育課
----------	----------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 4 事業の再掲 > 県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。 [対象：3歳から就学前子ども]</p>	<p>引き続き、県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内の私立幼稚園（新制度移行・未移行）すべてで実施。 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために預かり保育を利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度は健康課が実施。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>令和5年4月から神田幼稚園が認定こども園へ移行。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>幼稚園利用者の中で、保育の必要性がある世帯（新2号、新3号認定者）が継続してニーズが高い傾向にあることから、幼稚園に対し、預かり保育の更なる拡充とともに、認定こども園（特に幼保連携型認定こども園）への移行を推進していきたい。</p>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内の私立幼稚園（新制度移行・未移行）すべてで実施。 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために預かり保育を利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>各幼稚園に対して、利用者のニーズにあった事業展開を推進した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>幼児教育・保育の無償化が実施されて以降、幼稚園利用者の中で、保育の必要性がある世帯（新2号、新3号認定者）が増加傾向にあることから、幼稚園に対し、預かり保育の更なる拡充とともに、認定こども園（特に幼保連携型認定こども園）への移行を推進していきたい。</p>
令和2年度	<p>新制度未移行の市内私立幼稚園全てで実施いただいた。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>子ども・子育て支援新制度へ移行予定の園に対して、長時間預かり保育支援事業を周知し、制度の活用を検討いただく。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p>

備考（その他）
<p>令和3年度より学務課から保育課へ事務移管</p>

6 (2) 14	病児・病後児保育	担当課	保育課
----------	----------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 5事業の再掲 > 子どもが病中、又は病気の回復期にあるときに、保護者が仕事や病気等により、自宅で看病できない場合に対応するため、病児・病後児保育を行います。</p>	<p>時期により定員を超える利用申込みがあることなどから、事業の拡充（病児保育の実施）に向け取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	市内2か所で実施 （病後児保育施設1か所、病児・病後児保育施設1か所） ・平塚保育園病後児保育室「なでしこ」 延べ利用児童数 101人 ・麦・もんもん病児保育室（令和3年4月開設） 延べ利用児童数 750人	前年度の課題等に対する取組状況 令和4年2月から予約システムを導入し、職員の業務負担が軽減し、利用者の利便性も向上した。 令和4年度から健康だよりによる情報発信を開始し、また、各施設の紹介動画をYouTubeにアップするなどして、病児・病後児保育の周知を図った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 令和6年度中の病児・病後児保育施設の新規開設に向けて、施設整備の支援を行う。
令和3年度	市内2か所で実施 （病後児保育施設1か所、病児・病後児保育施設1か所） ・平塚保育園病後児保育室「なでしこ」 延べ利用児童数 95人 ・麦・もんもん病児保育室（令和3年4月開設） 延べ利用児童数 536人	前年度の課題等に対する取組状況 ・令和3年4月から本市初の病児保育を開始し、広報や市HPなどの媒体で広報を行った。 ・令和4年2月から職員の業務負担の軽減、利用者の利便性向上のため、インターネットで事前登録、空き情報の確認、利用の予約・キャンセルが可能なシステムの導入を支援した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても、実施施設と連携し、子育てと仕事の両立支援の充実を図る。
令和2年度	市内1か所で病後児保育を実施。 延べ利用児童数 107人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数減少。	前年度の課題等に対する取組状況 令和3年4月からの病児保育実施に向け、事業者と協議を進めた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 令和3年4月から開始する病児保育の広報を行うとともに、円滑に運営ができるように支援を行う。

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）6「病後児保育」から事業名称を変更した。

6 (2) 15	放課後児童クラブの充実・推進	担当課	青少年課
----------	----------------	-----	------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 6事業の再掲 > 放課後児童支援員等としての資質の向上を図るため、放課後児童支援員等を対象とした市主催の研修を推進します。また、近年、県等主催の研修が充実してきたため、より多くの研修機会が持てるように、情報提供し、参加を促進します。</p>	<p>県等主催の研修について情報提供するとともに、市主催の研修については、県等主催の研修内容を踏まえ、放課後児童支援員等として、必要な知識及び技術の習得のための研修を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<p>放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>6月 普通救命講習 4回 参加者56人</p> <p>12月、1月 発達障がい児の理解等について 2回 参加者110人</p> <p>1月 保護者との連携 1回 参加者71人</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>市主催研修では、昨年度末のオンライン研修後のアンケートを踏まえ、分散開催で新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ、予定通り開催した。また、県等の他研修ではオンライン研修を実施し、多くの方が参加した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、放課後児童支援員等の資質の向上に努めることができるよう、よりよい研修内容について検討していく。</p>
令和3年度	<p>放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>6月～7月 普通救命講習 4回 参加者45人</p> <p>7月 災害時対応講習 1回 参加者35人</p> <p>12月 発達障がい児の理解等について 2回 参加者109人</p> <p>1月～2月 コンプライアンス研修 2回 参加者81人</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルスの影響はあったが、分散開催やオンラインを活用することで、概ね例年規模での研修を開催することができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>新型コロナウイルスの影響により会場開催ができない場合でも、持続的に放課後児童支援員等の資質の向上に努めることができるよう、オンライン研修の効果的な開催方法について検討していく。</p>
令和2年度	<p>放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>10月1日、16日 発達障がい児の理解等について 2日間 1日57人、16日65人</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で、10月のみの開催。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、開催回数が少なかったが、令和3年度以降は例年規模で継続し、放課後児童支援員等の資質の向上に努める。</p>

備考（その他）
<p>第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）7「学童保育の充実・推進」から事業名称を変更した。</p>

6 (2) 16	子育て支援センター事業	担当課	保育課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 1 事業の再掲 > 子育て家庭に対する育児不安等についての相談支援、各種子育てに係る情報提供、親子の気軽な交流の場としての子育てサロンの運営、子育てサークル等への支援を行います。 [対象：就学前子ども及び保護者]</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続き子育て支援センター事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,487人、子ども 4,389人、合計 7,876人 相談件数：面接 2,182件、電話 45件、その他 202件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながらイベントや育児講座を開催した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。</p>
令和3年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,379人、子ども 4,021人、合計 7,400人 相談件数：面接 2,246件、電話 15件、その他 188件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながら人形劇やコンサートなど一部のイベントを開催した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>
令和2年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,254人、子ども 3,939人、合計 7,193人 相談件数：面接 2,043件、電話 28件、その他 181件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。 令和2年6月15日からは、利用は予約制で利用時間、利用人数等を制限して再開した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>

備考 (その他)

6 (2) 17	つどいの広場事業	担当課	保育課
----------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 2事業の再掲> 主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで、精神的な安心感をもたらし、問題解決への糸口となる機会(場)を提供します。 [対象：おおむね0～3歳児及び保護者]</p>	事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続きつどいの広場事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	・5か所で実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,494人、相談件数：242件 子ども1,643人、合計 3,137人、 「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 4,743人、相談件数：406件 子ども 5,123人、合計 9,866人、 「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,808人、相談件数：178件 子ども 2,248人、合計 4,056人、 「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,518人、相談件数：31件 子ども 1,702人、合計 3,220人、 「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 810人、相談件数：21件 子ども 873人、合計 1,683人、	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。 検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。		
	令和3年度	・5か所で実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,671人、相談件数：292件 子ども1,756人、合計 3,427人、 「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 3,899人、相談件数：426件 子ども 4,169人、合計 8,068人、 「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,391人、相談件数：183件 子ども 1,654人、合計 3,045人、 「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,321人、相談件数：40件 子ども 1,457人、合計 2,778人、 「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 802人、相談件数：38件 子ども 933人、合計 1,735人、	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。 検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。	
		令和2年度	・5か所で実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等は中止した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,546人、相談件数：248件 子ども1,634人、合計 3,180人、 「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 2,863人、相談件数：392件 子ども 3,101人、合計 5,964人、 「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,397人、相談件数：186件 子ども 1,643人、合計 3,040人、 「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,118人、相談件数：27件 子ども 1,281人、合計 2,399人、 「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 616人、相談件数：44件 子ども 663人、合計 1,279人、	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から令和2年6月14日まで臨時休所。ただし、電話での相談は受け付けた。令和2年6月15日からは、利用時間、利用人数等を制限して順次再開した。 検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。

備考 (その他)	

6 (2) 18	赤ちゃん広場事業	担当課	保育課
----------	----------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (2) 4 事業の再掲 > 公立保育所及び認定こども園において、1歳未満の乳児を育てる親を対象に、育児不安等についての相談、子育てに係る情報の提供、親子の気軽な交流の場の提供を行います。</p>	<p>事業の周知を図るとともに、育児不安等についての相談を受けたり、子育てに係る情報を提供したりできるように、引き続き事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和4年度	毎月1回保健センターで赤ちゃん広場を実施。 各回の参加上限を4月から12月までは10組、1月から3月は15組として開催した。 参加人数については、確定時に報告。	前年度の課題等に対する取組状況								
		赤ちゃん広場の申し込み状況を考慮し、後半の参加上限を変更した。								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
		検証結果	A：成果があがった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。							
翌年度に向けた課題と取組										
今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</td> </tr> <tr> <td colspan="2">赤ちゃん広場の申し込み状況を考慮し、後半の参加上限を変更した。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	前年度の課題等に対する取組状況		赤ちゃん広場の申し込み状況を考慮し、後半の参加上限を変更した。		検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
前年度の課題等に対する取組状況										
赤ちゃん広場の申し込み状況を考慮し、後半の参加上限を変更した。										
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組									
翌年度に向けた課題と取組										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	前年度の課題等に対する取組状況				検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
前年度の課題等に対する取組状況										
検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった							
		今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組									
翌年度に向けた課題と取組										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	前年度の課題等に対する取組状況				検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
前年度の課題等に対する取組状況										
検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										

備考（その他）

6 (2) 19	子ども及び子育て家庭に係る総合支援	担当課	こども家庭課
----------	-------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (3) 2事業の再掲 > 既存の社会資源を有効に活用するため、児童相談所や関係機関等と連携し、地域における多様な子育て支援サービス情報を一元的に把握して、ネットワーク化を図ります。</p>	<p>利用者への情報提供、ケースマネジメント及び利用援助等の支援を行うとともに、子育て家庭や保育所からの相談に対応します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 家庭児童相談員を配置し、児童相談所等の関係機関と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,704件 ヤングケアラー等の支援ニーズが高い児童等を対象とした「支援対象児童等見守り強化事業（訪問型）」を実施（延べ61世帯293食）。 「支援対象児童等見守り強化事業（居場所型）」を実施（利用人数22名） 「子育て世帯訪問支援事業」を実施（利用者なし） 	前年度の課題等に対する取組状況
		ヤングケアラー等の支援ニーズが高い児童等に対する支援の充実を図りました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 3つの事業の利用者拡大に向け、支援が必要な世帯への理解を促していきます。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 家庭児童相談員を配置し、児童相談所等の関係機関と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 2,045件 ヤングケアラーの早期発見に向けたネットワークづくりに取り組み、発見後の円滑な支援を推進するため、ヤングケアラー支援推進会議を設置。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> こども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 公共施設を活用し、相談対応・情報提供を実施。 市内子どもの家4か所にて、1か月に1回親子広場を開催（24回）。214人の親子が参加、58件の相談に対応。 なお、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、5・6月（8回）を休止した。 家庭児童相談員を配置し、県児童相談所等と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,799件 子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談体制の強化を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談体制の強化を図った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)	

6 (2) 20	保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	担当課	保育課 教育指導課
----------	---------------------	-----	--------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (3) 3事業の再掲 > 保育所や認定こども園、幼稚園を利用している保護者や地域の子育て家庭を対象に、電話や面接により、子育てについての不安や悩みの相談に対応します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や認定こども園で実施し、相談の内容によっては関係機関と連携を図ります。 ・ 幼稚園の在園児の保護者や入園を希望する保護者に対し、電話や面接による子育てについての相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所、認定こども園で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		保育課：保育所や保育課窓口で随時相談を受け付け関係機関との連携を図った。 教育指導課：各園で未就園児の体験保育に参加されていた保護者から相談を受け入園につながることや就学相談を継続的に行い、進学する小学校へ円滑につながる事ができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 保育課：保育所や保育課窓口では随時相談を受け付ける。現状の規模で要望に応じていく。 教育指導課：各園で在園児の保護者に対し、継続的に支援していくとともに、入園希望者の保護者に対し、育児相談についての周知に努める。
令和3年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所、認定こども園で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。 実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2 (3) 3「保育所・幼稚園の育児相談」から事業名称を変更した。

6 (2) 21	女性のための相談事業	担当課	人権・男女共同参画課
----------	------------	-----	------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (3) 4 事業の再掲 > 女性が日常生活の中で直面する様々な悩みの解消や配偶者等の暴力から女性とその子どもを守るため、女性のための相談窓口を設けます。</p>	<p>女性やその子どものための支援等について、相談体制や関係機関との連携を強化します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数664件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整32件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。</p>						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数780件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整38件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。</p>						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数794件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整46件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。</p>						

備考（その他）

6 (2) 22	生活困窮者自立支援事業	担当課	福祉総務課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (3) 5事業の再掲 > 生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、住居確保給付金の支給その他包括的な支援を実施します。</p>	自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業の実施及び住居確保給付金の支給を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。この他に、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で、関係機関との連携に苦慮することが多かったが、連携機関連絡会を3年ぶりに対面で実施するなど、比較的影響前に近いかたちで連携し、生活困窮者の支援を行うことができた。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」につないで制度を活用できるようにする。						
令和3年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。この他に、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>継続的な周知と他機関との連携を図り、新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮した方への支援を実施した。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」につないで制度を活用できるようにする。						
令和2年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。なお、昨年度から、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>継続的な周知と他機関との連携を図り、新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮した方への支援を実施した。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」につないで制度を活用できるようにする。また、令和3年3月より実施した「家計改善支援事業」、「就労準備支援事業」を活用して自立に向けた相談を充実させる。						

備考（その他）

6 (2) 23	民生委員運営事業	担当課	福祉総務課
----------	----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (3) 7事業の再掲 > 地域福祉の推進のため、地域と行政とのパイプ役としての役割を果たす民生委員児童委員を積極的に支援します。</p>	<p>定例の地区会長会議や全体研修、分野別研修などを通じ、民生委員児童委員の情報共有や資質向上を支援します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>令和4年度は、昨年度に引き続きオンライン研修も取り入れつつ、3年振りに集合での全体研修を開催し、民生委員児童委員の識見向上に努めました。また、12月の一斉改選で委嘱された約100名の新任委員の新任委員に対し、集合及びオンラインで研修を行うことで、新任委員が抱える不安の緩和に努めました。広報・啓発活動についても、広報誌の発行や街頭PR活動を実施し、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。毎月の定例会における行政からの情報提供も継続して行っています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>新任委員のオンライン研修は、環境が整っていない委員に対して上映会を開催する等配慮し、対象者全員が受講できるよう努めました。また、新任委員向けの集合研修も企画し、不安の緩和と識見の向上に努めました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>昨年度と同様に、コロナ禍においても行政からの情報提供は継続して行うと共に、オンライン研修を取り入れることで民生委員の識見向上に努めました。また、パネル展の開催及び地域住民向けの広報誌を発行することで、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>人材育成の課題に対して予定していた集合研修は全て中止となりましたが、オンラインで受講できる講座を活用することで、研修機会を確保しました。また、オンライン環境の整っていない委員に対し、動画の上映会を開催しました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<p>コロナ禍においても、行政からの情報提供は継続して行うと共に、在宅で受講できる研修を取り入れることで民生委員の識見向上に努めました。また、パネル展の開催及び地域住民向けの広報誌を発行することで、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>人材育成の課題に対して予定していた集合研修は全て中止となりましたが、動画やテキストのみで受講できる講座を活用することで、研修機会を確保しました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
研修機会が十分に得られなかった民生委員児童委員へ機会を提供することが必要です。						

備考（その他）

6 (2) 24	民間団体との連携	担当課	こども家庭課
----------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (3) 8事業の再掲 > 子どもの学習支援団体や子どもの居場所づくりに取り組む団体と意見交換や情報提供など連携を図っていきます。</p>	<p>民間学習支援団体等との情報共有、連携の場づくりに取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県、市からの通知を一斉送信し、情報提供に努めました。 ・ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク推進委員会及び同部会に参画し、ネットワークの構築に携わりました。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<p>市民の方に子ども食堂等をより知ってもらうため有効な周知方法を模索しました。</p>						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
<p>ひらつかわくわくマップに子ども食堂の一覧を掲載予定。</p>								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。また、子ども食堂との打合せに参加し、情報共有を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにこども食堂及び学習支援活動団体の一覧を掲載した。 ・こども食堂及び学習支援活動団体の連絡先（メールアドレス）を把握することで、国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。 	前年度の課題等に対する取組状況						
		<p>団体との連携において、具体的に取り組むことができた。</p>						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

6 (2) 25	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
----------	------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (5) 1事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。</p>	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：675件（新規ケース） 相談回数：1,249件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		子どもの進学に係る貸付の申請については、申込みが遅れ、子が進学できない事態を防ぐため、貸付の相談を行っている旨の周知を行いました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
母子・父子相談を行っている旨を市のLINE等で周知を行うことで、相談しやすい環境をつくります。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：572件（新規ケース） 相談回数：1,006件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：589件（新規ケース） 相談回数：1,210件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

6 (2) 26	小児医療費の助成	担当課	こども家庭課
----------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (6) 1 事業の再掲 > 小児医療費の助成を行います。 令和2年1月から所得制限撤廃 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで	中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	小児医療費の助成を行いました。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数 28,295人	前年度の課題等に対する取組状況				
		中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行いました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを安心して産み育てることのできる環境の実現のため、小児医療費助成制度の対象年齢を18歳（高校生相当）まで引き上げることに取り組みます。						
令和3年度	小児医療費の助成を行った。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数（令和4年3月31日時点） 28,815人	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	小児医療費の助成を行った。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数（令和3年3月31日時点） 29,403人	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

6 (2) 27	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	こども家庭課
----------	----------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 2事業の再掲 > ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するために医療費の一部を助成します。	ひとり親家庭等の生活と自立を図るため、母子家庭、父子家庭に対し、適正な医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。 医療証の発行数 1,687世帯 4,195人 助成費及び件数 医療費+手数料 151,260,451円 件数 52,559件	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度と同様の取組を行いました。
		検証結果 A: 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		対象者に対し、医療証の発行を実施します。
令和3年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,760世帯 4,382人 助成費及び件数 医療費+手数料 155,503,462円 件数 53,371件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A: 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,817世帯 4,545人 助成費及び件数 医療費+手数料 149,118,767円 件数 51,364件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A: 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)	

6 (2) 28	保育所保育料の軽減	担当課	保育課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 3事業の再掲 > 子どもの数や世帯の所得に応じた保育所保育料の軽減を維持します。	「幼児教育・保育の無償化」を踏まえながら、低所得世帯や多子世帯に対する保育所保育料の軽減に取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	①「幼児教育・保育の無償化」 ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し保育料が無償。 ②現行の軽減措置の継続 ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。	前年度の課題等に対する取組状況
		物価や経済の動向などを考慮し、前年度と同じ規模で軽減を実施した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		保護者の負担を軽減を拡大することが望ましいが、経済の動向等や予算等を考慮し、適正な軽減を検討する。
令和3年度	①「幼児教育・保育の無償化」 ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し保育料が無償。 ②現行の軽減措置の継続 ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	①「幼児教育・保育の無償化」 ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し保育料が無償。 ②現行の軽減措置の継続 ・世帯の所得に応じて21階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (2) 29	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	担当課	保育課
----------	-------------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (6) 4 事業の再掲 > 低所得者の負担軽減を図るため、施設等利用給付認定保護者 (子どもが従来制度の幼稚園を利用) に対する副食材料費に要する費用の一部を補助します。</p>	対象者へ副食材料費に要する費用の一部を補助します。

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和4年度	<p>幼児教育・保育の無償化制度の実施に伴い、子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を助成します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> 月4,500円	前年度の課題等に対する取組状況		
		前年度と同じ規模で補助を実施した。		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった
		検証結果	A: 成果があがった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組				
低所得世帯については経済的な負担を軽減していく必要があることから、現状の規模で継続して補助を行う。				
令和3年度	<p>幼児教育・保育の無償化制度の実施に伴い、子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を助成します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> 月4,500円	前年度の課題等に対する取組状況		
		前年度と同じ規模で補助を実施した。		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった
		検証結果	A: 成果があがった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組				
低所得世帯については経済的な負担を軽減していく必要があることから、現状の規模で継続して補助を行う。				
令和2年度	<p>子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を補助します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> 月4,500円	前年度の課題等に対する取組状況		
		前年度と同じ規模で補助を実施した。		
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった
		検証結果	A: 成果があがった	
		<table border="1"> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	今後の事業展開	①現状の規模で継続
今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組				
低所得世帯については経済的な負担を軽減していく必要があることから、現状の規模で継続して補助を行う。				

備考 (その他)
令和3年度より学務課から保育課へ事務移管

6 (2) 30	妊産婦の相談の充実	担当課	健康課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 5 (1) ① 2事業の再掲 > 妊娠早期から産後までの心身の変化や不安等の相談に対応します。	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳の交付時は、保健指導体制をとって相談に臨みます。 妊娠時期に合わせた健康管理に必要な情報を提供します。 ハイリスク者に対する関係機関との連携強化を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋がっている。 妊娠11週以下での届出率95% 妊娠中のフォロー件数216件 (妊娠届数の17%) R5.1月から産後ケア事業開始。 申請者数 23人 利用延回数 34回 R5.2月から伴走型相談支援開始。妊娠8か月時の全妊婦にアンケートを実施し、必要な方に電話や面接等で相談対応している。 アンケート送付数212 回収数196件 (回収率92.5%) フォロー件数:52件 <産婦健康診査> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年7月1日以降に出産した産婦に対し、産婦健診費用の費用助成を実施。 産婦健診受診者数725人、フォロワー者数124人 その他産婦に関する相談関連事業: 5(1)①6、5(1)②2、5(1)②3	前年度の課題等に対する取組状況 全妊婦に保健指導を実施し、情報提供を行った。伴走型相談支援事業を開始し関係機関と連携をし、支援が必要な方につなげることができた。産婦健診を医療機関と連携し、開始することができた。
		検証結果 A:成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていきます。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋がっている。 妊娠11週以下での届出率 94% 妊娠中のフォロー件数95件 (妊娠届数の6%) 	前年度の課題等に対する取組状況 全妊婦に保健指導を実施し、情報提供を行った。関係機関と連携をし、支援が必要な方につなげることができた。
		検証結果 A:成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていきます。
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋がっている。 妊娠11週以下での届出率 94% 妊娠中のフォロー件数115件 (妊娠届数の8%) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)	

6 (2) 31	乳幼児期の相談の充実	担当課	健康課
----------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 5 (1) ②2事業の再掲 > 未就学児を対象として、保護者の育児不安等の対応と、子どもにとって望ましい生活習慣の確立ができるように育児相談を充実させます。</p>	<p>乳幼児期の相談の場である7か月児相談のさらなる啓発を図り、望ましい生活習慣を確立した児を増やします。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施。来所者数484人 ・育児相談は月2回実施、来所者数 436人 ・令和4年4月からオンラインで専門職が個別相談に応じるオンライン育児相談を開始している。相談件数7件 ・離乳食教室「5,6か月児」と「7,8か月児」を年8回ずつ実施(定員制)。「9か月～1歳6か月児」と「幼児食教室」を統合した「9か月～2歳0か月児」を年4回実施。 ・歯みがき教室(8か月～1歳0か月児)は8回実施。1歳3か月児以降の教室は、13回実施。 永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は25園実施。 ・低出生体重児の集い(おひさまくらぶ)6回 参加人数54人(児26人、保護者等28人) 小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		7か月児相談及び育児相談は定員・予約制にし、その他教室も感染対策を徹底のうえ、実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施(4月～12月まで18回中止)、来所者数131人 ・育児相談は1月から6回実施(4月～12月まで18回中止)、来所者数82人 ・離乳食教室「5,6か月児」と「7,8か月児」を毎月1回ずつ実施(時間短縮、一部で試食提供中止)。「9か月～1歳6か月児」の教室は10月以降4回実施(内2回試食無)「5か月～1歳6か月児(ダイジェスト版)」については今年度は中止。 ・歯みがき教室(8か月～1歳0か月児)は8回実施。1歳3か月児以降の教室は、10月以降5回実施。 永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は今年度は中止。 ・低出生体重児の集い(おひさまくらぶ)2回 参加人数18人(児9人、保護者等9人)(4回中止) 小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルスワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部開催数を減らして実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施、年16回実施、来所者数538人(8回中止) ・育児相談を毎月2回実施、年18回実施(6回中止) 来所者数 347人 ・離乳食教室を実施した(試食提供中止、時間短縮) ・むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室や萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。 歯みがき教室は8回、永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は16園で実施 ・低出生体重児の集い(おひさまくらぶ)3回 参加人数37人(児20人、保護者等17人)(2回中止) 小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	③縮小して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		<p>新型コロナウイルスワクチン接種事業を最優先事業として実施するため本事業は縮小します。</p>				

備考 (その他)

6 (2) 32	訪問事業	担当課	健康課
----------	------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 5 (1) ②3事業の再掲> 乳幼児を持つ家庭に対する訪問を通し、育児不安への対応や、精神的な不安定さを抱える母親への支援を実施します。また、新生児聴覚スクリーニング検査の受診勧奨と検査後の不安軽減のために相談先を紹介します。</p>	<p>こんにちは赤ちゃん訪問の実施率の向上を目指します。 （参考値：平成30年度実績96.1%）</p>

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	<p>乳児家庭全戸訪問（原則として生後4か月を迎えるまでの乳児が対象） 訪問率97.8%（令和3年12月～令和4年11月生） ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。</p> <p>未熟児出生率 9.5% 未熟児訪問 訪問率 92.5% ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、乳児の把握方法を電話等にも広げて実施し、訪問率が向上した。今年度より、乳児家庭全戸訪問の集計に未熟児も含めた。また例年通り未熟児の訪問数も計上した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>引き続き、子育ての不安を少しでも解消できるよう母に寄り添い支援します。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>乳児家庭全戸訪問（原則として生後4か月を迎えるまでの乳児が対象） 訪問率88.8%（令和2年12月～令和3年11月生） ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。</p> <p>未熟児訪問 訪問率 89.4%、（令和2年12月～令和3年11月生） ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、乳児の把握方法を電話等にも広げて実施したが、昨年に比べ訪問率が低下した。しかし生後4か月未満に把握できなかった乳児については、4か月以降の訪問による把握ができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、訪問又は電話での聞き取りで状況を把握するなど把握方法を広げ、訪問率の向上を目指す。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	<p>乳児家庭全戸訪問 訪問率95.3%（令和1年12月～令和2年11月生） ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。</p> <p>未熟児訪問 訪問率 93.3%、（令和1年12月～令和2年11月生） ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問又は電話での聞き取りで状況を把握するなど内容を変更し実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルスの感染状況により、現状と同様に内容を変更し訪問率の向上を目指す。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

6 (2) 33	学校保健の充実	担当課	学務課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 5 (2) ①3事業の再掲 > ・ 心電図検査、心臓疾患第2次検査、腎臓疾患 (尿) 検査、同2次検査、同3次精密検査、結核健康診断、胸部レントゲン直接撮影、結核健康診断精密検査、学校歯科巡回指導を実施します。 ・ 各学校 (園) 健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施します。	引き続き、各種健康診断等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	心電図検査 (5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査 (6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影 (7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査 (8~9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実技指導は行わず講義形式で実施した。 上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止	前年度の課題等に対する取組状況						
		各種検査について、計画通り実施した。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A: 成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
必要に応じて事業実施方法の検討								
令和3年度	心電図検査 (5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査 (6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影 (7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査 (8~9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。代替措置として、歯科衛生に係る資料を小学校に配布した。 上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止 心臓疾患2次検査及び結核健康診断について、昨年度に実施を見送った者の検査等を実施した。	前年度の課題等に対する取組状況						
		前年度新型コロナウイルス感染症の影響から実施が延期となった心臓疾患2次検査及び結核健診について、平塚市民病院の協力のもと実施した。各種検査について、計画通り実施した。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A: 成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	心電図検査 (10~11月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査は新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して実施 (1~3月実施、心電図検査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) し、一部を翌年度へ延期した 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断は新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止とし、翌年度へ延期した 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。 代替措置として、家庭での使用用にカラーテスターを配布した。 上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B: おおむね成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
今年度の事業実施が延期となった事業に係る翌年度対象者増による事業実施方法の検討								

備考 (その他)

6 (2) 34	こども発達支援室の療育相談	担当課	こども家庭課
----------	---------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 5 (4) ② 1 事業の再掲 > 子どもの発達に関する相談を電話や面接により対応します。また、心理士、言語聴覚士、作業療法士、小児精神科医による相談、一般相談等、子育てについての不安や悩みの相談を受け付けます。</p>	<p>相談事業を継続します。また、はぐくみサポートファイルなどのツールを活用し、就学に向けての切れ目のない支援に取り組めます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<p>健診や幼稚園・保育園などを通じて、保護者の困り感等がこども発達支援室の相談に繋がり、相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討しました。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理相談 週5回実施 延べ1746件 ・言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ126件 ・作業療法士による相談 週4回実施 延べ470件 ・児童精神科医による相談 月1回実施 延べ30件 ・ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ1029件 ・一般相談 随時 延べ123件、電話による相談536件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>子育て交流ひろばは、人数や対象を制限して開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察グループ 実施回数計 188回、実施実人数 130人 ・たんぼぼグループ 23回 13人 ・個別療育（ことり）88回 14人 ・子育て交流ひろば 開催回数 45回、参加人数 延べ169人 	前年度の課題等に対する取組状況
		保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげました。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いています。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しを進めていきます。
令和3年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理相談 週5回実施 延べ1,268件 ・言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ88件 ・作業療法士による相談 週4回実施 延べ429件 ・児童精神科医による相談 月1回実施 延べ29件 ・ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ844件 ・一般相談 随時 延べ135件、電話による相談477件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>子育て交流ひろばは、人数や対象を制限して開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察グループ 実施回数計 153回、実施実人数 94人 ・たんぼぼグループ 22回 8人 ・個別療育（ことり）145回 21人 ・子育て交流ひろば 開催回数 46回、参加人数 延べ198人 	前年度の課題等に対する取組状況
		保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげた。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いている。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しをしていく。
令和2年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理相談 週5回実施 延べ1,555件 ・言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ162件 ・作業療法士による相談 週4回実施 延べ374件 ・児童精神科医による相談 月1回実施 延べ24件 （コロナの影響で1回中止） ・ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ1,067件 ・一般相談 随時 延べ134件、電話による相談554件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や時期を変更して実施したグループがあった。子育て交流ひろばは4月～8月は中止し、9月から申込制にして開催。1月の緊急事態宣言発令後は参加受付人数を減らして開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察グループ 全グループ 146回、実施実人数 91人、子育て交流ひろば 実施回数 26回、参加人数 延べ134人 	前年度の課題等に対する取組状況
		保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげた。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いている。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しをしていく。

備考（その他）

6 (2) 35	ハイリスク者への支援の充実	担当課	健康課
----------	---------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 5 (5) ①1事業の再掲 > 児童虐待防止のため、早期から必要な支援を提供できるように関係機関と連携します。	<ul style="list-style-type: none"> 「ひらつかネウボラールームはぐくみ」において、妊娠期からハイリスク者への対応を行います。 家庭訪問、健診等において機会を捉えた対応を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、第1子には管理栄養士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数38件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：165件 通告：23件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数 68件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：240件 通告：20件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数 81件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：199件 通告：17件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (3) 1	就労支援事業	担当課	産業振興課
---------	--------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
就職希望者に対する企業合同面接開催や就労に向けたセミナー等の開催により、市民の就職へ向けた活動を支援します。	幅広い年齢層を対象とした就労相談会を開催するとともに、若者サポートステーションと連携を図り、若者向けの就労相談会を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・企業合同就職面接会 令和4年9月14日・15日にラスカ平塚6階ラスカホールにて実施。 参加事業所数（延べ）53社、参加求職者数（延べ）86人、採用者数15人 ・女性のための個別就労相談 毎月第2水曜日に勤労会館にて実施。 相談者数10人 ・女性のための就職支援セミナー 令和4年7月12日にオンラインにて実施。 参加者数3人 ・ビジネスマナー講座 令和5年3月8日に勤労会館にて実施。 参加者数10人 <p>なお、西部地域若者サポートステーションとの共催事業として、パソコン講座、就活応援相談を通年で実施している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		子育て中の女性などの参加を促進するため、セミナーをオンライン（見逃し配信あり）とし、受講環境を柔軟に設定した。また、個別就労相談については、女性に特化した事業内容とし、女性が就労に関して相談しやすい環境を整備した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		対象者のニーズ及び社会情勢に合った施策及び効果的な事業周知方法を検討する。				
令和3年度	<p>令和3年9月15日から16日にかけて、ラスカ平塚6階ラスカホールにおいて、令和3年度企業合同就職面接会を実施した。 参加事業所数（延べ）51社、参加求職者数（延べ）83人、採用者数8人</p> <p>令和3年9月2日に面接会直前セミナーを実施した。 受講者数1人</p> <p>令和4年3月9日にビジネスマナー講座を実施した。 受講者数15人</p> <p>令和4年3月14日に中高年のための再就職支援セミナーを実施した。 （2部制）受講者数9人</p> <p>なお、西部地域若者サポートステーションとの共催事業としては、パソコン講座、就活応援相談を通年で実施している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		感染症対策を行いながら、求職者と企業が直接対面でやり取りできる場としての面接会を実施することができた。また、セミナーについては、中止のリスクを避けるため、オンラインで実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		対象者が参加しやすいよう日程・実施方法を検討するとともに、事業周知についても工夫していく。				
令和2年度	<p>令和2年11月30日から12月1日にかけて、ラスカ平塚6階ラスカホールにおいて、令和2年度企業合同就職面接会を実施した。 また、令和3年3月10日にビジネスマナー講座を、3月19日に女性のための再就職応援セミナーを実施した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		企業合同就職面接会について、例年2日間で2回面接会を開催していたが、コロナの現状を受けて密を避けること、より多くの求人企業に参加いただけるよう2日間で3回の開催とした。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		コロナの状況を考慮しながら開催方法について、ハローワーク平塚と協議していく。				

備考（その他）

6 (3) 2	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (5) 1 事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。</p>	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：675件（新規ケース） 相談回数：1,249件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		子どもの進学に係る貸付の申請については、申込みが遅れ、子が進学できない事態を防ぐため、貸付の相談を行っている旨の周知を行いました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
母子・父子相談を行っている旨を市のLINE等で周知を行うことで、相談しやすい環境をつくります。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：572件（新規ケース） 相談回数：1,006件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：589件（新規ケース） 相談回数：1,210件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

6 (3) 3	母子・父子自立支援事業	担当課	こども家庭課
---------	-------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (5) 2事業の再掲 > 母子家庭の母又は父子家庭の父が自立するために、教育訓練講座や高等職業訓練促進への助成など自立支援給付事業を実施します。</p>	母子・父子家庭への支援対策として、引き続き自立支援給付事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 6件 (225,048円) 高等職業訓練促進給付金等 6件 (5,759,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 ・母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ・ひとり親家庭就学支度資金貸付 4件 (1,640,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況				
		補助対象期間や資格が拡大したことの周知を広めるため、FMナバサに出演し事業内容の説明を行うなど周知活動を行いました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
ひとり親家庭就学支度資金貸付事業については、申請可能枠を増やして対応出来る環境を整えたため、より多くの高校進学者の入学準備を円滑に進むようにサポートします。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 8件 (337,801円) 高等職業訓練促進給付金等 4件 (3,002,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 1件 (80,446円) ・母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ・ひとり親家庭就学支度資金貸付 9件 (3,690,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 7件 (270,317円) 高等職業訓練促進給付金等 6件 (6,994,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 ・母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ・ひとり親家庭就学支度資金貸付 2件 (820,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況				
		市単事業として、ひとり親家庭就学支度資金貸付を実施し、ひとり親家庭の支援充実を図った。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

6 (4) 1	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (5) 1 事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。</p>	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：675件（新規ケース） 相談回数：1,249件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		子どもの進学に係る貸付の申請については、申込みが遅れ、子が進学できない事態を防ぐため、貸付の相談を行っている旨の周知を行いました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
母子・父子相談を行っている旨を市のLINE等で周知を行うことで、相談しやすい環境をつくります。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：572件（新規ケース） 相談回数：1,006件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：589件（新規ケース） 相談回数：1,210件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

6 (4) 2	小児医療費の助成	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (6) 1 事業の再掲 > 小児医療費の助成を行います。 令和2年1月から所得制限撤廃 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで	中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	小児医療費の助成を行いました。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数 28,295人	前年度の課題等に対する取組状況				
		中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行いました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを安心して産み育てることのできる環境の実現のため、小児医療費助成制度の対象年齢を18歳（高校生相当）まで引き上げることに取り組みます。						
令和3年度	小児医療費の助成を行った。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数（令和4年3月31日時点） 28,815人	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和2年度	小児医療費の助成を行った。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数（令和3年3月31日時点） 29,403人	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

6 (4) 3	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	こども家庭課
---------	----------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 2事業の再掲 > ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するために医療費の一部を助成します。	ひとり親家庭等の生活と自立を図るため、母子家庭、父子家庭に対し、適正な医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。 医療証の発行数 1,687世帯 4,195人 助成費及び件数 医療費+手数料 151,260,451円 件数 52,559件	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度と同様の取組を行いました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		対象者に対し、医療証の発行を実施します。
令和3年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,760世帯 4,382人 助成費及び件数 医療費+手数料 155,503,462円 件数 53,371件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,817世帯 4,545人 助成費及び件数 医療費+手数料 149,118,767円 件数 51,364件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)	

6 (4) 4	生業扶助・教育扶助	担当課	生活福祉課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (6) 8事業の再掲 > 対象となる児童・生徒がいる生活保護世帯に対し、高等学校等 就学費や教育扶助費として学習支援費や教材代を援助します。	引き続き法令に基づいて事業を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	教育扶助 小学生 104人 中学生 65人 扶助額 15,255,060円 生業扶助 高校生 79人 扶助額 11,521,891円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度と同規模で実施する。						
令和3年度	教育扶助 小学生 111人 中学生 69人 扶助額 15,725,806円 生業扶助 高校生 68人 扶助額 8,798,107円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度と同規模で実施する。						
令和2年度	教育扶助 小学生 188人 中学生 65人 扶助額 15,819,047円 生業扶助 高校生 70人 扶助額 9,299,253円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度と同規模で実施する。						

備考（その他）

6 (4) 5	児童扶養手当	担当課	こども家庭課
---------	--------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 9 事業の再掲 > ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図るため、父母の離婚、父又は母の死亡などにより、父親又は母親と生計を同じくしていない児童について、手当を支給します。	ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和4年度	児童扶養手当の支給を行いました。 受給者数 1,586人 (令和5年3月31日時点) 支給金額 810,063,080円 (令和5年3月31日時点)	前年度の課題等に対する取組状況						
		昨年度と同様の取組を行いました。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A : 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A : 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A : 成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
対象者に対し、手当の支給を実施します。								
令和3年度	児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,635人 (令和4年3月31日時点) 支給金額 843,451,680円 (令和4年3月31日時点)	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A : 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A : 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A : 成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								
令和2年度	児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,692人 (令和3年3月31日時点) 支給金額 882,506,000円 (令和3年3月31日時点)	前年度の課題等に対する取組状況						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A : 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A : 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A : 成果があがった					
		今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組								

備考 (その他)

6 (4) 6	特別児童扶養手当	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (6) 10 事業の再掲 > 児童の福祉の増進を図るため、精神、知的又は身体障がい等（内部障がいを含む）で、政令に定める程度以上の障がいにある20歳未満の児童について、手当を支給します。</p>	<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がいを有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>特別児童扶養手当を支給するための事務を行いました。（認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省） 受給権者数 462人（令和5年4月30日現在）</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がいを有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行いました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がいを有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。</p>						
令和3年度	<p>特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。（認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省） 受給権者数 446人（令和4年4月30日現在）</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がいを有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行いました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がいを有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。</p>						
令和2年度	<p>特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。（認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省） 受給権者数 413人（令和3年4月30日現在）</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がいを有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行いました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がいを有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。</p>						

備考（その他）

6 (4) 7	児童手当	担当課	こども家庭課
---------	------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 1 1 事業の再掲 > 次代の社会を担う児童の健やかな成長のため、0歳から15歳到達後最初の3月31日までの児童について、手当を支給します。	児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和4年度	児童手当の支給を行いました。(R5年3月31日時点) 支給児童数 児童手当 延べ人数 291,886人 特例給付 延べ人数 22,398人 施設入所 延べ人数 1,179人 支給金額 3,389,840,000円	前年度の課題等に対する取組状況
		児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給しました。
		検証結果 A:成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給します。
令和3年度	児童手当の支給をおこなった(R4.3.31時点)。 支給児童数 児童手当 延べ人数 301,312人 特例給付 延べ人数 29,823人 施設入所 延べ人数 1,167人 支給金額 3,536,425,000円	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和2年度	児童手当の支給をおこなった(R3.3.31時点)。 支給児童数 児童手当 延べ人数 308,354人 特例給付 延べ人数 31,474人 施設入所 延べ人数 1,236人 支給金額 3,627,390,000円	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (4) 8	養育医療費給付	担当課	こども家庭課
---------	---------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (6) 1 2 事業の再掲 > 子どもが未熟児で生まれ、指定養育医療機関の医師が入院治療の必要を認めたとときの医療費を助成します。</p>	<p>母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和4年度	<p>未熟児の入院治療にかかる医療費の助成を行いました。 申請件数 27件</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成しました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
<p>母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。</p>						
令和3年度	<p>未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 24件</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成しました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
<p>母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。</p>						
令和2年度	<p>未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 51件</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成しました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
<p>母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。</p>						

備考 (その他)

